

2017 年 12 月分新聞書評



台湾人の歌舞伎町～新宿、もうひとつの戦後史～

稲葉 佳子、青池 憲司 著

紀伊國屋書店出版部

日本の統治下にあった台湾から日本へやってきて、戦後、外国人として裸一貫で放り出された彼らは、ヤミ市で財をなし、焼け野原に構想された興行街・歌舞伎町を目指した。台湾人に焦点を当て、歌舞伎町の戦後史を綴る。

2017:9./ 249p

978-4-314-01151-8

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/12/02



怒り<上>(小学館文庫 ミ3-1)

ジグムント・ミウオシェフスキ、田口 俊樹 著

小学館

ポーランド北部の工事現場で白骨死体が見つかった。検察官シャツキは戦時中の遺体と考えるが、検死の結果、遺体の男は 10 日前には生きていたことが判明。生きたまま大量の配水管洗浄剤で溶かされたことがわかり…。

2017:7./ 346p

978-4-09-406372-1

本体 ¥770+税



産経新聞 2017/12/03



怒り<下>(小学館文庫 ミ3-2)

ジグムント・ミウオシェフスキ、田口 俊樹 著

小学館

白骨死体の身元は判明するが、犯人の手がかりは得られない。検察官のシャツキは検察局を訪れた女性に夫からの虐待の相談を受けるが、証拠がなく追い返してしまう。その後彼女の家を訪れると、瀕死の女が横たわっていて…。

2017:7./ 342p

978-4-09-406433-9

本体 ¥770+税



産経新聞 2017/12/03



西郷隆盛～人を相手にせず、天を相手にせよ～(ミネルヴァ日本評伝選)

家近 良樹 著

ミネルヴァ書房

戊辰戦争に勝利するも、新政府で征韓論争に敗れて下野し、郷里で西南戦争の総指揮官に担がれた西郷隆盛。明治維新を成し遂げた英雄とされる一方、多面的な顔をもつその特性と素顔を、主として一次史料に基づいて解明する。

2017:8./ 23p,567p,12p

978-4-623-08097-7

本体 ¥4,000+税



産経新聞 2017/12/03



人間タワー

朝比奈 あすか 著

文藝春秋

わたしは人間タワーには反対だけど、人間タワーをやらないことにも反対-。とある東京の小学校を舞台に、人間タワーをめぐる人間模様を複数視点から描いた物語。『別冊文藝春秋』連載に加筆し書籍化。

2017:10./ 276p

978-4-16-390740-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/12/03

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2017 年 12 月時点での税抜価格です。



小野勇介の仕事 (HAKUHODO ART DIRECTORS WORKS&STYLES VOL 3)

博報堂デザインドリブンプロジェクト 編
CCCメディアハウス

スタイリッシュな作風で海外での評価も高い、博報堂の小野勇介。綿密に練られたロジックに時代のヴェールを美しく纏わせて発信する、小野の磨き上げられたビジュアル表現の秘密に迫る。

2017.11./ 158p
978-4-484-17236-1
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/12/03



藤田純平の仕事 (HAKUHODO ART DIRECTORS WORKS&STYLES VOL 4)

博報堂デザインドリブンプロジェクト 編
CCCメディアハウス

アニメを武器に新たなアートディレクターのカタチを開拓する博報堂の藤田純平。広告にとどまらず、TV 番組「オトッペ」の制作や Web アニメと広がり続けるその活躍の軌跡を肉筆スケッチ等を交えて紹介。取り外せる冊子付き。

2017.11./ 170p
978-4-484-17235-4
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/12/03



2 ひきのねこ

宇野 亜喜良 著
ブロンズ新社

ねこのボンボンのはもちゃんといつも一緒。でも、ちっちゃいこねこの、すなこがきてから、もちゃんはすなこばかり見ている。ボンボンはずっと、もちゃんだけを見ているのに…。宇野亜喜良の愛猫の実話にもとづく絵本。

2017.11./ 1 冊(ページ
付なし)
978-4-89309-639-5
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/12/03



二子玉川物語〜バー・リバーサイド 2〜(ハルキ文庫 よ9-2)

吉村 喜彦 著
角川春樹事務所

二子玉川にある大人の隠れ家「バー・リバーサイド」。シードル造りに励む女性、大阪生まれの江戸前寿司職人、電車の女性運転士などのお客を、マスターの川原とバーテンダーの琉平が温かく迎える…。

2017.10./ 214p
978-4-7584-4126-1
本体 ¥540+税



産経新聞 2017/12/03



虹 日本弘道会のさらなる発展のために

平山 一城 著 著
悠光堂

産経新聞 2017/12/03

2017.11./ 239p
978-4-906873-97-5
本体 ¥1,500+税



歌丸ばなし

桂 歌丸 著
ポプラ社

滑稽噺も人情噺も。どうぞ一席お付き合いをお願い申し上げます。桂歌丸の名作落語集。「井戸の茶碗」「紙入れ」「紺屋高尾」など、大いに笑って時に切ない全8席を、ネタの裏話とともに収録する。

2017.11./ 245p
978-4-591-15633-9
本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/12/03



美しい日本語が話せる書ける万葉ことば

上野 誠 著

幻冬舎

「かはたれ時」とは、人がそこにいることはわかるけれど、それが誰かわからない夜明けのほんのり白みかけた時をいう。万葉集に出てくる言葉をわかりやすく解説し、「言葉の深み」「伝統にひたる楽しみ」を伝える。

2017:11./ 223p

978-4-344-03209-5

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2017/12/03



おはなをあげる(ポプラせかいの絵本 53)

ジョナルノ・ローソン 著

ポプラ社

お父さんといっしょに歩く小さな女の子。道端で集めたお花をだれかにあげるごとに、女の子をとりまく世界は、色鮮やかにかわっていき…。小さな世界に訪れる生きる喜びを描いた、文字のない美しい絵本。

2016:4./ 25p

978-4-591-14973-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/12/08



咲き定まりて～市川雷蔵を旅する～

清野 恵里子 著

集英社インターナショナル

日本映画の黄金期に燦然と輝く足跡をしるし、早世した美貌の映画俳優、市川雷蔵。今もなお多くの人々を魅了する雷蔵その人と、雷蔵映画 27 作品を丹念に読み解く。写真も 100 枚以上収録。

2017:12./ 317p

978-4-7976-7348-7

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2017/12/09



follow me～ふゆのきつね～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

井上 浩輝 著

日経ナショナルジオグラフィック社

広大な風景のなかを行くキタキツネの姿。まっすぐにこちらを見つめてくる、吸い込まれそうな瞳のキタキツネ…。冬の北海道のキタキツネたちの姿を撮影した写真集。

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-86313-398-3

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2017/12/09



オックスフォード式超一流の育て方

岡田 昭人 著

朝日新聞出版

オックスフォード大学が大切にしている「自由な個性」を構成する 5 つのエッセンス「問題発見・解決力/コミュニケーション力/リーダーシップ/創造性/寛容性」を解説。「本当の頭の良さ」を引き出すコツが身に付く。

2017:7./ 261p

978-4-02-331609-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/12/10



一九四五占守島の真実～少年戦車兵が見た最後の戦場～(PHP 新書 1104)

相原 秀起 著

PHP研究所

終戦後、ソ連は千島列島最北端の占守島への侵攻を開始。そこで戦い、生き残った人びとの詳細な記憶の積み重ねを取材、息づまる戦場の実相と、深く重いシベリア抑留の日々を描き出す。

2017:7./ 273p

978-4-569-83634-8

本体 ¥880+税



産経新聞 2017/12/10



銀河鉄道の父

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。『小説現代』連載に、加筆、修正し単行本化。

2017:9./ 408p

978-4-06-220750-8

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/12/10



やねの上の乳歯ちゃん

鳥居 みゆき 著

文響社

投げたあの「歯」は、そのあと、どうなるの？ 抜けた乳歯の生き様が心の成長を教えてくれる。歯が抜けるという“大人になる機会”を、乳歯の視点から見た、新しい成長物語。穴あきページあり。

2017:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-86651-034-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/12/10



大統領府から読むフランス 300 年史～エリゼ宮の権力亡者たち～(祥伝社黄金文庫 G や 18-1)

山口 昌子 著

祥伝社

王政から流血革命を経て共和制、帝政、王政復古、ナチス・ドイツの占領を経て現在の第 5 共和制と体制が変わった約 300 年のエリゼ宮の歴史と代々の住人の逸話を紐解く書。フランスの権力の抛り所を探り、日本との相違を示す。

2017:10./ 318p

978-4-396-31721-8

本体 ¥670+税



産経新聞 2017/12/10



60 歳を過ぎると、人生はどんどんおもしろくなります。

若宮 正子 著

新潮社

歳を重ねるほど、明日は楽しい！ 60 代を迎えてパソコンを、80 歳を超えてからプログラミングを始め、iPhone ゲームアプリを開発した著者による、老若男女を元気にする超ポジティブエッセイ。

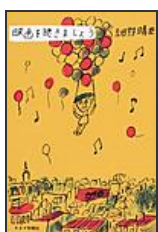
2017:11./ 173p

978-4-10-351371-1

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/12/10



映画を聴きましょう

細野 晴臣 著

キネマ旬報社

「僕の最初の映画の記憶」「僕が関わった映画音楽の話」など、映画にまつわるエッセイのほか、著者がプロデュースしたライブのレポート、中沢新一との対談も収録する。『キネマ旬報』連載等を単行本化。

2017:11./ 317p

978-4-87376-454-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2017/12/10



季語体系の背景～地貌季語探訪～

宮坂 静生 著

岩波書店

これまでの季語の範疇を超えて、愛着のあるこの土地の、このことばでこそ、詠みたい。全国各地の暮らしに溶け込んだ季節のことば「地貌季語」を紹介し、その基盤となる地貌の特徴を明らかにする。『俳句』連載等を書籍化。

2017:10./ 19p,404p,6p

978-4-00-061219-7

本体 ¥3,700+税



産経新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17



生きて還る～完全試合投手となった特攻帰還兵 武智文雄～

小林 信也 著

集英社インターナショナル

16歳の秋、野球を諦め予科練を志願、特攻に配属。奇跡の生還後、再び野球の世界へ。「生きてホーム(家)に還るスポーツ」野球を体現した男、近鉄パールス・武智文雄の痛快な野球人生を描く戦後史発掘ノンフィクション。

産経新聞 2017/12/16

2017:10./ 221p

978-4-7976-7344-9

本体 ¥1,600+税



ユージン・スミス写真集

W.ユージン・スミス 著

クレヴィス

生きている動き、生きている世界、その面白さ、その悲劇を追求して-。太平洋戦争、カンントリー・ドクター、季節農場労働、水俣...。被写体のそれぞれの眼差し、あるがままの人生をとらえた、写真家、ユージン・スミスの写真集。

産経新聞 2017/12/16

2017:11./ 206p

978-4-904845-95-0

本体 ¥2,500+税



忘れる女、忘れられる女

酒井 順子 著

講談社

謝罪会見にふさわしい女性の髪型を考え、子ナシ独身女性知事の誕生に感慨を覚え...。政治でも芸能でも忘れてもらえない女が目白押し。スキャンダル全盛の日本を映すエッセイ。『週刊現代』連載を書籍化。

産経新聞 2017/12/17

2017:10./ 235p

978-4-06-220808-6

本体 ¥1,300+税



民俗選挙のゆくえ～津軽選挙 vs 甲州選挙～

杉本 仁 著

新泉社

津軽の激烈な民俗選挙に翻弄され、富を蕩尽した太宰治の長兄・津島文治。義理と贈与と相互扶助の甲州選挙を生きた金丸信。津軽と甲州の選挙祭りが行き着いた対照的な悲喜劇のゆくえてに、ありうべきポスト近代選挙を模索する。

産経新聞 2017/12/17

2017:9./ 348p

978-4-7877-6332-7

本体 ¥2,600+税



ありがとう トワイライトエクスプレス

かねづか まこと 著

金の星社

特別な旅へようこそ! 大雪に阻まれ、立ち往生してしまった寝台特急「トワイライトエクスプレス」。その車内では素敵なおもてなしが...。実際におこったことをもとに描いた絵本。

産経新聞 2017/12/17

2017:11./ [24p]

978-4-323-02465-3

本体 ¥1,300+税



テオのふしぎなクリスマス

キャサリン・ランデル、エミリー・サットン、越智 典子 著

ゴブリン書房

クリスマスイブの夜、ひとりぼっちのテオは、「だれか、いっしょにいてください!」と流れ星に祈った。すると、ツリーの上で、古ぼけたクリスマスのかざりが動きだし...。テオとクリスマスのかざりたちの一夜の冒険の物語。

産経新聞 2017/12/17

2017:11./ 62p

978-4-902257-35-9

本体 ¥1,500+税





芸術表層論～批評という物語～

谷川 渥 著

論創社

加納光於、中西夏之、瀧口修造、草間彌生…。戦後の日本を代表する批評家・美術家から、抽象絵画、彫刻と絵画、版画、写真、動画、舞踊、舞踏まで。日本の現代美術を怜悯な美学者が「表層」という視点から決る。

2017:11./ 466p

978-4-8460-1645-6

本体 ¥4,200+税



産経新聞 2017/12/17



過労死ゼロの社会を～高橋まつりさんはなぜ亡くなったのか～

高橋 幸美、川人 博 著

連合出版

過酷な長時間労働・深夜労働によりうつ病を発病するなどして亡くなった電通社員、高橋まつりさん。その母が娘との 24 年を綴り、弁護士・川人博が、まつりさんが亡くなった原因や、電通に対する 10 の改革提言等を記す。

2017:12./ 206p

978-4-89772-300-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/12/17



北朝鮮がアメリカと戦争する日～最大級の国難が日本を襲う～(幻冬舎新書 22-2)

香田 洋二 著

幻冬舎

核実験とミサイル発射を繰り返す北朝鮮。アメリカとの緊張はギリギリまで高まっている。もはやアメリカが北朝鮮を武力攻撃しない理由はない、と見る元自衛艦隊司令官が、衝撃のシナリオを語る。

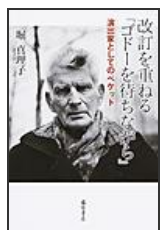
2017:12./ 182p

978-4-344-98479-0

本体 ¥780+税



産経新聞 2017/12/17



改訂を重ねる『ゴドーを待ちながら』～演出家としてのベケット～

堀 真理子 著

藤原書店

1953 年に初演され、現代演劇に決定的な影響を与えた「ゴドーを待ちながら」。ベケットの遺した「ゴドー」の演出ノートをもとに、作品に秘められた未曾有の仕掛けを解き明かし、今日的な視点から考察する。

2017:9./ 280p

978-4-86578-138-0

本体 ¥3,800+税



産経新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/17



守教<上>

帯木 蓬生 著

新潮社

百姓たちは、苦しい日々を生き抜くためにキリシタンになった。なにかが変わるかもしれないという、かすかな希望。ときの権力者たちも、祈ることを奨励した。しかし…。戦国期から開国までの、キリシタン通史。

2017:9./ 331p

978-4-10-331423-3

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24



守教<下>

帯木 蓬生 著

新潮社

弾圧は激しさを増す。密告の恐怖。眼前でおこなわれる残虐な処刑。九州のその村には、おびえながらも江戸時代が終わるまで決して逃げなかった者たちがいた。隠れ、そして信じ続けた者たちがいた…。慟哭の隠れキリシタン秘史。

2017:9./ 339p

978-4-10-331424-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24



動物の声、他者の声～日本戦後文学の倫理～

村上 克尚 著

新曜社

人間性=主体性の回復をめざした日本戦後文学。武田泰淳、大江健三郎、小島信夫の作品における動物の表象に着目し、それを通じて表現された、人間性という戦後的な理念への根底的な疑義について分析する。

2017:9./ 392p

978-4-7885-1537-6

本体 ¥3,700+税



産経新聞 2017/12/23、読売新聞 2017/12/24



バカの壁(新潮新書)

養老 孟司 著

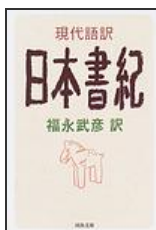
新潮社

朝日新聞 2017/12/03

2003:4./ 204p

978-4-10-610003-1

本体 ¥680+税



現代語訳日本書紀(河出文庫)

福永 武彦 著

河出書房新社

朝日新聞 2017/12/03

2005:10./ 428p

978-4-309-40764-7

本体 ¥800+税



ママは働いたらもっとスゴイぞ!～誰も教えてくれなかった!働くママのための子育てアドバイス～

和田 清華 著

ダイヤモンド社

子育ての経験を仕事に生かし、仕事の経験を子育てに生かすのは、ママだからこそできること。自信をもって、好きな仕事をしてみませんか?子育ても仕事も楽しむための、今日からできるコツや考え方が満載の一冊。

2007:8./ 143p

978-4-478-00179-0

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/12/03



古事記～現代語訳付き～ 新版(角川ソフィア文庫)

中村 啓信 著

角川学芸出版

朝日新聞 2017/12/03

2009:9./ 607p

978-4-04-400104-9

本体 ¥1,160+税



これでよろしくて?

川上 弘美 著

中央公論新社

38歳の菜月は偶然、不思議な集まりに参加する。その一方で、穏やかな日常をゆさぶる出来事に次々と見舞われて一。幾多の難儀を乗り越え、菜月は平穏を取り戻せるのか?コミカルで奥深い長篇。『婦人公論』連載を単行本化。

2009:9./ 314p

978-4-12-004057-3

本体 ¥1,350+税



朝日新聞 2017/12/03



三省堂国語辞典 第7版

塩田 雄大 編

三省堂

中学生から年配者、日本語学習者まで使える、最新の日本語を的確に反映した国語辞典。8万2千項目を収録し、「要するにそれは何か」が分かるように、簡潔にやさしく説明する。小型版。

2014:1./ 14p,1,745p

978-4-385-13927-2

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2017/12/03



辞書に載る言葉はどこから探してくるのか?～ワードハンティングの現場から～(ディスカヴァー携書 115)

飯間 浩明 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

「三省堂国語辞典」編集委員が、デジタルカメラを持って、特徴ある24の街でワードハンティング。看板やポスター、値札などから選りすぐりのことばを紹介し、常に変化していく日本語の最先端の様子を生き生きと伝える。

2013:12./ 287p

978-4-7993-1433-3

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/12/03



辞書になった男～ケンボー先生と山田先生～(文春文庫 さ69-1)

佐々木 健一 著

文藝春秋

1冊の国民的辞書をともに作っていた2人の男はやがて決別し、「三省堂国語辞典」「新明解国語辞典」という2冊の辞書を作った。ことばに人生を捧げた編纂者、見坊豪紀と山田忠雄の物語。

2016:8./ 375p

978-4-16-790685-6

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/12/03



失われた時を求めて<10> 囚われの女(1)(岩波文庫 37-511-10)

プルースト 著

岩波書店

アルベルチーナをパリに連れ帰り、恋人たちの密やかな暮らしが始まる。籠の鳥となっても女は謎めいたまま、嫉妬と疑惑が渦を巻き…。「私」とアルベルチーナの同居生活の?末をもの語る第5篇「囚われの女」の前半を収録。

2016:9./ 494p,8p

978-4-00-375119-0

本体 ¥1,020+税



朝日新聞 2017/12/03



新明解国語辞典 第7版

笹原 宏之 編

三省堂

ことばの本質をとらえる国語辞典の決定版。7万7千5百項目を収録。「文法」欄を新設し、新「常用漢字表」に完全対応。形容詞項目を全面的に見直した第7版。特装青版。

2017:2./ 46p,1,679p

978-4-385-13109-2

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/12/03



失われた時を求めて<11> 囚われの女(岩波文庫 37-511-11)

プルースト 著

岩波書店

スワンの死をめぐる感慨、知られざる傑作が開示する芸術の意味。「私」は恋人への疑念と断ち切れぬ恋慕に苦しむが、ある日、そのアルベルチーナが失踪し…。第5篇「囚われの女」の後半を収録。

2017:5./ 568p,8p

978-4-00-375120-6

本体 ¥1,070+税



朝日新聞 2017/12/03



舟を編む<上>(KCx)

雲田 はるこ、三浦 しをん 著

講談社

玄武書房・第一営業部に勤める馬締光也は、言葉に対する鋭い感覚を買われ、辞書編集部を迎え入れられる。新しい辞書『大渡海』の完成を目指し、言葉という絆でつながった人々とともに、馬締は辞書の世界へ没頭してゆく。

2017:7./ 160p

978-4-06-380932-9

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/12/03



広辞苑はなぜ生まれたか～新村出の生きた軌跡～

新村 恭 著

世界思想社

「広辞苑」は新村出であったからこそできた辞書であり、その人生の結晶でもある。「広辞苑」の編者・新村出の孫が、日記や書簡など貴重な一次資料をもとに、彼の生きざまや「広辞苑」生成の過程に迫る。

2017:7./ 236p

978-4-7907-1703-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/12/03



PANA 通信社と戦後日本～汎アジア・メディアを創ったジャーナリストたち～

岩間 優希 著

人文書院

かつて存在した、アジア人のためのアジア系通信社、PANA 通信社とはどのようなものだったのか。敗戦、朝鮮戦争、安保闘争、東京オリンピック、ベトナム戦争の時代…。個性的なジャーナリストたちを軸に描く戦後史。

2017:9./ 324p

978-4-409-24118-9

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/12/03



日本のメイドカルチャー史<下>

久我 真樹 著

星海社

「メイド」は、いかにして日本社会に受け入れられたのか。アニメ、ゲーム、コスプレ等、あらゆる角度から日本のメイドブームを紐解く。下は、メイド喫茶の時代の2000年代から現在までを取り上げる。

2017:11./ 476p

978-4-06-510400-2

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2017/12/03



日本のメイドカルチャー史<上>

久我 真樹 著

星海社

「メイド」は、いかにして日本社会に受け入れられたのか。アニメ、ゲーム、コスプレ等、あらゆる角度から日本のメイドブームを紐解く。上は、メイドブームの前景の1970年代から、2000年代前半までを取り上げる。

2017:10./ 301p

978-4-06-510399-9

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/03



田舎暮らしと哲学

木原 武一 著

新潮社

街を出よ、森に住もう! 何気ない毎日は、発見の喜びと思索の源泉に満ちている。田舎に暮らして40年の著者が、学びの刺激に溢れた日々の暮らしを綴る。

2017:9./ 254p

978-4-10-437302-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/03



世界《宇宙誌》大図鑑

マイケル・ベンソン、野下 祥子 著

東洋書林

「創造」「地球」「月」などのテーマのもと、前 2000 年から現代に至る世界認識の諸相を概観する“宇宙誌/宇宙図”集成。謎めいた古代の遺跡から現代美術さながらのデジタル解析図へと飛躍する美麗図版 300 点を収録。

2017:10./ 320p

978-4-88721-824-6

本体 ¥8,000+税



朝日新聞 2017/12/03



お父さん、だいじょうぶ?日記

加瀬 健太郎 著

リトル・モア

お父さんはカメラマン。天才と言われることもある。少々頼りないけどひょうきんな父と、愉快的な家族の物語。たまらなく可愛くておかしい男の子たちの写真と、クセになる文章で人気の著者の子育て写真ブログを書籍化。

2017:9./ 191p

978-4-89815-466-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/03



学童集団疎開～受入れ地域から考える～(岩波現代全書 108)

一條 三子 著

岩波書店

県別に割り当てられた 40 万人もの学童、決定から最初の受入れまでわずか 1 カ月余、宿舍や食糧の工面、軍事施設までも疎開…。受入れ地域全体が戦時体制に巻き込まれる状況を明らかにした、新たな視点からの学童疎開史。

2017:10./ 7p,265p,8p

978-4-00-029208-5

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2017/12/03



出羽三山～山岳信仰の歴史を歩く～(岩波新書 新赤版 1681)

岩鼻 通明 著

岩波書店

いつの世も人々とともにあった羽黒山・月山・湯殿山。信仰の山としての長いあゆみと、今も各地に息づく多様な宗教民俗、そして名所・旧跡を解説。人々を惹きつけてやまない<お山>の歴史と文化を案内する。

2017:10./ 3p,219p,7p

978-4-00-431681-7

本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/12/03



ハーフ・ブリード

今福 龍太 著

河出書房新社

混血児=ハーフ・ブリードこそ世界の根源であり可能性なのだ。思想と文学の先導者が、その半生と果てなき旅のすべてを賭けて描く、世界の再生のための壮烈にして壮麗な混血をめぐる物語。『すばる』連載を書籍化。

2017:10./ 365p

978-4-309-24830-1

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2017/12/03



ふたご

藤崎 彩織 著

文藝春秋

彼は、私のことを「ふたごのようだ…」と言った。私は全然そんな風には思わない。彼は、私の人生の破壊者であり、創造者だった。とあるバンドの、結成前夜の物語。SEKAI NO OWARI の Saori、初小説。

2017:10./ 325p

978-4-16-390714-7

本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2017/12/03



ほんとうの花を見せにきた(文春文庫 さ50-9)

桜庭 一樹 著

文藝春秋

竹から生まれた吸血鬼バンブーに救われた少年。心優しきバンブーとの楽しくも奇妙な共同生活が始まるが、バンブーにとって、人間との交流は何より大罪で…。郷愁を誘う計3篇からなる大河的青春吸血鬼小説。

2017:11./ 325p

978-4-16-790956-7

本体 ¥700+税



朝日新聞 2017/12/03



人生を変えるクローゼットの作り方～あなたが素敵に見えないのは、その服のせい～

ベティ・ホールブライシュ、レベッカ・ペイリー、野間 けい子 著

集英社

恵まれた幼少期、華やかな結婚生活と破綻、自殺未遂、乳がん…。そんな彼女を救ったのは、審美眼と独特のファッションセンスだった。NYの伝説のパーソナルショッパーが語る、人生とファッション。

2017:11./ 375p

978-4-08-781643-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/03



日本神話はいかに描かれてきたか～近代国家が求めたイメージ～(新潮選書)

及川 智早 著

新潮社

イザナキ・イザナミ神の国生みから、神武天皇や神功皇后の雄姿まで、明治維新以降、「古事記」「日本書紀」は様々に図像化されていった。その逸脱・変容の軌跡に、近代ならではの目論見と必然性を探る。

2017:10./ 221p

978-4-10-603817-4

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/12/03



異次元緩和の終焉～金融緩和と政策からの出口はあるのか～

野口 悠紀雄 著

日本経済新聞出版社

日本経済にとっての最大の課題は、金融緩和と政策からの脱却をいかにして実現するかである。異次元金融緩和と政策の誤りを総括し、本当に必要とされる経済政策を明らかにする。

2017:10./ 261p

978-4-532-35748-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/03



進化する妖怪文化研究(妖怪文化叢書)

小松 和彦 編

せりか書房

国際日本文化研究センターの共同研究「怪異・妖怪文化の伝統と創造」の研究成果報告書。前近代の妖怪文化から、近現代の映画やマンガ、アニメといった妖怪文化、海外との比較まで、妖怪文化に関する論考を集成。

2017:10./ 499p

978-4-7967-0369-7

本体 ¥5,800+税



朝日新聞 2017/12/03



日本の人類学(ちくま新書 1291)

山極 寿一、尾本 恵市 著

筑摩書房

人類はどこからやってきたのか。ヒトはなぜユニークなのか。ユニークさゆえに生じる人間社会の問題とはなにか。日本の人類学の二大巨頭が、人類学のこれまでの歩みと未来を語り尽くす。

2017:11./ 286p

978-4-480-07100-2

本体 ¥880+税



朝日新聞 2017/12/03



あるフィルムの背景～ミステリ短篇傑作選～(ちくま文庫 ゆ 7-1)

日下 三蔵 編

結城 昌治 著

筑摩書房

検察が押収したわいせつ図画販売罪の証拠フィルム映像に、妻と似た女性の姿を見つけた検察官の笹田は、独自調査に乗り出すが…。表題作をはじめ、普通の人が歪んだ事件を引き起こす恐ろしさと悲しみを巧みに描いた短篇集。

2017:11./ 402p

978-4-480-43476-0

本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/12/03



いのちと味覚～「さ、めしあがれ」「イタダキマス」～(NHK 出版新書 531)

辰巳 芳子 著

NHK出版

いのちと味覚は切っても切り離せないもの。食の本質が失われつつある今、「より良く生きる」ための心得を、「畏れ」「感応力」「直感力」「いざのときを迎え撃つ」「優しさ」の5つの指標から説く。

2017:10./ 209p

978-4-14-088531-4

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/12/03



ルーヴルの猫<上>(ビッグコミックススペシャル)

松本 大洋 著

小学館

猫 × 松本大洋 × ルーヴル美術館!ルーヴル美術館の屋根裏に棲みついた猫達。人間から隠れて暮らしていたが、一匹の白猫がその掟を破り、冒険に出かける。絵画から聞こえる声に導かれて入った世界には…!?

2017:11./ 230p

978-4-09-189748-0

本体 ¥1,296+税



朝日新聞 2017/12/03



ルーヴルの猫<下>(ビッグコミックススペシャル)

松本 大洋 著

小学館

ルーヴルで消えた少女の行方は…!!ルーヴルの夜警マルセルにはアリエッタという姉がいた。絵の声が聞こえるという彼女は、ある日、姿を消す。姉は絵の中に入ったと弟は言ったが誰も信じず、長い月日が流れた…。

2017:11./ 190p

978-4-09-189749-7

本体 ¥1,296+税



朝日新聞 2017/12/03



熱帯雨林コネクション～マレーシア木材マフィアを追って～

ルーカス・シュトラウマン、鶴田 由紀 著

緑風出版

ボルネオの熱帯雨林を、マレーシア・サラワク州の独裁政権が破壊した。汚職と不正乱伐で肥え太り、マネーロンダリングで不動産投資に明け暮れるマレーシア木材マフィア、タイブ帝国の驚くべき実態を明らかにする。

2017:10./ 346p

978-4-8461-1719-1

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/12/03



世代問題の再燃～ハイデガー、アーレントとともに哲学する～

森 一郎 著

明石書店

死と誕生から、死を超えるものとしての<世代>へ。ハイデガーとアーレントに学んだことを手がかりに、3・11以後に再燃した世代問題に光を当て、現代日本の危機の相を穿つ。「世代」を軸に紡がれる<世界継承>の哲学。

2017:11./ 342p

978-4-7503-4581-9

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2017/12/03



遺言。(新潮新書 740)

養老 孟司 著

新潮社

ヒトの意識と感覚に関する思索は、人間関係やデジタル社会の息苦しさから解放される道となる。「考え方ひとつで人生はしのぎやすくなる」と語る養老孟司の、80歳の叡智の到達点。25年ぶりの完全書き下ろし。

2017:11./ 188p

978-4-10-610740-5

本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/12/03



スリッパの技法

久禮 亮太 著

苦楽堂

書店員が今よりも楽しく自信を持って仕事を続け、売れる品揃えを作れるようになる実践的な方法とは? 新刊書店で18年間働いてきた著者が、スリッパを使った品揃えの考え方と実践法を解説する。

2017:10./ 237p,8p

978-4-908087-07-3

本体 ¥1,666+税



朝日新聞 2017/12/03



隠れ疲労〜休んでも取れないグッタリ感の正体〜(朝日新書 640)

梶本 修身 著

朝日新聞出版

休んでも取れない疲労感とは、自律神経が疲れている証拠。食事、睡眠、仕事の段取り、オフの過ごし方、人間関係…。ちょっとした習慣がグッタリとスッキリの大差を生む。疲労医学の専門家が、正しい回復法を伝授する。

2017:11./ 203p

978-4-02-273740-3

本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/12/03



舟を編む<下>(KCx)

雲田 はるこ、三浦 しをん 著

講談社

玄武書房辞書編集部が馬締光也は、新しい辞書『大渡海』の編纂メンバーとして、個性的な面々とともに辞書の世界に没頭していた。言葉と本気で向き合う人々の想いを乗せた『大渡海』は、果たして完成するのかー!?

2017:11./ 160p

978-4-06-510465-1

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/12/03



淵の王(新潮文庫 ま-29-8)

舞城 王太郎 著

新潮社

俺は君を食べるし、食べたし、今も食べてるよ。屋根裏に広がる闇の穴。正体不明の真っ暗坊主。最愛の人がこんなに近くにいたことに気づいたのは、すべてが無くなるほんの一瞬前だった…。恐ろしくて切ない、傑作ホラー長篇。

2017:12./ 402p

978-4-10-118638-2

本体 ¥670+税



朝日新聞 2017/12/03



カトレアな女達(白泉社文庫)

松苗 あけみ 著

白泉社

朝日新聞 2017/12/10

2002:6./ 354p

978-4-592-88550-4

本体 ¥600+税





女の一生(光文社古典新訳文庫)

モーパッサン 著

光文社

朝日新聞 2017/12/10

2011:3./ 456p

978-4-334-75226-2

本体 ¥838+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 5 2 2 6 2 *



ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<上>(ハヤカワ文庫 NF 410)

ダニエル・カーネマン、村井 章子 著

早川書房

心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喻を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。上はヒューリスティクスとバイアスなどを取り上げる。

2014:6./ 446p

978-4-15-050410-6

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 1 0 6 *

朝日新聞 2017/12/10



ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか?～<下>(ハヤカワ文庫 NF 411)

ダニエル・カーネマン 著

早川書房

心理学者にしてノーベル経済学賞を受賞した著者が、直感的・感情的な「速い思考」と、意識的・論理的な「遅い思考」の比喻を巧みに使い、意思決定の仕組みを解き明かす。下は自信過剰、選択などを取り上げる。

2014:6./ 427p

978-4-15-050411-3

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 1 1 3 *

朝日新聞 2017/12/10



ボヴァリー夫人(新潮文庫 フ-3-1)

フローベール 著

新潮社

娘時代に恋愛小説を読み耽った美しいエンマは、田舎医者シャルルとの退屈な新婚生活に倦んでいた。やがてエンマは夫の目を盗んで、色男のロドルフや青年書記レオンとの情事にのめりこみ…。フランス近代小説の金字塔を新訳。

2015:6./ 660p

978-4-10-208502-8

本体 ¥890+税



* 9 7 8 4 1 0 2 0 8 5 0 2 8 *

朝日新聞 2017/12/10



母さんごめん、もう無理だ～きょうも傍聴席にいます～

朝日新聞社会部 著

幻冬舎

98歳の母の首に74歳の息子が手をかけた、憲法学の第一人者が司法試験問題を教え子の女性に漏らした…。記者が見つめた法廷の人間ドラマ29編。『朝日新聞デジタル』連載「きょうも傍聴席にいます」を単行本化。

2016:3./ 217p

978-4-344-02905-7

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 2 9 0 5 7 *

朝日新聞 2017/12/10



逆行経済学の逆襲

リチャード・セイラー 著

早川書房

伝統的な経済学の大前提に真っ向から挑んだ行動経済学。その第一人者が、自らの研究者人生を振り返りつつ、異端の学問が学界の権威に叩かれながら強くなっていった過程をユーモアたっぷりに描く。

2016:7./ 527p

978-4-15-209625-8

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 1 5 2 0 9 6 2 5 8 *

朝日新聞 2017/12/10



脂肪の塊/ロンドリ姉妹～モーパッサン傑作選～(光文社古典新訳文庫 KA モ 2-2)

モーパッサン 著

光文社

人間のもつ醜いエゴイズム、好色さを痛烈に描いた「脂肪の塊」、イタリア旅行で出会った娘との思い出を綴った「ロンドリ姉妹」など、モーパッサンの初期作品からヴァリエティに富む中・短篇全 10 作を収録。

2016:9./ 334p
978-4-334-75339-9

本体 ¥920+税



朝日新聞 2017/12/10



日本人の源流～核 DNA 解析でたどる～

斎藤 成也 著

河出書房新社

アフリカを出た人類の祖先は、いかにして日本列島にたどりつき「ヤポネシア人」となったのか? 縄文人の DNA の特異性とは? 日本人の源流を、DNA の情報にもとづく最新の研究結果を中心に解き明かす。

2017:10./ 215p
978-4-309-25372-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/12/10



大佛次郎～一代初心～(ミネルヴァ日本評伝選)

福島 行一 著

ミネルヴァ書房

明治維新、進取の気風の中で生まれ育った大佛次郎。一中、一高、東大法学部卒のエリート街道から本格的な大衆文学作家となり、「鞍馬天狗」「天皇の世紀」を生み出した。一次史料を渉猟し、その生涯と作品が織りなす実像に迫る。

2017:11./ 13p,335p,7p
978-4-623-07880-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/12/10



肉弾

河崎 秋子 著

KADOKAWA

心の通わぬ父子は、森へ入っていく。そこが獣の領域と知りながら。北海道のカルデラ地帯で孤立した青年が熊や野犬と戦い、人間の生きる本能を覚醒させてゆく。圧倒的なスケールで描く肉体と魂の成長物語。

2017:10./ 252p
978-4-04-105382-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/10



天皇家のお葬式(講談社現代新書 2449)

大角 修 著

講談社

天皇の葬儀は時代の変化を映す。日本で初めて火葬された天皇といえど? 江戸時代までは仏式なのに明治以降はなぜ神式? 古代から近現代に至る天皇の葬儀の変遷を辿る。

2017:10./ 270p
978-4-06-288450-1

本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/12/10



我々は人間なのか?～デザインと人間をめぐる考古学的覚書き～

ビアトリス・コロミーナ、マーク・ウィグリー、牧尾 晴喜 著

ビーエヌエヌ新社

我々は人間なのか? 今、デザインに求められるのは、この問いだ。第 3 回イスタンブール・デザイン・ビエンナーレの準備をしていた過去 1 年半の活動記録。人間という動物を定義する上でのデザインの役割を考える。

2017:10./ 319p
978-4-8025-1077-6

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/12/10



レッド・プラトーン～14 時間の死闘～

クリントン・ロメシヤ、伏見 威蕃 著

早川書房

2009 年 10 月 3 日、アフガニスタンの山岳地帯。アメリカ陸軍の戦闘前哨キーティングは、重装備のタリバン兵 300 人に完全包囲され…。アフガン戦争史上最悪の戦闘を生き延びた兵士が語る、息詰まる攻防の全記録。

2017:10./ 431p

978-4-15-209716-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/10



天地創造デザイン部<1>(モーニング KC)

蛇蔵、鈴木 ツタ、たら子 著

講談社

天界にある動物の「デザイン室」では、神様(クライアント)からのムチャ振りを受けて、日々さまざまな動物がデザインされていた。マンガの単行本とは思えない、登場した動物たちの図鑑も収録!!

2017:11./ 144p

978-4-06-510461-3

本体 ¥570+税



朝日新聞 2017/12/10



雪の夜は小さなホテルで謎解きを(創元推理文庫 Mミ3-1)

ケイト・ミルフォード、山田 久美子 著

東京創元社

12 歳のマイロの両親が営むホテルに、大雪のなか現れた 5 人の宿泊客。滞在予定日数を告げず、他の客がいることに驚く奇妙な彼ら。マイロは彼らの目的を探るが、それはホテルの秘密につながっていて…。心あたたまるミステリ。

2017:11./ 438p

978-4-488-13504-1

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/12/10



あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる

平良 愛香 著

学研

日本で初めてゲイであることを公表して牧師となった著者が、激動の半生と、差別者にも被差別者にもならないために気づいてほしいことを綴る。「性と差別にまつわる特別講義」も収録。

2017:11./ 279p

978-4-05-406611-3

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/12/10



「富士そば」は、なぜアルバイトにボーナスを出すのか(集英社新書 0908)

丹 道夫 著

集英社

ボツメニューを表彰、5 回辞めてもまた採用、細かいマニュアルは無し…。創業以来 40 年以上の歴史を持ち、現在も成長を続ける老舗チェーン店「富士そば」の「ふしぎ」な仕組みと経営哲学の全貌を、創業者自らが明らかにする。

2017:11./ 222p

978-4-08-721008-8

本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/12/10



虚ろなる十月の夜に(竹書房文庫 ゼ 1-1)

ロジャー・ゼラズニイ、森瀬 繭 著

竹書房

<閉じる者>と<開く者>、旧き神々を崇拝する者たちとそれを阻止せんとする者たちの、世界の変革と保持を巡る戦い<大いなる儀式>がハロウィーンに行われる。切り裂きジャックや名探偵ホームズが、旧き神々に対峙する!

2017:11./ 347p

978-4-8019-1267-0

本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/12/10



紙の魔術師(ハヤカワ文庫 FT 595)

チャーリー・N.ホームバーグ、原島 文世 著

早川書房

魔術師養成学院を卒業したシオニーは、不本意ながら<紙の魔術師>の道歩むことに。師匠のセインはイケメンだけど変わり者。ある日、セインが禁断の魔術の使い手に襲撃され…。魔法きらめく歴史ファンタジイ3部作開幕。

2017:11./ 334p

978-4-15-020595-9

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/12/10



老愛小説

古屋 健三 著

論創社

フランスから日本に舞い戻った大学教師。異国に置き去りにした女、幼い日に消えた母への追憶。異国と日本、男と女の思いが交錯する…。表題作ほか全3篇を収録した小説集。『文藝界』『三田文学』掲載を単行本化。

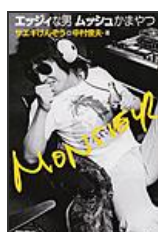
2017:12./ 313p

978-4-8460-1633-3

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/12/10



エッジな男 ムッシュかまやつ

サエキ けんぞう、中村 俊夫 著

リットーミュージック

惜しまれつつ、最高の歌と、忘れられない面影を残した大スター、ムッシュかまやつ。終生、時代の先端(エッジ)に居続けたムッシュの才能の軌跡をたどりながら、その活動の本態と真価を描き出す。

2017:10./ 277p

978-4-8456-3134-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/10、朝日新聞 2017/12/24



名画で読み解くイギリス王家 12 の物語(光文社新書 907)

中野 京子 著

光文社

王家が転変する度に途轍もない人物が生まれ、ドラマが生まれるのが英国史の面白さ。イギリス王室の三王朝、テューダー家、ステュアート家、ハノーヴァー家とその変名の王家について、それぞれ名画にからめた歴史物語を綴る。

2017:10./ 203p

978-4-334-04313-1

本体 ¥980+税



朝日新聞 2017/12/10、読売新聞 2017/12/24



戦争と農業(インターナショナル新書 015)

藤原 辰史 著

集英社インターナショナル

農業における発明は、戦争のあり方をも変えた。トラクターは戦車に、化学肥料は火薬に、逆に毒ガスは農薬となった。戦争と農業から、飽食と飢餓の狭間で危機に瀕した食の本質を考える。

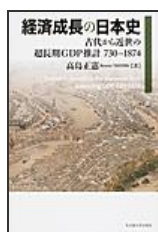
2017:10./ 205p

978-4-7976-8015-7

本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/10



経済成長の日本史～古代から近世の超長期 GDP 推計 730-1874～

高島 正憲 著

名古屋大学出版会

奈良時代から近代初頭にいたる日本列島経済の展開を一望。最貧国水準を抜け出し、1人あたりGDPが着実な上昇に転じていく過程を、災害・飢饉・環境・都市化なども視野に解明する。

2017:10./ 6p,339p

978-4-8158-0890-7

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/10



エンブリヲ<1>(BEAM COMIX)

小川 幸辰 著
エンターブレイン
朝日新聞 2017/12/17

2008:1./ 251p
978-4-7577-3972-7
本体 ¥640+税



エンブリヲ<2>(BEAM COMIX)

小川 幸辰 著
エンターブレイン
朝日新聞 2017/12/17

2008:1./ 240p
978-4-7577-3973-4
本体 ¥640+税



エンブリヲ<3>(BEAM COMIX)

小川幸辰 著
エンターブレイン
朝日新聞 2017/12/17

2008:2./ 249p
978-4-7577-4036-5
本体 ¥640+税



善の研究 改版(岩波文庫 青版 124-1)

西田 幾多郎 著
岩波書店
朝日新聞 2017/12/17

2012:3./ 372p
978-4-00-331241-4
本体 ¥900+税



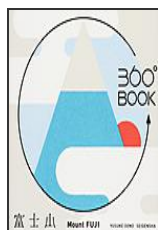
東京ロンダリング(集英社文庫 は 40-1)

原田 ひ香 著
集英社
内田りさ子、32 歳。わけあって離婚。戻るべき家を失い、事故物件に住むことを仕事にした彼女は、移り住む先々で人と出会い、衝突しながら何を取り戻したのか？
東京の賃貸物件をロンダリングする女性の、人生再生の物語。

2013:12./ 197p
978-4-08-745148-1
本体 ¥440+税



朝日新聞 2017/12/17



富士山(360°BOOK)

大野 友資 著
青幻舎
円を描くように本を開くと、瞬間に立体のジオラマが現れる。繊細にデザインされたページの連なりが三次元の世界に誘う驚きの仕掛け！

2015:11./ 1 冊(ページ
付なし)

978-4-86152-516-2
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/17



平成の家族と食(犀の教室)

品田 知美 編
品田 知美、野田 潤、畠山 洋輔 著
晶文社
和食はどれくらい食べられているか？主婦はコンビニで食料を購入しているか？
男性は台所へ入っているか？膨大なデータをもとに、平成の家族と食のリアルを
徹底解剖。日本の家族の健康と働き方、幸福を考えるための一冊。

2015:12./ 267p
978-4-7949-6822-7
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/17



失踪.com〜東京ロンダリング〜

原田 ひ香 著

集英社

事故物件に住み、部屋をロンダリング(浄化)する人材を斡旋する相場不動産。だが、その仕事を妨害する動きが。調査を始めた仙道が突き止めた真実とは…。「東京ロンダリング」の著者が新たに大都市・東京の鬼門を突く!

2016:9./ 309p

978-4-08-775431-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/17



日の名残り〜長編時代小説〜(光文社文庫 ふ 17-19)

藤原 緋沙子 著

光文社

駆け込み寺「慶光寺」の御用宿「橘屋」に薬種問屋の内儀おきくが駆けこんできた。用心棒の塙十四郎が事情を調べると、お金と引き換えに嫁いだおきくは、亭主の卯之助に商売の手段に使われていたことがわかり…。全3話を収録。

2017:6./ 263p

978-4-334-77490-5

本体 ¥580+税



朝日新聞 2017/12/17



朝日書評大成<2009-2016>

朝日新聞社文化くらし報道部 編

三省堂

朝日新聞社の署名入り書評のうち、2009年1月?2016年12月の書評約3200点を年別・発行月日順に配列。発行年月日、書名、著者名、出版社名、書評本文などを掲載。本書未収録書評リスト、キーワード索引付き。

2017:11./ 4p,2,005p

978-4-385-15119-9

本体 ¥17,200+税



朝日新聞 2017/12/17



ジェンダー研究を継承する(一橋大学大学院社会学研究科先端課題研究叢書)

伊藤 るり 編

人文書院

ジェンダー研究のパイオニアたちは、どのように学問の道を志し、課題を探究してきたのか。研究中の困難や研究への思い、運動や政治との関係も絡め、後続世代が先達21人に問うたインタビュー集。

2017:10./ 522p

978-4-409-24119-6

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2017/12/17



江戸の出版統制〜弾圧に翻弄された戯作者たち〜(歴史文化ライブラリー 456)

佐藤 至子 著

吉川弘文館

江戸時代後期、娯楽小説の戯作は、たびたび取り締まりの対象となった。権力側は何を問題視し、作者や版元はいかに受け止め対処したのか。形を変え現代に続く出版統制をめぐる攻防の歴史を描く。

2017:11./ 5p,232p

978-4-642-05856-8

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/17



空間へ(河出文庫 い 39-1)

磯崎 新 著

河出書房新社

世界的建築家・磯崎新。その軌跡の第一歩となる伝説的単著。著者本人が「日付のついたエッセイ」と呼ぶように、1960年代を通じてさまざまな媒体に記された論文・エッセイをクロノロジカルに収録する。

2017:10./ 578p

978-4-309-41573-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/12/17



活動報告～80年代タレント議員から162万人へ～

中山 千夏 著

講談社

第12回参議院選挙で最年少参議院議員となった元名子役・人気タレントの彼女が見たものとは。1期6年、国会議員を務めた著者が、立候補にいたった経緯や、国会議員時代を振り返る。回顧録三部作完結。

2017.11./ 215p

978-4-06-220740-9

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/12/17



なぜ私たちは生きているのか～シュタイナー人智学とキリスト教神学の対話～ (平凡社新書 858)

佐藤 優、高橋 巖 著

平凡社

「生きづらさ」の根源は何か。国家・資本・宗教を切り口に、精神世界の重要性を説くシュタイナー人智学の第一人者・高橋巖と、キリスト教神学と現代社会を取り結ぶ著作活動をつづける佐藤優が、世界のあり方を問い直す。

2017.11./ 197p

978-4-582-85858-7

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/12/17



ハリウッド映画史講義～翳りの歴史のために～(ちくま学芸文庫 ハ1-8)

蓮實 重彦 著

筑摩書房

第二次世界大戦後、不意に崩れ始めたハリウッドの撮影所システム。時代と不幸な関係を結んだ「1950年代作家」たちが照らし出すものは。アメリカ映画が抱え込んだ問題を剔抉し、作品を見定める視界を開く独創的映画論。

2017.11./ 257p,20p

978-4-480-09828-3

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2017/12/17



小説の言葉尻をとらえてみた(光文社新書 910)

飯間 浩明 著

光文社

小説の筋を追うだけでなく、その中の日本語に注目すると、ことばの思いがけない面白さに気づく。「三省堂国語辞典」編集委員のガイドで、物語の中で語られることばの魅力に迫る、異色の小説探検。『小説宝石』連載を加筆修正。

2017.10./ 256p

978-4-334-04316-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/12/17



ギネス世界記録 2018～Guinness World Records 2018～

クレイグ・グレンディ 編

KADOKAWA

長い地球の歴史のなかで生まれた世界一。最先端テクノロジーが生み出した世界一。人類の英知が、人体の限界が、努力と団結力、あくなき探究心がもたらした世界一。想像を超える約4,000もの世界記録が掲載！

2017.11./ 274p

978-4-04-899609-9

本体 ¥3,056+税



朝日新聞 2017/12/17



皇帝と拳銃と

倉知 淳 著

東京創元社

学内で“皇帝”と称される稲見教授は、恐喝者の排除を決意し実行する。犯行計画は完璧なはずだったのに…。死神めいた風貌の警部の鋭利な推理。倒叙ミステリ全4編を収録する。『ミステリーズ!』掲載を単行本化。

2017.11./ 356p

978-4-488-02778-0

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2017/12/17



みくまりの谷深(やみ)<1>(HARTA COMIX)

小川 幸辰 著

KADOKAWA

東京都心と国際空港を結ぶ土地に拓かれた“万葉ニュータウン”。照葉樹の森に包まれたこの街で連続失踪事件が起こった。犯人の特徴は、全身がうろこで覆われた、まるで獣のような大男…。

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-04-734658-1

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/12/17



みくまりの谷深(やみ)<2>(HARTA COMIX)

小川 幸辰 著

KADOKAWA

“万葉ニュータウン”を襲う、全身うろこで覆われた怪物。怪物の目的は、人間に奪われた土地を取り戻すことだった。彼らは、脆弱な人間を滅ぼし、住処を手に入れる。

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-04-734659-8

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/12/17



健康格差～あなたの寿命は社会が決める～(講談社現代新書 2452)

NHK スペシャル取材班 著

講談社

所得や家庭環境などにより、自らの健康を維持する最低限の条件が蝕まれている。寿命の格差とも言えるべき「健康格差」の危機的な事態に迫る。チェックシート付き。NHK スペシャルの番組内容を中心に書籍化。

2017:11./ 196p

978-4-06-288452-5

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/12/17



バロックの光と闇(講談社学術文庫 2464)

高階 秀爾 著

講談社

絵画や彫刻のみならず、音楽、建築、文学をも貫く「バロック」とは何か? 西洋美術史の泰斗が無数の作品を渉猟しながらその本質に迫る、壮大な文化史の旅。大幅に図版を増補して文庫化。

2017:11./ 337p

978-4-06-292464-1

本体 ¥1,130+税



朝日新聞 2017/12/17



重ね地図で読み解く大名屋敷の謎～カラー版～(宝島社新書 484)

宝島社

江戸城跡、泉岳寺・白金など、大名屋敷跡をめぐる 16 のコースを、地形の高低差とともに詳細にガイド。江戸時代の切絵図に、高低差を表現した現代の 3D 地図を重ねて見ることによって、「江戸」と「いま」の違いがわかる。

2017:11./ 223p

978-4-8002-6978-2

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/12/17



写真家だけが知っている動物たちの物語(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ロザムンド・キッドマン・コックス、片山 美佳子 著

日経ナショナルジオグラフィック社

アザラシが人にペンギンをプレゼント。シマウマの子をかわいがるライオン…。ワイルドライフ・フォトグラファー・オブ・ザ・イヤーを受賞した動物写真のなかから、記憶に残る魅力的な写真を厳選して掲載。

2017:11./ 127p

978-4-86313-397-6

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/12/17



いwasakiちひろ～子どもへの愛に生きて～

松本 猛 著

講談社

私は絵と結婚するの-。数々の逆境を乗り越え、子どもへの愛を描き続け、いまなお愛され続ける絵本作家・いwasakiちひろ。その激動の生涯と知られざる素顔を、息子の目を通して描く。

2017:10./ 348p

978-4-06-220806-2

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/24



カランポーのオオカミ王

ウィリアム・グリル、千葉 茂樹 著

岩波書店

19 世紀末、北アメリカのカランポー地方には、「王」と呼ばれて恐れられたオオカミがいた。博物学者で画家のシートンは、依頼を受けてロボと対決するが...。「オオカミ王ロボ」の物語を題材に、シートンのその後を加えて描く。

2017:10./ 77p

978-4-00-111264-1

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/12/23



わたしたちのたねまき～たねをめぐるいのちたちのおはなし～

キャスリン・O.ガルブレith 著

のら書店

くりかえし、くりかえし、わたしたちは広くて大きな庭に、たねをまいてきました-。いのちがつながり、地球というひとつの大きな庭がつくられるようすをえがいた、うつくしい絵本。

2017:10./ 32p

978-4-905015-34-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/23



絵物語古事記

富安 陽子、山村 浩二、三浦 佑之 著

偕成社

現存する日本最古の歴史書「古事記」。天地の始まりから、7 世紀の推古天皇の時代までの歴史を記した全 3 巻のうち、上巻に綴られている神話の部分絵物語としてまとめる。

2017:11./ 253p

978-4-03-744870-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/23



ふるいせんろのかたすみで

チャールズ・キーピング、ふしみ みさを 著

ロクリン社

古い線路のそばに、6 軒の家が連なる長屋がありました。住んでいるのは、年輩いた貧しい人ばかり。ある日、みんなで買ったくじが当たり! とつぜん舞い降った幸運に、長屋の人たちはどうしたでしょう...?

2017:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-907542-51-1

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/23



図書館にいたユニコーン

マイケル・モーパーゴ、ゲーリー・ブライズ、おびか ゆうこ 著

徳間書店

山や森を駆け回るのが大好きな少年トマスは、お母さんにつれられていった図書館で、すばらしい司書と、木でできたユニコーンに出会う。トマスは本が好きになるが、やがて戦争がやってきて...。お話や本の力を描いた物語。

2017:11./ 108p

978-4-19-864521-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/12/23



くっついた

三浦 太郎 著

こぐま社

ページをめくると...くっついた!その繰り返し楽しい赤ちゃん絵本。最後は赤ちゃんのほっぺを挟んでお父さん、お母さんとくっついた!赤ちゃんのまわりにいる大人までニコリ笑顔になる一冊。

2005:8./ 24p

978-4-7721-0178-3

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/12/24



頭に来てアホとは戦うな!～人間関係を思い通りにし、最高のパフォーマンスを実現する方法～

田村 耕太郎 著

朝日新聞出版

苦手なヤツほど、徹底的に利用せよ!「相手の欲望を見抜き」「腰を低くして、助けを求め」「味方にする」。目標がみるみる叶う「人の動かし方」を伝授する。

2014:7./ 221p

978-4-02-251198-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/12/24



たったひとつの「真実」なんてない～メディアは何を伝えているのか?～(ちくまブリーマー新書 221)

森 達也 著

筑摩書房

ニュースや新聞は間違えないという思い込みは捨てよう。でも、?ばかりというのは間違い。メディアはすべて、事実と?の境界線上にある。私たちに不可欠となっているメディアを正しく使う方法を考える。

2014:11./ 201p

978-4-480-68926-9

本体 ¥820+税



朝日新聞 2017/12/24



エロマンガ先生<1>(電撃コミックス NEXT N080-01)

伏見 つかさ、rin、かんざき ひろ 著

KADOKAWA

朝日新聞 2017/12/24

2014:11./ 165p

978-4-04-866922-1

本体 ¥570+税



妹さえいればいい。<1>(ガガガ文庫 ガひ 4-1)

平坂 読 著

小学館

妹バカの小説家・羽島伊月、残念系美少女・那由多、青春三冠王・京...。それぞれ迷いや悩みを抱えながらも賑やかな毎日を繰り返す伊月たち。そんな彼らを温かく見守る完璧超人の弟・千尋には、大きな秘密があつて...

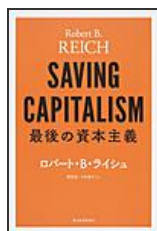
2015:3./ 262p

978-4-09-451507-7

本体 ¥574+税



朝日新聞 2017/12/24



最後の資本主義

ロバート・B.ライシュ、雨宮 寛、今井 章子 著

東洋経済新報社

なぜ 50 年前にはうまく分配できていた繁栄が、現代の仕組みではできないのか。中間層の消滅を警告し続けたアメリカの経済学者が、市場のルール、所得や富の分配について詳論し、富裕層に対抗する勢力の構築について述べる。

2016:12./

17p,346p,17p

978-4-492-44440-5

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/12/24



虜囚～一六〇〇～一八五〇年のイギリス、帝国、そして世界～

リンダ・コリー 著

法政大学出版局

あらゆる価値が転倒する異国の地で、敵の手中に落ちたイギリス人虜囚たちの目に、世界はどのように映ったのか。地中海、アメリカ、インド…。大英帝国の版図をめぐる争いのさなか記された虜囚体験記を分析する。

2016.12./ 4p,505p,57p

978-4-588-37125-7

本体 ¥7,800+税



朝日新聞 2017/12/24



宣教師ザビエルと被差別民(筑摩選書 0139)

沖浦 和光 著

筑摩書房

ザビエルの日本およびアジア各地での布教活動の跡をたどりながら、キリシタン渡来が被差別民にもたらしたものが何だったのかを解明する。差別問題をアジア思想史レベルでとらえ続けた沖浦和光が取り組んだ最後の著作。

2016.12./ 219p

978-4-480-01647-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/12/24



文庫解説ワンダーランド(岩波新書 新赤版 1641)

斎藤 美奈子 著

岩波書店

夏目漱石、川端康成、太宰治、松本清張、赤川次郎、渡辺淳一…。文庫本の巻末の「解説」は、読者を興奮と混乱と発見にいざなうワンダーランドだった! 痛快極まりない、抱腹絶倒の「解説」批評。『図書』連載を書籍化。

2017.1./ 5p,244p

978-4-00-431641-1

本体 ¥840+税



朝日新聞 2017/12/24



福島尚鉄道画集～線路は続くよ～

福島 尚 著

二見書房

高崎線、特急レッドアロー、ブルートレイン能登号…。バラストから動軸、架線まで、まるで写真のように細密に描かれた鉄道画の数々。鉄道で世界とつながった自閉症の画家・福島尚の作品集。

2017.1./ 111p

978-4-576-16209-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/12/24



デヴィッド・ボウイインタビューズ

ショーン・イーガン 編

デヴィッド・ボウイ 著

シンコーミュージック

ボウイが語る、ボウイのリアル。1969～2003 年に英米の新聞や雑誌に掲載されたインタビュー記事から厳選した 32 本を収録。デヴィッド・ボウイの奥深い魅力が細部にいたるまで立体化され、立ち上がってくる一冊。

2016.12./ 671p

978-4-401-64335-6

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/12/24



メシュガー

アイザック・B.シンガー、大崎 ふみ子 著

吉夏社

常に死を意識しながらも新たな生を模索するユダヤ難民たち。作家アーロンは、その中の一人、ミリアムに強く惹かれる。やがて彼女の<暗黒>の過去が暴かれ…。著者が自らの作家人生をリアルに織り込みながら描く最晩年の長篇。

2016.12./ 334p

978-4-907758-25-7

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2017/12/24



白村江

荒山 徹 著
PHP研究所

悲劇の王子が運命に抗う時、歴史が変わる。大化の改新、揺れる朝鮮半島、そして白村江の戦い…。果たして真の勝者は誰だったのか。激動の東アジア史を大胆に描いた長編小説。『文蔵』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2017/12/24

2016:12./ 443p
978-4-569-83104-6
本体 ¥1,900+税



サザビーズで朝食を～競売人が明かす美とお金の物語～

フィリップ・ブック 著
フィルムアート社

シャガール、ミロはブルーが多いほど高額に?ゴッホは自殺したからこそ価値が高まった?サザビーズのディレクターが、長年の経験をもとに、作品の様式からオークションの裏側まで、美術にまつわるトピックを解説する。

朝日新聞 2017/12/24

2016:12./ 469p
978-4-8459-1632-0
本体 ¥3,000+税



憲法改正とは何だろうか(岩波新書 新赤版 1645)

高見 勝利 著
岩波書店

憲法改正とは、最高法規である憲法を変更する最高の権力作用。改正による体制転換のシナリオの考察からその帰結を抉り出す。「改正手続法」の問題点と、安倍首相の憲法観の危うさなども論じる。

朝日新聞 2017/12/24

2017:2./ 7p,219p
978-4-00-431645-9
本体 ¥820+税



ザッブル・レコード興亡記～伝説のビートルズ・レーベルの真実～

バリー・マイルズ、野間 けい子 著
河出書房新社

1968 年、ポール・マッカートニーの肝いりで誕生した、「型破りのサウンドを生み出すレーベル」ザッブル。1960 年代の音楽・文学の最先端を開拓したレーベルの内実を明らかにする。初公開写真も多数収録。

朝日新聞 2017/12/24

2017:2./ 293p
978-4-309-27818-6
本体 ¥2,900+税



鯨を生きる～鯨人の個人史・鯨食の同時代史～(歴史文化ライブラリー 445)

赤嶺 淳 著
吉川弘文館

鯨とともに生きてきた“鯨人”6 人が語る個人史。江戸時代の鯨食文化から、戦後の「国民総鯨食時代」、鯨肉が「稀少資源化」した今日まで、日本社会における捕鯨・鯨食の多様性を生活様式の移りかわりに位置づける。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 5p,283p
978-4-642-05845-2
本体 ¥1,900+税



ゆらぐ玉の緒

古井 由吉 著
新潮社

陽炎の立つ中で感じるのも、眠りの内のゆらめきの、余波のようなものか…。往還する時間のあわいに浮かぶ生の輝き、ひびき渡る永劫。一生を照らす、生涯の今を描く古井文学の集大成。全 8 篇を収録。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2017/12/24

2017:2./ 216p
978-4-10-319211-4
本体 ¥1,700+税





冬の日記

ポール・オースター 著

新潮社

幼時の大けが。性の目覚め。パリでの貧乏暮らし。暮してきた家々。妻との出会い。母の死。「人生の冬」を迎えた作家の、肉体と感覚をめぐる回想録。

朝日新聞 2017/12/24

2017:2./ 216p

978-4-10-521718-1

本体 ¥1,900+税



財政と民主主義～ポピュリズムは債務危機への道か～

加藤 創太、小林 慶一郎 著

日本経済新聞出版社

日本はもとより、いま、多くの先進民主主義国が財政赤字問題に苦しんでいる。国内外の研究成果や歴史的経験を踏まえつつ、執筆者それぞれが政策実務の現場で得た知見を生かして分析を行い、具体的な対応策を提示する。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 311p

978-4-532-35693-4

本体 ¥2,000+税



そして、ぼくは旅に出た。～はじまりの森ノースウッズ～

大竹 英洋 著

あすなろ書房

ノースウッズへ。それが自分の人生を前に進めることのできる、ただひとつの行動だった。大自然に憧れ、写真家をめざすことになった 1999 年の旅を綴る。『ナショナルジオグラフィック日本版』のウェブ連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 418p

978-4-7515-2868-6

本体 ¥1,900+税



不平等を考える～政治理論入門～(ちくま新書 1241)

齋藤 純一 著

筑摩書房

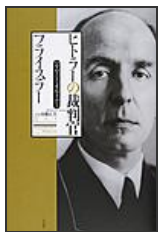
この 20 年あまり、多くの国で格差の拡大が進んだ。この不平等の問題を克服するためにどう考えればいいのか。私たちが尊重すべき「平等な関係」とは何かを根底から問いなおし、そうした社会を可能にするための制度を構想する。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 284p

978-4-480-06949-8

本体 ¥880+税



ヒトラーの裁判官フライスラー

ヘルムート・オルトナー、須藤 正美 著

白水社

ナチス抵抗運動の青年グループ「白バラ」の被告人をはじめ、無数の死刑判決を下した「人民法廷」長官の生涯、ヒトラー体制下と戦後ドイツの司法界の闇を暴く、戦慄の書。死刑判決文、図版、史料も多数収録する。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 319p,52p

978-4-560-09539-3

本体 ¥3,400+税



花嫁首～眠狂四郎ミステリ傑作選～(創元推理文庫 M し 8-2)

柴田 錬三郎、末國 善己 編

柴田 錬三郎 著

東京創元社

なぜ花嫁の首は切断され、罪人のものとすり替えられたのか？ ころび伴天連の父と武士の娘である母を持ち、虚無をまとう孤高の剣士・眠狂四郎が奇怪な事件に挑む、珠玉の 21 編を収録。

朝日新聞 2017/12/24

2017:3./ 504p

978-4-488-43912-5

本体 ¥1,300+税





昭和解体～国鉄分割・民営化 30 年目の真実～

牧 久 著

講談社

国鉄解体は「昭和」の解体をも意味していた。国鉄が崩壊、消滅に向けて突き進んだ 20 年余りの歴史を、重大証言と発掘資料で再検証し、「借金 1000 兆円をかかえた国家の未来」を预言する。

2017:3./ 517p

978-4-06-220524-5

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/24



動物奇譚集<1>(西洋古典叢書 G099)

アイリアノス 著

京都大学学術出版会

鳥、魚、犬から、蛇、蟻、植物、正体不明の動物まで、あらゆる生物にまつわる多彩なエピソードを集めたアイリアノス「動物奇譚集」の全訳。1 は、第 1 巻?第 9 巻を収録。地図・度量衡単位の説明・章番号対照表付き。

2017:5./ 452p,3p

978-4-8140-0093-7

本体 ¥4,100+税



朝日新聞 2017/12/24



動物奇譚集<2>(西洋古典叢書 G100)

アイリアノス 著

京都大学学術出版会

鳥、魚、犬から、蛇、蟻、植物、正体不明の動物まで、あらゆる生物にまつわる多彩なエピソードを集めたアイリアノス「動物奇譚集」の全訳。2 は、第 10 巻?第 17 巻を収録。地図・度量衡単位の説明・章番号対照表付き。

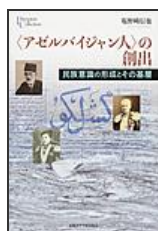
2017:6./ 375p,40p

978-4-8140-0094-4

本体 ¥3,900+税



朝日新聞 2017/12/24



<アゼルバイジャン人>の創出～民族意識の形成とその基層～(プリミエ・コレクション 77)

塩野崎 信也 著

京都大学学術出版会

民族概念は支配者の規定で構築されるというのが一般の学問的理解だが、アゼルバイジャンは違う。現地知識人達が学術語を援用して民族名を名乗り、それを作品の中で普及したのだ。民族意識の下からの形成現場を生き生きと描く。

2017:3./ 14p,420p

978-4-8140-0078-4

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2017/12/24



ハイン 地の果ての祭典～南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死～

アン・チャップマン 著

新評論

人間が定住した最南の地、南米最南端のフエゴ諸島。白人の到来による迫害と伝染病の蔓延によって絶滅へと至った部族の社会、神話、部外者に秘匿されていた祭典の詳細を人類学者が描く。20 世紀初頭の貴重な写真も多数収録。

2017:4./ 271p,6p

978-4-7948-1067-0

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/12/24



ヒルビリー・エレジー～アメリカの繁栄から取り残された白人たち～

J.D.ヴァンス、関根 光宏、山田 文 著

光文社

失業、貧困、ドラッグが蔓延するミドルタウンの貧しい家で育ちながら、イエール大学ロースクールを修了し、投資会社の社長を務める著者の回想記。トランプ大統領の支持層である、アメリカの白人労働者階層の実態が分かる書。

2017:3./ 418p

978-4-334-03979-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/24



殺生と戦争の民俗学～柳田國男と千葉徳爾～(角川選書 582)

大塚 英志 著

KADOKAWA

「聖セバスチャン殉教図」に「殺生の快樂」を見いだした師・柳田國男。己の「殺生の快樂」への欲望を起点に「戦争の民俗学」へと分け入った弟子・千葉徳爾。千葉の教え子が師の研究に対峙し、現代の民俗学の在り方までを問う。

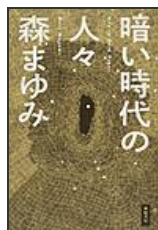
2017:3./ 390p

978-4-04-703607-9

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/12/24



暗い時代の人々

森 まゆみ 著

亜紀書房

斎藤隆夫、竹久夢二、山川菊栄…。最も精神の抑圧された、1930～45 年の「暗い時代」に、「精神の自由」を掲げて戦った 9 人の生の軌跡を、評伝の名手が描き出す。ウェブマガジン『あき地』連載に加筆し書籍化。

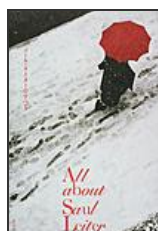
2017:4./ 294p

978-4-7505-1499-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/24



ソール・ライターのすべて

ソール・ライター 著

青幻舎

ソール・ライターの全貌を伝える写真集。ファッションから、ストリート、ヌード、絵画まで、約 230 点を収録するほか、柴田元幸等の寄稿も掲載。「作品」と「言葉」で彼の人生哲学を紡ぐ。

2017:5./ 307p

978-4-86152-616-9

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/24



枕草子のたくらみ～「春はあけぼの」に秘められた思い～(朝日選書 957)

山本 淳子 著

朝日新聞出版

清少納言が中宮定子に捧げた作品「枕草子」。定子の死後、その敵方であった藤原道長の権勢極まる世で潰されることなく、作品として生き残ることができたのはなぜか。その謎を解明する。

2017:4./ 8p,312p

978-4-02-263057-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/12/24



アンディ・ウォーホルのヘビのおはなし

アンディ・ウォーホル、野中 邦子 著

河出書房新社

クレオパトラからココ・シャネルまで、セレブリティを着飾った、創造性ゆたかでキュートなヘビの七変化。広告デザイナー時代のアンディ・ウォーホルが制作した、クールでおしゃれな絵本。

2017:5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-27809-4

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/12/24



無くならない～アートとデザインの間～

佐藤 直樹 著

晶文社

ある日、木炭画を描き始めたら、描くのが止まらない…。デザインの世界で活躍してきた著者が、アートとデザインの関係について考える。晶文社『スクラップブック』連載等をもとに書籍化。

2017:4./ 335p

978-4-7949-6960-6

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/12/24



NHK ニッポン戦後サブカルチャー史 深掘り進化論

宮沢 章夫、大森 望、泉 麻人、輪島 裕介、都築 響一、さやわか、NHK「ニッポン戦後サブカルチャー史」制作班 著

NHK出版

NHK「ニッポン戦後サブカルチャー史II DIG 深掘り進化論」から生まれた本。「ニッポン女子高生史」「SFは何を夢見るか?」など 6 つのテーマから、耽溺という「技」で戦後ニッポン、そして世界を読み解く。

2017:4./ 223p

978-4-14-081686-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/24



最後のヴァイキング〜ローアル・アムンセンの生涯〜

スティーブン・R.バウン、小林 政子 著

国書刊行会

20 世紀初頭、不可能と思える行動力と強靱な精神力で、最後の秘境に挑み続けた探検家がいた。そして借金地獄、悲恋、失踪…。北西航路の歴史的な初航海、人類初の南極点到達などの快挙を遂げたアムンセンの生涯を描く。

2017:5./ 371p

978-4-336-06151-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2017/12/24



ザ・ビデオ・ゲーム・ウィズ・ノーネーム

赤野 工作 著

KADOKAWA

2115 年 4 月、レトロゲームレビューサイト「ザ・ビデオ・ゲーム・ウィズ・ノーネーム」が開設。長いゲーム史において低評価とされた数々のゲームを通じ、管理人が至るゲーマーのいやはてとは…。『カクヨム』連載を書籍化。

2017:6./ 479p

978-4-04-072347-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/12/24



正義・平等・責任〜平等主義的正義論の新たな展開〜

井上 彰 著

岩波書店

先鋭化する格差・貧困問題を背景に、今日の政治哲学や法哲学は、平等の問題を軸に正義論が展開された。英米圏の分析的平等論を批判的に検討し、平等の価値理念と責任構想を織り込んだ新しい平等主義的正義論の構築を目指す。

2017:6./ 9p,230p,6p

978-4-00-061200-5

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2017/12/24



野菜だし〜野菜のうまみは「だし」になる〜

イチカワ ヨウスケ 著

主婦と生活社

昆布のうまみがしみた野菜と、野菜のうまみが溶け出した昆布の汁。このふたつが基本の「野菜だし」をベースにした簡単でおいしいレシピを、鎌倉の野菜料理の店「なると屋+典座」店主が紹介します。

2017:5./ 138p

978-4-391-15008-7

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/12/24



かくて行動経済学は生まれり

マイケル・ルイス、渡会 圭子 著

文藝春秋

「人間の直感は間違う」ことを発見した 2 人のユダヤ人心理学者、ダニエルとエイモス。彼らがいかにして人の頭に潜むバイアスや錯覚を暴き出し、「合理的な人間像」を前提とした既存の経済学を打ち壊していったかを描く。

2017:7./ 429p

978-4-16-390683-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/24



ある日の彫刻家～それぞれの時～

酒井 忠康 著

未知谷

佐藤忠良、保田春彦、保田井智之…。建築、インダストリアル・デザイン、染色、陶芸などの分野を本領としている作家についてのエッセイや対談を収録。

朝日新聞 2017/12/24

2017:6./ 317p

978-4-89642-527-7

本体 ¥3,400+税



セレンゲティ・ルール～生命はいかに調節されるか～

ショーン・B.キャロル、高橋 洋 著

紀伊國屋書店出版部

分子から人間、ヌーの群れから生態系まで、すべての種類や個体数は調節されている。複雑きわまりない生命現象に共通する論理を見出した進化発生生物学の第一人者が、蝕まれた生態系の危機に警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2017/12/24

2017:6./ 343p

978-4-314-01147-1

本体 ¥2,200+税



丹野智文笑顔で生きる～認知症とともに～

丹野 智文、奥野 修司 著

文藝春秋

39歳で若年性アルツハイマー病になったトップ営業マン。選んだのは認知症を悔やむのではなく、認知症とともに生きるという道。家族、会社、仲間たち…。笑顔を取り戻すまでのドキュメント。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 317p

978-4-16-390681-2

本体 ¥1,450+税



日航123 便墜落の新事実～目撃証言から真相に迫る～

青山 透子 著

河出書房新社

墜落現場特定と救助はなぜ遅れたのか。目撃された戦闘機の追尾とは…。日航123 便墜落事故で仲間を失った元客室乗務員が、新たな情報や目撃証言から墜落の真相を解き明かす。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 205p

978-4-309-02594-0

本体 ¥1,600+税



大人のための国語ゼミ

野矢 茂樹 著

山川出版社

相手にきちんと伝わるように話せない、分かりやすい文章が書けない…。そんな大人たちに向けて、論理トレーニングの生みの親である著者が行う国語ゼミ。実用性の高い文章を問題文として出題し、その考え方や解答例を解説する。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 285p

978-4-634-15121-5

本体 ¥1,800+税



人口減少時代の土地問題～「所有者不明化」と相続、空き家、制度のゆくえ～ (中公新書 2446)

吉原 祥子 著

中央公論新社

農村から都市へ広がる、持ち主の居所や生死が判明しない土地の「所有者不明化」問題。地価下落による相続放棄や耕作放棄地、空き家問題の本質でもあるこの問題の実情から、行政も解決断念する実態までを描く。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 6p,191p

978-4-12-102446-6

本体 ¥760+税





湯殿山の哲学～修験と花と存在と～

山内 志朗 著
ぷねうま舎

修験の山の奥の奥、その最深部に秘された信とは何か。厳密な論理の畑を耕すときも、湯殿山はいつも「私」に呼びかけていた、風のように、存在のように。長年学んできたスコラ哲学と修験道の結びつきを綴る。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 238p
978-4-906791-71-2
本体 ¥2,500+税



本を読むのが苦手な僕はこんなふうになんて本を読んできた(光文社新書 892)

横尾 忠則 著
光文社

創造のことから死のことまで。仕事と人生のヒントが詰まった 133 冊。2009 年から 2017 年にわたり、美術家・横尾忠則が綴った書評集。『朝日新聞』掲載に加筆・修正を加えて書籍化。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 298p
978-4-334-03997-4
本体 ¥840+税



恐竜探偵足跡を追う～糞、嘔吐物、巣穴、卵の化石から～

アンソニー・J.マーティン、野中 香方子 著
文藝春秋

足跡や巣穴や糞といった、恐竜の行動の痕跡が残された化石(生痕化石)は、骨よりはるかに多くのことを教えてくれる。史上初めて恐竜の巣穴の化石を発見した学者が、探偵のように恐竜の足跡を追う。

朝日新聞 2017/12/24

2017:8./ 454p
978-4-16-390702-4
本体 ¥2,200+税



蔵書一代～なぜ蔵書は増え、そして散逸するのか～

紀田 順一郎 著
松籟社

やむをえない事情から 3 万冊超の蔵書を手放した著者。自らの半身をもぎとられたような痛恨の蔵書処分を契機に、近代日本の出版史・読書文化を振り返りながら、「蔵書」の意義と可能性、その限界を探る。

朝日新聞 2017/12/24

2017:7./ 206p
978-4-87984-357-9
本体 ¥1,800+税



天才作曲家大澤壽人～駆けめぐるボストン・パリ・日本～

生島 美紀子 著
みすず書房

千に及ぶ曲を世に送り、国際的にも活躍した天才作曲家・大澤壽人は、歿後なぜ忘れられ、半世紀余の沈黙をへて蘇ったのか。膨大な資料と聞き書きからその生涯と作品に迫る評伝。日本のクラシック音楽黎明期の詳細も伝える。

朝日新聞 2017/12/24

2017:8./ 565p,18p
978-4-622-08629-1
本体 ¥5,200+税



軍法会議のない「軍隊」～自衛隊に軍法会議は必要か～

霞 信彦 著
慶應義塾大学出版会

はたして我々は軍法会議、軍の司法制度の正確な知識をもっているだろうか? 憲法改正が議論される現在にこそ、軍の司法制度に関する、偏ることのない客観的かつ正確な情報を提示し、軍と司法の関係を問う。

朝日新聞 2017/12/24

2017:8./ 3p,184p
978-4-7664-2453-9
本体 ¥1,800+税





夢をのみ〜日本 SF の金字塔・光瀬龍〜

立川 ゆかり 著
ツーワンライフ

代表作「百億の昼と千億の夜」で SF 界に異彩を放った光瀬龍。夫人との往復書簡、日記、親交のあった人々への取材などをもとに、光瀬の知られざるエピソードや作品に投影された人生を追憶する。『SF マガジン』連載を書籍化。

2017:7./ 621p
978-4-907161-89-7
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/12/24



文豪エロティカル(実業之日本社文庫 ん 4-2)

芥川 龍之介、谷崎 潤一郎、末國 善己 編
芥川 龍之介、谷崎 潤一郎 著
実業之日本社

川端康成、太宰治、坂口安吾など、近代文学の流れを作った 10 人の文豪によるエロティカル小説集。少女愛、フェティシズム、人妻、同性愛、スカトロロジーなど多彩な作品をラインナップ。

2017:8./ 265p
978-4-408-55380-1
本体 ¥593+税



朝日新聞 2017/12/24



日本キリスト教史〜年表で読む〜

鈴木 範久 著
教文館

キリスト教が日本にもたらしたものは何か。国家の宗教政策との関係と、文化史的・社会史的な影響とを両軸に据え、総合的に明らかにする。後ろから読む、詳細なキリスト教史年表(1490?2017 年)も収録。

2017:8./ 377p,125p
978-4-7642-7419-8
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2017/12/24



偽装の被爆国〜核を捨てられない日本〜

太田 昌克 著
岩波書店

核兵器禁止条約に参加しない「唯一の被爆国」、日本。トランプ大統領誕生後、液化化する世界情勢の中で軍備への傾斜を強める日本の「非核の偽装実態」を暴き出す。

2017:9./ 6p,196p
978-4-00-061221-0
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/24



星ちりばめたる旗

小手鞠 るい 著
ポプラ社

1916 年、アメリカに暮らす幹三郎に嫁いだ佳乃は、やがて時代の激流に呑み込まれ…。時代に翻弄されながらも、ただひたすらに生きる三世代の母と娘たちの姿を描き出す。『asta*』連載に加筆し単行本化。

2017:9./ 371p
978-4-591-15574-5
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/24



虎の牙

武川 佑 著
講談社

兄のために生き、兄のために死ぬ。信玄以前の武田家に、最強の虎と牙がいた。合戦のディテールと迫力、謎とどんでん返しというミステリー要素。最強武田家のルーツを描く、女流歴史ライターデビュー長編小説。

2017:10./ 352p
978-4-06-220741-6
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/24



ゴッホの耳～天才画家最大の謎～

バーナデット・マーフィー、山田 美明 著

早川書房

1888 年、南フランスのアール。画家のフィンセント・ファン・ゴッホは自らの片耳を切り落とした。彼はなぜこんな事件を引き起こしたのか？ 新発見資料を通して、ゴッホの知られざる一面をあぶり出す。

2017:9./ 406p

978-4-15-209713-2

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/12/24



神と革命～ロシア革命の知られざる真実～(筑摩選書 0151)

下斗米 伸夫 著

筑摩書房

ロシア革命の成功には、ロシア正教の異端派、古儀式派が深くかかわっていた。この宗派が革命に関与したのはなぜか？ 古儀式派の一大拠点である都市イワノボに定位し、ソビエト制度の誕生から終焉にいたるソ連史を描く。

2017:10./ 382p

978-4-480-01657-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2017/12/24



ダーティ・シークレット～タックス・ヘイブンが経済を破壊する～

リチャード・マーフィー、鬼澤 忍 著

岩波書店

脱税より恐ろしい秘密主義の弊害とは。パナマ文書の暴露を受け、課税当局の動きもある中、英国の著名経済コラムニストがタックス・ヘイブンを根底から揺るがす実行可能な改革の概要を示す。

2017:10./

15p,190p,23p

978-4-00-022642-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/12/24



千の扉

柴崎 友香 著

中央公論新社

一俊から結婚を申し込まれ、広大な都営団地の一室に移り住んだ千歳は、彼の祖父から人捜しを頼まれるが…。70 年間の、場所の記憶と人の記憶。時間を旅する長篇小説。『アンデル』連載に加筆し単行本化。

2017:10./ 270p

978-4-12-005011-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/12/24



先生とのお布団(ガガガ文庫 がい 10-1)

石川 博品 著

小学館

石川布団という作家と、人語を解す「先生」と呼ばれる不思議な猫とがつむぎ合う苦悩と歓喜の日々。企画のボツ、原稿へのダメ出し、打ち切り…。布団はさまざまな挫折と障害に直面しながら、それでも小説を書き続ける。

2017:11./ 293p

978-4-09-451710-1

本体 ¥593+税



朝日新聞 2017/12/24



おちゃめに 100 歳!寂聴さん

瀬尾 まなほ 著

光文社

「私は人にパワーを与えていると思っていたけれど、違ってた。同じだけ出会った人から私がもらっている」と語る瀬戸内寂聴。66 歳年下の秘書が、「日々若返る」瀬戸内寂聴の元気と才気の秘密を明かす。

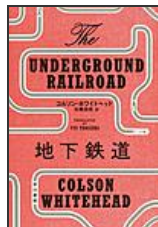
2017:11./ 269p

978-4-334-97960-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/12/24



地下鉄

コルソン・ホワイトヘッド、谷崎 由依 著

早川書房

コーラは農園の奴隷だ。身よりはなく、仲間からは孤立し、主人は残虐きわまりない。ある日、新入りの奴隷に誘われ、彼女は逃亡しようと決意する。農園を抜け出し、沼地を渡り、地下を疾走する列車に乗って、自由な北部へ...

2017:12./ 395p

978-4-15-209730-9

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/12/24



大獄～西郷青嵐賦～

葉室 麟 著

文藝春秋

西郷隆盛は薩摩藩主の島津斉彬に仕え、天下のことに目覚め、一橋慶喜擁立のため暗躍するが...。時代小説の名手が、維新前夜の西郷隆盛を描く。『文藝春秋』連載を単行本化。

2017:11./ 325p

978-4-16-390749-9

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/12/29



僕は沖縄を取り戻したい～異色の外交官・千葉一夫～

宮川 徹志 著

岩波書店

基地負担の削減を訴える沖縄の切実な思いと、アメリカの外交政策との狭間で、何を思い、どう交渉したのか。沖縄返還に情熱を捧げた外交官・千葉一夫に光をあて、戦後日本政治史の舞台裏を明らかにする。NHKドラマの原案。

2017:8./ 13p,251p

978-4-00-024797-9

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2017/12/03



ポストキャピタリズム～資本主義以後の世界～

ポール・メイソン、佐々 とも 著

東洋経済新報社

機械や製品の製造コストはゼロ。生活必需品や公共サービスも無料に。民営化をやめ、国有化へ。信用貸しや貨幣の役割がずっと小さくなる...。英国のジャーナリストが、「プロジェクト・ゼロ」=ポスト資本主義の世界を示す。

2017:9./ 474p,20p

978-4-492-31503-3

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2017/12/03



一〇五歳、死ねないのも困るのよ

篠田 桃紅 著

幻冬舎

そよ風に吹かれるだけで、なんて恵まれているのだろうと感じることのできる幸せ。どれだけ長く生きて、生きることに行き詰まることはない。生涯現役、ひとり暮らしを貫く希代の美術家が送る、後世へのメッセージ。

2017:10./ 176p

978-4-344-03188-3

本体 ¥1,100+税



東京・中日新聞 2017/12/03



おらおらでひとりいぐも

若竹 千佐子 著

河出書房新社

「この先一人でどうやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。『文藝』掲載を単行本化。

2017:11./ 164p

978-4-309-02637-4

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2017/12/03



黙殺～報じられない“無頼系独立候補”たちの戦い～

畠山 理仁 著
集英社

今、日本で最も有名な無頼系独立候補(=泡沫候補)、マック赤坂への 10 年に及ぶ密着取材報告をはじめ、平等な選挙が行なわれない理由、2016 年東京都知事選挙における主要 3 候補以外の 18 候補の戦いなどをまとめる。

東京・中日新聞 2017/12/03

2017:11./ 325p
978-4-08-781651-8
本体 ¥1,600+税



『死霊』の生成と変容～埴谷雄高のヴィジョンと無限の自由～

立石 伯 著
深夜叢書社

戦後の日本文学に聳立する巨篇「死霊」。その成立と変容の過程を、「死霊」構想のためのノートなども読み解きながら精緻に追尋する。「死霊」そのもののさまざまな解明課題や謎めいた問題に光をあてた論考。

東京・中日新聞 2017/12/03

2017:10./ 221p
978-4-88032-440-1
本体 ¥2,500+税



ホワイトラビット～a night～

伊坂 幸太郎 著
新潮社

その夜、街は静かだった。高台の家で、人質立てこもり事件が起こるまでは。仙台で発生した人質立てこもり事件。SIT に所属、宮城県警を代表する優秀な警察官も現場に急行し、交渉を始めるが…。予測不能の籠城ミステリー。

東京・中日新聞 2017/12/10

2017:9./ 269p
978-4-10-459607-2
本体 ¥1,400+税



女が美しい国は戦争をしない～美容家メイ牛山の生涯～

小川 智子 著
講談社

18 歳で山口県より単身上京、美への情熱と努力で銀座一の美容師に。戦後は日本の風土に合わせた美容法、食事法の重要性を説き、近代美容のパイオニアとして 96 歳まで生涯現役を貫いた。美のマエストロ、メイ牛山の一代記。

東京・中日新聞 2017/12/10

2017:10./ 287p
978-4-06-220685-3
本体 ¥1,600+税



江戸川乱歩と横溝正史

中川 右介 著
集英社

日本の探偵小説を牽引した 2 大巨頭、江戸川乱歩と横溝正史。太陽と月にも喩えられる日本文学史上稀な関係はどのように生まれ、育まれたのか。2 人の大作家の歩みを辿りながら日本の出版史をも描き出す対比評伝。

東京・中日新聞 2017/12/10

2017:10./ 334p
978-4-08-781632-7
本体 ¥1,700+税



日本人の朝鮮観はいかにして形成されたか(叢書東アジアの近現代史 第3巻)

池内 敏 著
講談社

日中韓を中心とする東アジアの問題を歴史から問い直す叢書。江戸時代の日朝関係史を中心に 16 世紀末?20 世紀初頭の時期を対象として、日本人の朝鮮観がどのように現れ、推移してきたかをオムニバス形式で叙述する。

東京・中日新聞 2017/12/17

2017:10./ 332p
978-4-06-220792-8
本体 ¥2,200+税





ハリウッド「赤狩り」との闘い〜『ローマの休日』とチャップリン〜

吉村 英夫 著

大月書店

アメリカ民主主義の危機である赤狩りの時代。チャップリンとワイラー&トランボの「ローマの休日」を取り上げ、アメリカの映画事情やハリウッド映画人の民主主義擁護の闘いを描く。

2017:11./ 274p

978-4-272-61235-2

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2017/12/17



絶望図書館〜立ち直れそうもないとき、心に寄り添ってくれる 12 の物語〜(ちくま文庫 か 71-1)

頭木 弘樹 編

筑摩書房

気持ちが落ち込んで、どうしようもない。はげましの言葉も心に届かない。そんなときは、絶望図書館を訪れてみよう。せつない話、とんでもない話、どきりとする話など、絶望した気持ちに寄り添ってくれる 12 の物語を収録。

2017:11./ 363p

978-4-480-43483-8

本体 ¥840+税



東京・中日新聞 2017/12/17



『死者の書』の謎〜折口信夫とその時代〜

鈴木 貞美 著

作品社

歌人・小説家=釈道空と民俗学者・国文学者=折口信夫。ふたつの才能が見事に融合・?醇した稀有の小説「死者の書」。作家の青年期、作品成立の時代背景、作者の精神に踏み込むことで、謎多き名作の秘鑰に迫る。

2017:10./ 279p

978-4-86182-658-0

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2017/12/17



クリスマスのまえのばん 改訂新版

クレメント・ムア 著

偕成社

クレメント・クラーク・ムアの詩「クリスマスのまえのばん」にターシャ・チューダーが絵をつけた絵本。子どもたちが待ちくたびれて眠ってしまった家で、サンタクロースを迎えるのはまずイヌとネコ…。80年刊の改訂新版。

2000:12./ 31p

978-4-03-327800-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/03



オロロ畑でつかまえて(集英社文庫)

萩原 浩 著

集英社

読売新聞 2017/12/03

2001:10./ 231p

978-4-08-747373-5

本体 ¥460+税



ルネサンスの肖像画

ジョン・ポープ=ヘネシー、兼重 護、山田 義顕 著

中央公論美術出版

人間的な顔のメッセージを解釈しようとする画家たちの努力、ヒューマニストの思想が肖像画に与えた衝撃、宮廷肖像画、寄進者や参列者としての個人描写…。ルネサンス肖像芸術を、その発想源になった諸理念から論じる。

2002:8./ 406p

978-4-8055-0420-8

本体 ¥25,000+税



読売新聞 2017/12/03



シリウスの道<上>(文春文庫)

藤原 伊織 著

文芸春秋

読売新聞 2017/12/03

2006:12./ 351p

978-4-16-761403-4

本体 ¥670+税



シリウスの道<下>(文春文庫)

藤原 伊織 著

文芸春秋

読売新聞 2017/12/03

2006:12./ 329p

978-4-16-761404-1

本体 ¥670+税



?東綺譚 改版(角川文庫)

永井 荷風 著

角川書店

小説家の大江は向島の玉の井を散策中、にわか雨に降られた。広げた傘に浴衣姿の女、お雪が入ってくる。二人は逢瀬を重ねていくが…。私娼窟並ぶ玉の井を舞台に、微かに残る江戸情緒の中、描き出される愛のかたち。

2009:3./ 188p

978-4-04-102210-8

本体 ¥438+税



読売新聞 2017/12/03



クリスマスのまえのぼん(世界傑作絵本シリーズ)

クレメント・C・ムーア、わたなべ しげお、ウィリアム・W・デンスロウ 著

福音館書店

アメリカの古典的名作を、著名なイラストレーター・デンスロウが素晴らしい絵本に仕立て上げた。クリスマスの夜、目を覚ました父さんが見たのは、大きな袋をかついだ愉快なセントニコラスのおじいさん。

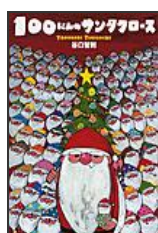
1996:10./ 52p

978-4-8340-1370-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/03



100 にんのサンタクロース

谷口 智則 著

文芸春秋

あるところに 100 人のサンタクロースが住む町がありました。サンタさんは 100 人みんなで協力して、クリスマスの準備をします。そして、みんなにクリスマスプレゼントを配り終わったあとは...? 見返しに絵あり。

2013:11./ 31p

978-4-7999-0052-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/03



エンタテインメントの作り方

貴志 祐介 著

KADOKAWA

ミリオンセラーを出し続ける著者は、どのようにしてアイデアを収集し、物語を紡いでいるのか。読者の心を驚つかみにするストーリー展開の秘訣とは。影響を受けた作品、創作の裏に秘せられていた真の企みなどを一挙公開する。

2015:8./ 217p

978-4-04-653349-4

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/12/03



花のさくら通り(集英社文庫 お 52-5)

荻原 浩 著
集英社

不況にあえぐユニバーサル広告社が始めた、閑古鳥の鳴く「さくら通り商店会」の活性化プロジェクトとは？恋と笑いと事件がいっぱいの痛快まちづくり小説。ユニバーサル広告社シリーズ第3弾。

2015:9./ 550p
978-4-08-745357-7
本体 ¥820+税



読売新聞 2017/12/03



オズの魔法使い(小学館ジュニア文庫 ジぼ-1-1)

L.F.ボーム、田邊 雅之、日本アニメーション 著
小学館

ある日、とても大きな竜巻がやってきて、ドロシーと子犬のトトは、家ごと、はるか遠くオズの国まで吹き飛ばされてしまい…。夢と感動の物語「オズの魔法使い」の新訳。

2017:2./ 312p
978-4-09-231140-4
本体 ¥750+税



読売新聞 2017/12/03



定本漱石全集<第5巻> 坑夫・三四郎

夏目 金之助 著
岩波書店

原稿等の自筆資料やもっとも早く発表された資料を底本に、できるだけ忠実に翻刻(活字化)した漱石全集。第5巻は、青年の成長、青春の光と影を描いた「坑夫」「三四郎」を収録。注解も掲載。

2017:4./ 3p,787p
978-4-00-092825-0
本体 ¥4,600+税



読売新聞 2017/12/03



清張鉄道 1 万 3500 キロ

赤塚 隆二 著
文藝春秋

清張世界の誰が、どの路線に最初に乗ったのか？JR全線を乗破した元朝日新聞記者が、松本清張の作品の中から「初乗り場面」のある100作を徹底研究する。作品中の私鉄の初乗り区間一覧等の資料も掲載。折込の路線図あり。

2017:11./ 317p
978-4-16-390723-9
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/03



能〜650年続いた仕掛けとは〜(新潮新書 732)

安田 登 著
新潮社

なぜ650年も続いたのか。義満、信長、秀吉、家康、歴代将軍、さらに芭蕉や漱石までもが愛した能。世阿弥の巧妙な「仕掛け」や偉人に「必要とされた」理由を、現役の能楽師が縦横に語る。

2017:9./ 223p
978-4-10-610732-0
本体 ¥760+税



読売新聞 2017/12/03



笑いで天下を取った男〜吉本王国のドン〜(ちくま文庫 な 53-1)

難波 利三 著
筑摩書房

吉本興業創業者・吉本せい。その弟・林正之助は、姉を支えて大正・昭和の時代にお笑いを大きなビジネスへと築きあげた。その辣腕ぶりは業界に知れ渡り、ライオンの異名で呼ばれ…。芸界秘話が満載の一代記。

2017:10./ 413p
978-4-480-43467-8
本体 ¥880+税



読売新聞 2017/12/03



騎手の誇り(新潮文庫 ほ-26-1)

本城 雅人 著

新潮社

日本一の騎手の二番手だった父が、レース中の落馬で死んだ。あれは本当に事故だったのか？ 息子は真実を探るため、騎手の道を選ぶ。ある競馬関係者に疑念を抱いたまま…。競馬ミステリー。

2017:10./ 344p

978-4-10-121131-2

本体 ¥590+税



読売新聞 2017/12/03



ビッグヒストリー大図鑑～宇宙と人類 138 億年の物語～

デイヴィッド・クリスチャン、ビッグヒストリー・インスティテュート、オフィス宮崎、オフィス宮崎 著

河出書房新社

あらゆる分野を統合した新たな歴史「ビッグヒストリー」をヴィジュアル化。ビッグバンから宇宙の拡大、地球と生命の誕生、人類の現在まで、138 億年の壮大な歴史を 8 つの変革期に分け、156 のテーマで解説する。

2017:11./ 375p

978-4-309-22707-8

本体 ¥8,800+税



読売新聞 2017/12/03



偏愛読書トライアングル

瀧井 朝世 著

新潮社

書評やインタビューでひっぱりだこのライターが、古今東西、本当に愛している本だけを紹介。読書生活をさらに楽しく豊かにするレビュー集。人名、作品名の索引付き。『波』連載に加筆し書籍化。

2017:10./ 241p

978-4-10-351221-9

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/03



Masato(集英社文庫 い 77-1)

岩城 けい 著

集英社

父親の転勤にともない、家族全員でオーストラリアに引越し、現地の小学校に通うことになった真人。言語の壁を乗り越え逞しく成長するが…。少年とその家族の<故郷の物語>。

2017:10./ 238p

978-4-08-745648-6

本体 ¥500+税



読売新聞 2017/12/03



はじめての暗渠散歩～水のない水辺をあるく～(ちくま文庫 ほ 25-1)

本田 創、高山 英男、吉村 生、三土 たつお 著

筑摩書房

かつて川や水流だった跡地“暗渠”をたどれば土地の歴史が見えてくる。夜の暗渠、文学や漫画作品と暗渠などの様々な魅力を伝えるほか、東京を中心に、横浜、埼玉、大阪、神戸の主な暗渠も紹介する。

2017:11./ 255p

978-4-480-43481-4

本体 ¥760+税



読売新聞 2017/12/03



思想としての近代仏教(中公選書 030)

末木 文美士 著

中央公論新社

日本において「近代仏教」はどのように形成され、展開していったのか。思想と実践の両面から、代表的知識人の営為に光を当てる。また、浄土、日蓮、禅という三系統について、それぞれの複雑な思想動向を取りあげる。

2017:11./ 421p

978-4-12-110030-6

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/03



イタリアの鼻～ルネサンスを拓いた傭兵隊長フェデリーコ・ダ・モンテフェルトロ～
B.レック、A.テンネスマン、藤川 芳朗 著
中央公論新社
ウルビーノの領主の非嫡子として生まれながら傭兵隊長として財をなし、絢爛豪華な宮殿を建設したフェデリーコ・ダ・モンテフェルトロ。権謀術数渦巻く 15 世紀を生き抜いた男の生涯と功績から初期ルネサンスの実態を解説する。

2017:11./ 341p
978-4-12-005020-6
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/12/03



ドーピングの哲学～タブー視からの脱却～
パスカル・ヌーヴェル 編
橋本 一径 著
新曜社
ドーピングは競争・向上をめざす近代スポーツが生み出した必然ではないのか。ドーピング撲滅運動の問題性を指摘し、スポーツと社会のあり方を根底から問いなおす。日本の現状に合わせた訳者解説を付す。

2017:10./ 323p
978-4-7885-1546-8
本体 ¥4,300+税



読売新聞 2017/12/03



山怪実話大全～岳人奇談傑作選～
東 雅夫 編
山と溪谷社
夢枕獏、深田久彌、上田哲農らこよなく山を愛した作家たちが実話として綴った異界の「山」の物語を、斯界の雄・東雅夫が選りすぐったアンソロジー。『山と高原』読者の座談会も収録。「文豪山怪奇譚」の続編。

2017:11./ 235p
978-4-635-32011-5
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/12/03



生と死と祈りの美術～日本と西洋の信仰のかたち～
細田 あや子 著
三弥井書店
人は地域を超え、時代を超え、なにを祈ってきたのか。日本と西洋の奥深くにひそむ、共通するものと相違するものとは。宗教や信仰にかかわる造形や表象を比較・分析し、その背後にいかなる思想や認識があるのかを明らかにする。

2017:10./ 288p,68p
978-4-8382-3326-7
本体 ¥5,800+税



読売新聞 2017/12/03



フェミニストとオタクはなぜ相性が悪いのか～「性の商品化」と「表現の自由」を再考する～
香山 リカ、北原 みのり 著
イースト・プレス
自販機エロ本というサブカルチャー文化、AV 出演強要問題、「女が許す」ことで成り立つ秋元康の世界…。香山リカと北原みのりが、いま「問題」と感知できなくなっている性の「問題」を語る。

2017:11./ 247p
978-4-7816-1612-4
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/12/03



鳥獣戯画

磯崎 憲一郎 著

講談社

会社員生活を終え自由の身となった小説家。「鳥獣戯画」を今に伝える高僧。恋をする 17 歳の私…。語りの力で、何者にもなりえ、何処へでも行ける。小説の可能性を極限まで追い求める、最大級の野心作。『群像』連載を書籍化。

2017:10./ 284p

978-4-06-220807-9

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/12/03、朝日新聞 2017/12/17



震美術論(BT BOOKS)

榎木 野衣 著

美術出版社

自然災害による破壊と復興を繰り返してきた日本列島で、西欧で生まれた「美術」は成り立つのか。東日本大震災を契機に「日本列島の美術」を捉え直し、いかにして美術は可能となるのかを探る。『美術手帖』掲載を書籍化。

2017:9./ 449p

978-4-568-20271-7

本体 ¥4,200+税



読売新聞 2017/12/03、東京・中日新聞 2017/12/10、朝日新聞 2017/12/24、毎日新聞 2017/12/24



クリスマスを探偵と

伊坂 幸太郎、マヌエーレ・フィオール 著

河出書房新社

舞台はドイツ。探偵カールがクリスマスの夜に出会った、謎の男とは...? 伊坂作品のエッセンスすべてが凝縮された、心温まる聖夜の奇跡の物語。マヌエーレ・フィオールによる幻想的で抒情的な雰囲気の内挿絵も収録。

2017:10./ 79p

978-4-309-02616-9

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/12/03、読売新聞 2017/12/24



SHOE DOG〜靴にすべてを。〜

フィル・ナイト 著

東洋経済新報社

1962 年、日本のシューズ・メーカー「オニツカ」を訪れ、オニツカの靴をアメリカで売るビジネスを始めた彼は、その後「ナイキ」を立ち上げ…。ナイキを創った男、フィル・ナイトがこれまでの軌跡を振り返る。

2017:10./ 9p,548p

978-4-492-04617-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/03、日本経済新聞 2017/12/09、産経新聞 2017/12/10、朝日新聞 2017/12/10



水滸伝<19> 旌旗の章(集英社文庫)

北方 謙三 著

集英社

読売新聞 2017/12/10

2008:4./ 395p

978-4-08-746282-1

本体 ¥600+税



五輪書(講談社学術文庫)

鎌田 茂雄 著

講談社

読売新聞 2017/12/10

1986:5./ 263p

978-4-06-158735-9

本体 ¥970+税





釣りキチ三平作者自選傑作集<1>(KC デラックス)

矢口 高雄 著

講談社

読売新聞 2017/12/10

2012:2./ 305p

978-4-06-376615-8

本体 ¥838+税



楊令伝<15> 天穹の章(集英社文庫 き 3-81)

北方 謙三 著

集英社

新しい国の実現を賭けて、梁山泊軍は南宋軍と最後の闘いを続ける。自由市場は江南を席卷し、勝利は目前と見えた。だが、百年に一度の大洪水が、梁山泊を襲う。楊令は吹毛剣を手に、敵将・岳飛の前に立つが…。最終巻。

2012:8./ 388p

978-4-08-746865-6

本体 ¥600+税



読売新聞 2017/12/10



日本を捨てた男たち～フィリピンに生きる「困窮邦人」～(集英社文庫 み 49-1)

水谷 竹秀 著

集英社

フィリピンで、困窮生活を送る何百人もの日本人男性がいる。所持金ゼロ、住む家もない彼ら「困窮邦人」に手を差し伸べるのは、フィリピンの貧しい人々だった…。男たちのすさまじい生き様を通して現代日本の問題をあぶり出す。

2013:11./ 303p

978-4-08-745138-2

本体 ¥600+税



読売新聞 2017/12/10



ネアンデルタール人は私たちと交配した

スヴァンテ・ペーボ、野中 香方子 著

文藝春秋

ネアンデルタール人の遺伝子は、現生人類の中に生きていた！長年の試行錯誤の末に、新技術「次世代シーケンサー」で約 4 万年前のネアンデルタール人の DNA の増幅に成功した科学者が、30 年以上の苦闘のすべてを明かす。

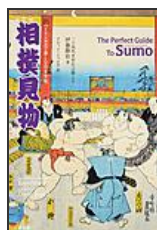
2015:6./ 365p

978-4-16-390204-3

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2017/12/10



相撲見物～バイリンガルで楽しむ日本文化～

伊藤 勝治、デビッド・シャピロ 著

青幻舎

相撲界で 50 年活躍した名物行司による、相撲の楽しみ方パーフェクトガイド。相撲の歴史や決まり手から、力士たちの稽古、相撲を見に行く方法、ヘルシーなちゃんこレシピまで紹介。NHK「大相撲」英語解説者による英訳付き。

2017:9./ 187p

978-4-86152-632-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/10



李徳全～日中国交正常化の「黄金のクサビ」を打ち込んだ中国人女性～

程 麻、林 振江、石川 好、林 光江、古市 雅子 著

日本僑報社

戦後初の中国代表団を率いて訪日し、戦犯とされた約 1000 人の日本人を無事帰国させた中国人女性、李徳全。新中国政府初代の女性大臣である彼女の足跡と、日中国交正常化 18 年前の知られざる秘話を紹介する。

2017:9./ 259p

978-4-86185-242-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/10



現代日本の批評～1975-2001～

市川 真人、大澤 聡、福島 亮大 著

講談社

戦後日本固有の病、批評は<批評史の屈曲点>からどう変容したのか?新時代を希求する気鋭の批評家が、その歴史を繙いていく。『ゲンロン』掲載の座談会を単行本化。

2017:11./ 315p

978-4-06-220756-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/10



スリーパー 浸透工作員(警視庁公安部外事二課 [3])

竹内 明 著

講談社

スリーパーとして日本に潜伏する北のエリート工作員・倉本龍哉と、警察組織に裏切られた外事二課の元エース・筒見慶太郎。激闘の果てに、2 人が辿り着いた驚愕の真実とは。報道記者でもある著者による、リアル諜報ミステリ。

2017:9./ 319p

978-4-06-220818-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/10



だから、居場所が欲しかった。～バンコク、コールセンターで働く日本人～

水谷 竹秀 著

集英社

遠く離れたバンコクの高層ビルで、一斉に電話を受ける日本人たちがいる。非正規労働者、借金苦、風俗にハマる女、LGBT の男女。生きづらい日本を離れ、行き着いた先は…。『kotoba』連載を加筆・修正。

2017:9./ 283p

978-4-08-781633-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/10



正しさをゴリ押しする人(角川新書 K-167)

榎本 博明 著

KADOKAWA

一見、正しいことを主張しているようでありながら、強烈な攻撃性を感じさせる人。「正義の人」と「危ない人」の境目はどこにあるのだろうか。「歪んだ正義感」を振りかざしてしまう人たちの特徴と心理を考える。

2017:10./ 210p

978-4-04-082119-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/12/10



書物の宮殿

ロジェ・グルニエ、宮下 志朗 著

岩波書店

書くこととは生きることの原因だろうか? 1919 年生まれ、フランス文壇最長老の現役作家が、同時代の作家たちや様々な古典から、親しい友人の声を聞きだすようにして想いを自在に巡らせた 9 本のエッセイを収録する。

2017:10./ 5p,208p

978-4-00-061223-4

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2017/12/10



病とむきあう江戸時代～外患・酒と肉食・うつと心中・出産・災害・テロ～

岩下 哲典 著

北樹出版

今ほど医療が発達していなかった江戸時代、藩医たちはどう病とむきあったか? 外患(異国船の出没)、酒と肉食、うつの藩士、出産、災害とテロなどをキーワードに、江戸時代の医師と医療をめぐるエピソードを紹介する。

2017:9./ 212p

978-4-7793-0547-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/10



漂流女子～にんしん SOS 東京の相談現場から～(朝日新書 637)

中島 かおり 著

朝日新聞出版

誰にも言えない妊娠を相談する窓口にんしん SOS 東京。SOS の多くは若年妊婦からだ。虐待を受け社会から孤立した女性、風俗で働く女性、SNS で出会いを求める女性…。孤独な若者が抱える現代社会の闇を浮き彫りにする。

2017:10./ 201p

978-4-02-273737-3

本体 ¥720+税



読売新聞 2017/12/10



佐治敬三と開高健 最強のふたり<上>(講談社+α 文庫 G310-1)

北 康利 著

講談社

サントリーがまだ寿屋と呼ばれていた時代、貧困のどん底から開高を拾い上げ、活躍の場を与えた佐治。やがてふたりは経営者と社員という枠を超えた友情で結ばれてゆき…。サントリー社長と無頼派作家の、夢の光芒と友情を描く。

2017:10./ 325p

978-4-06-281730-1

本体 ¥790+税



読売新聞 2017/12/10



佐治敬三と開高健 最強のふたり<下>(講談社+α 文庫 G310-2)

北 康利 著

講談社

在職中に芥川賞を受賞した開高。一方、佐治はビールの巨人三社による寡占への無謀な挑戦を挑む。その姿に自分を重ねあわせ、開高はベトナム戦争に身を投じる…。サントリー社長と無頼派作家の、夢の光芒と友情を描く。

2017:10./ 309p

978-4-06-281731-8

本体 ¥790+税



読売新聞 2017/12/10



師父の遺言(集英社文庫 ま 14-5)

松井 今朝子 著

集英社

祇園の料亭に育ち、歌舞伎の世界に飛び込んだ私は、稀代の演出家にして昭和の怪人、武智鉄二に出会う。この反骨の師が教えた人生の闘い方とは。恋愛に似た師への想いと波乱の青春を描く、自伝文学の傑作。

2017:10./ 319p

978-4-08-745651-6

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/12/10



全員死刑～大牟田 4 人殺害事件「死刑囚」獄中手記～(小学館文庫 す 12-1)

鈴木 智彦 著

小学館

2004 年に発生した連続殺害事件。親子 4 人がそろって死刑判決を受けるという、犯罪史上に類を見ない“殺人ヤクザ一家”の次男・北村孝紘被告が獄中で綴った手記を通して、社会の歪みと暴力が生んだ凶悪事件の真相に迫る。

2017:11./ 204p

978-4-09-406475-9

本体 ¥500+税



読売新聞 2017/12/10



つらいと言えない人がマインドフルネスとスキーマ療法をやってみた。

伊藤 絵美 著

医学書院

自分の感情をないものとし、感情を出す人を「レベルが低い」と見下す“オレ様”開業医と、自分の感情より相手の感情を優先する“いい人”心理士。ふたりの物語を通して、マインドフルネスとスキーマ療法の効果を伝える。

2017:10./ 269p

978-4-260-03459-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/10



マタギ(ヤマケイ文庫)

矢口 高雄 著

山と溪谷社

雄大な奥羽山脈の山里。大自然の掟の下、マタギたちは、冷徹な頭脳と研ぎ澄まされた狩猟技術をもって野生動物に向かっていく。漫画家・矢口高雄の代表傑作を復刊。「最後の鷹匠」も収録する。

2017:10./ 831p

978-4-635-04841-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/10



岳飛伝<13> 蒼波の章(集英社文庫 き3-96)

北方 謙三 著

集英社

金国の新帝は南宋との対決姿勢を強める。岳飛は旧岳家軍、秦容軍と連携しての北上を模索。梁山泊は南宋水軍に奪われた交易拠点を取り戻そうと、決死の作戦を練っていた。

2017:11./ 392p

978-4-08-745659-2

本体 ¥600+税



読売新聞 2017/12/10



七都市物語 新版(ハヤカワ文庫 JA 1302)

田中 芳樹 著

早川書房

月面に難を逃れた人類は地上に七つの都市を建設し、新たな歴史を繰り広げる。一方、月面都市は、飛行体を攻撃するシステムを稼働させたまま疫病によって滅び去り…。短篇「帰還者亭」事件」も収録。

2017:11./ 338p

978-4-15-031302-9

本体 ¥740+税



読売新聞 2017/12/10



世界を変える美しい本〜インド・タラブックスの挑戦〜

ブルーシープ

南インドの出版社「タラブックス」が生み出す本の魅力の全貌を伝える初のビジュアルブック。タラブックスの代表者のロングインタビューも収録。2017 年 11 月?2018 年 1 月開催の展覧会の図録。

2017:11./ 175p

978-4-908356-03-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/10



ただ一心に咲く〜桜が教えてくれる人生で大切なこと〜

立部 祐道 著

中央公論新社

種は、辿り着いたところで咲いて、実をつけます。幸せを望むなら、まず自分の足元を見つめましょう。草木を愛で、古刹を守る門跡が「幸せの極意」を説く。「御室の仁和寺」を知るキーワードも満載。

2017:12./ 203p

978-4-12-005031-2

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/12/10



水底の女

レイモンド・チャンドラー、村上 春樹 著

早川書房

香水会社の社長から行方知れずの妻の安否確認を依頼された私立探偵マーロウ。妻が滞在していた湖畔の町を訪れるが、そこで別の女性の死体が見つかり…。「私立探偵フィリップ・マーロウ」シリーズの新訳。シリーズ完結。

2017:12./ 397p

978-4-15-209728-6

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/12/10、読売新聞 2017/12/24



徒然草～現代語訳付き～ 新版(角川ソフィア文庫 A311-1)

兼好法師 著

KADOKAWA

日本人にもっとも親しまれてきた随筆「徒然草」。人生・恋愛・政道など、243 段の話題がしばしば連想的な配列で並ぶ。近年劇的に進んだ中世の歴史学の研究成果を取り込み、本文、注釈、現代語訳のすべてを刷新した新版。

2015:3./ 475p

978-4-04-400118-6

本体 ¥1,080+税



読売新聞 2017/12/10、日本経済新聞 2017/12/16



なぜ中国人は財布を持たないのか(日経プレミアシリーズ 356)

中島 恵 著

日本経済新聞出版社

爆買い、パクリ天国-。こんな「中国人」はもういない。街にはシェア自転車が走り、パワーブロガーが影響力をもつ中国社会は、想像を絶するスピードで大きな変貌を遂げている。次々と姿を変える中国を描いたルポルタージュ。

2017:11./ 230p

978-4-532-26356-0

本体 ¥850+税



読売新聞 2017/12/10、日本経済新聞 2017/12/16



兼好法師～徒然草に記されなかった真実～(中公新書 2463)

小川 剛生 著

中央公論新社

現在広く知られる吉田兼好の出自や経歴は、没後に捏造されたものである。同時代史料をつぶさに調べて兼好の足跡を辿り、「徒然草」の再解釈を試みる。自らの才知で中世社会を渡り歩いた「都市の隠者」の正体を明らかにする。

2017:11./ 4p,244p

978-4-12-102463-3

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/12/10、日本経済新聞 2017/12/16



光の犬

松家 仁之 著

新潮社

北の町に根づいた一族と、その傍らでひとびとを照らす北海道犬の姿。100 年にわたる一族の、たしかにそこにあった生のきらめきと生の翳りを、ひとりひとりの記憶をたどるように描き出す長篇小説。『新潮』連載を書籍化。

2017:10./ 441p

978-4-10-332813-1

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/10、朝日新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/24



君たちはどう生きるか(ワイド版岩波文庫)

吉野 源三郎 著

岩波書店

「人生いかに生きべきか」という問いは、常に社会科学的認識とは何かという問題と切り離すことなく問われねばならない」というメッセージを、主人公コペル君の精神的成長に託して伝える。

2006:4./ 339p

978-4-00-007268-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/12/17



残像に口紅を(中公文庫)

筒井 康隆 著

中央公論新社

読売新聞 2017/12/17

1995:4./ 337p

978-4-12-202287-4

本体 ¥743+税





八日目の蟬(中公文庫 か 61-3)

角田 光代 著

中央公論新社

読売新聞 2017/12/17

2011:1./ 376p

978-4-12-205425-7

本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 5 4 2 5 7 *



共喰い(集英社文庫 た 82-1)

田中 慎弥 著

集英社

川辺の町で起こる、逃げ場のない血と性の濃密な物語を描いた表題作と、死にゆく者と育ってゆく者が織りなす太古からの日々の営みを丁寧に描いた「第三紀層の魚」、瀬戸内寂聴との対談を収録。

2013:1./ 205p

978-4-08-745023-1

本体 ¥420+税



* 9 7 8 4 0 8 7 4 5 0 2 3 1 *

読売新聞 2017/12/17



わりなき恋(幻冬舎文庫 き-28-1)

岸 恵子 著

幻冬舎

ドキュメンタリー作家・伊奈笙子、69 歳。大企業のトップマネジメント・九鬼兼太、58 歳。偶然、隣り合わせたパリ行きのファーストクラスで、2 人がふと交わした「プラハの春」の思い出話。それが恋の始まりだった…。

2014:8./ 397p

978-4-344-42231-5

本体 ¥650+税



* 9 7 8 4 3 4 4 4 2 2 3 1 5 *

読売新聞 2017/12/17



聖の青春(角川文庫 お 49-9)

大崎 善生 著

KADOKAWA

幼くしてネフローゼを患いその宿命ともいえる疾患とともに成長し、熾烈で純粋な人生を全うした将棋指し・村山聖。家族の絆、友情、師弟愛と結ばれながら難病と闘い、名人の夢ひとすじに生き抜いた、その 29 年間の生涯を綴る。

2015:6./ 421p

978-4-04-103008-0

本体 ¥640+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 3 0 0 8 0 *

読売新聞 2017/12/17



コンビニ人間

村田 沙耶香 著

文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

2016:7./ 151p

978-4-16-390618-8

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 6 1 8 8 *

読売新聞 2017/12/17



蜜蜂と遠雷

恩田 陸 著

幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ポンツーン』連載を単行本化。

2016:9./ 507p

978-4-344-03003-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 0 0 3 9 *

読売新聞 2017/12/17



バッタを倒しにアフリカへ(光文社新書 883)

前野ウルド浩太郎 著
光文社

人類を救うため、そして「バッタに食べられたい」という自身の夢を叶えるために-。昆虫学者である著者が、バッタ被害を食い止めるため単身サハラ砂漠に乗り込み、バッタと大人の事情を相手に繰り広げた死闘の日々を綴る。

2017:5./ 378p
978-4-334-03989-9
本体 ¥920+税



読売新聞 2017/12/17



本が好き

安野 光雅 著
山川出版社

子どもの頃から本が好きだった-。安野光雅が読みあさってきた書物の中から、「完訳ファーブル昆虫記」「科学と宗教との闘争」「韓のくに紀行」など、70冊あまり厳選して、自己の人生と共に紹介する。

2017:7./ 254p
978-4-634-15122-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/17



湖畔荘<上>

ケイト・モートン、青木 純子 著
東京創元社

70年前、コーンウォールの廃墟のような館・湖畔荘から赤ん坊が消え、事件は迷宮入りとなった。捨てられた屋敷に隠された家族の秘密とは？問題を抱えたロンドン警視庁の女性刑事が、独自の捜査を始める。

2017:8./ 331p
978-4-488-01071-3
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/12/17



この世の春<下>

宮部 みゆき 著
新潮社

多紀の献身は、重興の身に一人の救世主を産み出す。だがその出現は、まつろわぬ者たちへのリベンジに油を注ぐことに。彼らの悪意が憑依した北見藩に活路はあるのか？サイコ&ミステリー長編。『週刊新潮』掲載を単行本化。

2017:8./ 399p
978-4-10-375014-7
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/17



この世の春<上>

宮部 みゆき 著
新潮社

美貌の青年藩主・重興が、突然隠居を強いられるという変事のあった北見藩。重興の押し込められた座敷牢からは、夜な夜な奇怪な声が。亡者たちの叫びか、それとも…。サイコ&ミステリー長編。『週刊新潮』掲載を単行本化。

2017:8./ 397p
978-4-10-375013-0
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/17



母さん、ごめん。〜50代独身男の介護奮闘記〜

松浦 晋也 著
日経BP社

男一匹、ガチンコで認知症の母を見る。思い知ったのは、“男の子”が母の介護を行うことの難しさだった-。科学ジャーナリストの実体験に基づく介護対策が満載の奮闘記。『日経ビジネスオンライン』連載を単行本化。

2017:8./ 271p
978-4-8222-5945-7
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/12/17



テヘランからきた男 西田厚聰と東芝壊滅

児玉 博 著
小学館

イランで現地採用され、社長に成り上がるや米原子力事業を 6400 億円で買った男は、いつ、どこで、何を間違え、東芝を奈落の底に突き落としたのか。“戦犯”と呼ばれた経営者の全告白を名門企業の盛衰と重ね合わせて綴る。

2017:11./ 300p
978-4-09-389774-7
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/17



国際交流のための現代プロトコール

阿曾村 智子 著
東信堂

VIP の敬称は？ 国旗の並べ方は？ 国際会議やパーティの席順は？ 国際交流の様々な分野で活躍したいと考える全ての人に向けて、国際的な式典や社交の場における礼儀作法(プロトコール)を全体にわたって解説する。

2017:9./ 10p,314p
978-4-7989-1440-4
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/12/17



人間関係の疲れをとる技術～自衛隊メンタル教官が教える～(朝日新書 630)

下園 壮太 著
朝日新聞出版

嫌なことがあっても「我慢する・忘れる」だけでは、ますます辛くなる。自衛隊でメンタル教官を務めてきた著者が、自分の感情に蓋をせず、しっかりケアすることで、人づき合いを楽にする技術を伝授する。実践的スキルも満載。

2017:9./ 270p
978-4-02-273094-7
本体 ¥780+税



読売新聞 2017/12/17



愛のかたち

岸 恵子 著
文藝春秋

化粧品会社の駐在員としてパリで暮らす渚詩子は謎の弁護士と恋に落ちる…。フランス、中東、京都を舞台に、悲痛な運命に抗い、力強く生きる男女を描く愛の物語。全 2 作品を収録。『オール讀物』『小説幻冬』掲載を書籍化。

2017:9./ 240p
978-4-16-390731-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/17



淳子のてっぺん

唯川 恵 著
幻冬舎

2016 年 10 月に逝去した登山家・田部井淳子。男女差別が色濃い時代、女性として初めてエベレスト登頂に成功した彼女は、どのように生き、どのように山に魅入られたのか。“てっぺん”に至るまでの日々を描く、感動長篇。

2017:9./ 435p
978-4-344-03168-5
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/17



キムラ食堂のメニュー(中公文庫 き 47-1)

木村 衣有子 著
中央公論新社

懐かしの大食堂、小さな台所での工夫、郊外のコーヒーストップ…。飲食店主や職人の取材を続けるかたわら、お酒のミニコミ『のんべえ春秋』を発行してきた著者が、さまざまな食べもの・飲みものとの出会いを綴る。

2017:10./ 267p
978-4-12-206472-0
本体 ¥720+税



読売新聞 2017/12/17



真夜中の閃光(ハヤカワ文庫 NV 1420)

W.ブルース・キャメロン、真崎 義博 著

早川書房

フットボール選手への夢を絶たれた、しがらない車の回収屋ラディの頭のなかに、ある日突然声が響いた。不動産屋のアランと名乗るその声だけの男はラディの頭に居座り、さらに、自分は殺されたと告げ...

2017:10./ 521p

978-4-15-041420-7

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2017/12/17



軍人が政治家になつてはいけない本当の理由～政軍関係を考える～(文春新書 1144)

廣中 雅之 著

文藝春秋

田母神空幕長解任事案はなぜ起きたのか。マッカーサー元帥はなぜ米軍人から嫌われたのか。国内外の豊富な事例から、民主主義国家における政治と軍事の関係はどうあるべきかを探る。

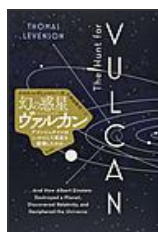
2017:10./ 223p

978-4-16-661144-7

本体 ¥860+税



読売新聞 2017/12/17



幻の惑星ヴァルカン～アインシュタインはいかにして惑星を破壊したのか～

トマス・レヴェンソン、小林 由香利 著

亜紀書房

人々の欲望が生み出し、そして消し去られた惑星があった。幻の惑星ヴァルカンを探し求める人々、そしてアインシュタイン。未知の惑星探査を通じて科学の進歩とパラダイムシフトを描く、サイエンス・ノンフィクション。

2017:11./ 237p,39p

978-4-7505-1528-1

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2017/12/17



夜の木の下で(新潮文庫 ゆ-6-4)

湯本 香樹実 著

新潮社

もし恋というものが、相手の持っている時間と自分の時間を重ね合わせたいと願うものなら、あのとき僕はもう、恋をしていたのだ。少女の揺らぐ性の兆し。少年の淡い恋心...。記憶の底の繊細な情感を描く、珠玉の作品集。

2017:11./ 209p

978-4-10-131514-0

本体 ¥460+税



読売新聞 2017/12/17



いかさまお菓子の本～淑女の悪趣味スイーツレシピ～

クリスティン・マッココーネル、野中 モモ 著

国書刊行会

ペパーミントブラウニーの虫たち、絶叫ベリー、毒りんごパンチ、シナモンロールスネーク...。ホラーや SF、ちょっとレトロな映画の世界からインスパイアされた、奇妙で可愛いスイーツのレシピを紹介。

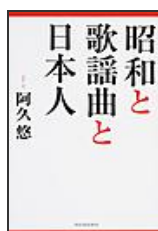
2017:10./ 283p

978-4-336-06211-6

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2017/12/17



昭和と歌謡曲と日本人

阿久 悠 著

河出書房新社

時代を見つめ、人を愛し、言葉を慈しんだ歌謡界の巨星、阿久悠の最後のメッセージ。移りゆく時代を思い、歌謡曲に託した人間の真の生き方に触れるエッセイ 72 篇を収録する。『東京新聞』連載等を単行本化。

2017:11./ 241p

978-4-309-02630-5

本体 ¥800+税



読売新聞 2017/12/17



起業の科学～スタートアップサイエンス～

田所 雅之 著

日経BP社

起業家が必ず直面する課題と対策を時系列に整理。成功するまでの各ステップでどのようなアクションをすべきかを紹介する。『Medium』で公開しているスライド集「スタートアップサイエンス 2017」をベースに書籍化。

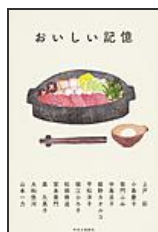
2017:11./ 279p

978-4-8222-5975-4

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/12/17



おいしい記憶

上戸 彩、小島 慶子、柴門 ふみ、中島 京子、姫野 カオルコ、平松 洋子、堀江 ひろ子、松岡 修造、宮本 亜門、森 久美子、大和 悠河、山本 一力 著
中央公論新社

上戸彩、小島慶子、柴門ふみら、12 人の著名人が「おいしい記憶」について綴る。ほか、「あなたの「おいしい記憶」をおしえてくださいコンテスト」一般の部 8 本、小学校低学年の部 2 本の入賞作品も収録する。

2017:12./ 240p

978-4-12-005030-5

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2017/12/17



ゴーレム(白水 U ブックス 190)

グスタフ・マイリンク 著

白水社

プラハのユダヤ人街に住む宝石細工師の「ぼく」はある日、謎の人物の訪問を受け、古い書物の補修を依頼される。その男は 33 年ごとにこの街に出現するゴーレムらしい。やがて「ぼく」の周辺では次々に奇怪な出来事が...

2014:3./ 429p

978-4-560-07190-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/24



動きの悪魔

ステファン・グラビンスキ、芝田 文乃 著

国書刊行会

鋼鉄の蒸気機関車が、有機的生命を得て疾駆する。「ポーランドのポー」「ポーランドのラヴクラフト」の異名をとる、ポーランド随一の恐怖小説作家グラビンスキが描く、幻視と奇想に満ちた鉄道怪談小説。短篇 14 作品を収録。

2015:7./ 318p

978-4-336-05929-1

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/24



狂気の巡礼

ステファン・グラビンスキ、芝田 文乃 著

国書刊行会

壁が包囲する入口のない庭園。漂う薔薇の芳香には、ある特別なくにおい>が混じっていて...。「薔薇の丘にて」をはじめ全 14 編を収録。ありふれた想像を凌駕する超越的感覚と神経症的筆致で描いた類なき怪奇幻想小説。

2016:9./ 326p

978-4-336-06074-7

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2017/12/24



オデュッセウスの記憶～古代ギリシアの境界をめぐる物語～

フランソワ・アルトーフ、葛西 康徳、松本 英実 著

東海大学出版部

ギリシア神話の英雄と称されるオデュッセウス。「体験者」である彼を旅の案内人とし、その案内に従い古代ギリシアの人類学的歴史および長期の文化史を探索。ギリシアのアイデンティティの輪郭を記す。

2017:3./ 447p

978-4-486-01950-3

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2017/12/24



人質の経済学

ロレッタ・ナポリオーニ、村井 章子 著

文藝春秋

誘拐ビジネスとは何か。助かる人質と助からない人質の違いは。交渉人、誘拐専門の警備会社、囚われた人質、難民らの証言によって事実を明らかにし、誘拐により、いかにジハーディスト組織が成立し、伸長していったかを描く。

読売新聞 2017/12/24

2016:12./ 308p

978-4-16-390580-8

本体 ¥1,750+税



ぼくの美術ノート

原田 治 著

亜紀書房

青空の下、行雲を眺めるように、ひとり「美術」を楽しみながら歳を重ねてきました。オサムグッズで知られるイラストレーター・原田治が、美術をテーマに「美しいものたち」について綴る。『芸術新潮』連載を単行本化。

読売新聞 2017/12/24

2016:12./ 180p

978-4-7505-1493-2

本体 ¥2,000+税



貝と文明〜螺旋の科学、新薬開発から足糸で織った絹の話まで〜

ヘレン・スケールズ、林 裕美子 著

築地書館

数千年にわたって貝は、宝飾品、貨幣、権力と戦争、食材など、さまざまなことに利用されてきた。古代から現代までの貝と人間とのかわり、軟体動物の生物史、そして今、海の世界で起こっていることを鮮やかに描き出す。

読売新聞 2017/12/24

2016:11./ 365p 図版 8枚

978-4-8067-1527-6

本体 ¥2,700+税



おばちゃんたちのいるところ

松田 青子 著

中央公論新社

「わたしたち、もののけにならしましょう」追いつめられた現代人のもとへ、八百屋お七や皿屋敷のお菊が一肌脱ぎにやってくる。愉快的連作短編集。『アンデル小さな文芸誌』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2017/12/24

2016:12./ 231p

978-4-12-004918-7

本体 ¥1,400+税



夢遊病者たち〜第一次世界大戦はいかにして始まったか〜<2>

クリストファー・クラーク、小原 淳 著

みすず書房

政策決定者たちは、自らの決定が戦争へと展開することを見ようとしないうちに「夢遊病者」だった。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

読売新聞 2017/12/24

2017:1./ p371?844 88p

978-4-622-08544-7

本体 ¥5,200+税



夢遊病者たち〜第一次世界大戦はいかにして始まったか〜<1>

クリストファー・クラーク、小原 淳 著

みすず書房

それは 20 世紀最初の災厄であり、あらゆる災厄はここから湧き出した。史上初の総力戦、第一次世界大戦はどのように始まったのか。バルカン半島の紛争が未曾有の世界大戦へと展開する過程を克明に描く。

読売新聞 2017/12/24

2017:1./ 369p,50p

978-4-622-08543-0

本体 ¥4,600+税





かがみの孤城

辻村 深月 著

ポプラ社

部屋に閉じこもっていたころの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。『asta*』連載を大幅に加筆修正して単行本化。

2017:5./ 554p

978-4-591-15332-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



「本をつくる」という仕事

稲泉 連 著

筑摩書房

校閲がいないとミスが出るかも。色々な書体で表現したい。もちろん紙がなければ本はできない…。装丁、印刷、製本など本の製作を支えるプロを訪ね、仕事に対する姿勢や思いを聞く。PR誌『ちくま』連載をもとに単行本化。

2017:1./ 235p

978-4-480-81534-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



われらの子ども～米国における機会格差の拡大～

ロバート・D.パットナム、柴内 康文 著

創元社

子どもたちの出自における貧富の差が、いかにして機会の格差につながっていくのか。社会関係資本論の第一人者が、<夢なき社会>を生んだ米国の貧困を、子どもの物語と社会調査で活写する。

2017:3./ 381p

978-4-422-36001-0

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2017/12/24



日本の近代とは何であったか～問題史的考察～(岩波新書 新赤版 1650)

三谷 太一郎 著

岩波書店

政党政治、資本主義、植民地帝国、そして天皇制。これらの成り立ちから浮かび上がる、日本近代の特質とは。バジヨットが提示したヨーロッパの「近代」概念に照らしながら、日本近代のありようについて問題史的に考察する。

2017:3./ 4p,276p,4p

978-4-00-431650-3

本体 ¥880+税



読売新聞 2017/12/24



世界と僕のあいだに

タナハシ・コーツ 著

慶應義塾大学出版会

黒人の肉体は自らの所有物ではなく、白人によって築かれた祖国アメリカの歴史を支えてきた資源にすぎない。冷徹な現実認識をもって、現代アメリカ社会の矛盾を描き、黒人が生き抜く術を教える、父から息子への長い長い手紙。

2017:2./ 189p

978-4-7664-2391-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/24



地方都市の覚醒～大正昭和戦前史～ 博覧会篇

山路 勝彦 著

関西学院大学出版会

近代日本が辿った道筋とは何であったのか。地方と中央という空間軸を俯瞰しながら、時間軸に即して大正昭和期の博覧会の歴史的意義を論じる。「大阪、賑わいの日々」の続編。

2017:2./ 13p,392p

978-4-86283-232-0

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2017/12/24



ルポ希望の人びと～ここまできた認知症の当事者発信～(朝日選書 955)

生井 久美子 著

朝日新聞出版

認知症の本人同士が出会い、つながり、発信する。認知症の常識を変える「当事者の力」!初の当事者団体誕生の軌跡と最先端の「いま」を伝える、渾身のルポ。『朝日新聞』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017:2./ 283p,11p

978-4-02-263055-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



歌ことば 100

今野 寿美 著

本阿弥書店

あがなふ、きりぎし、たまゆら、まにまに…。近現代の歌集から短歌の表現に特有と思われる語や言い回しを集め、100語にしぼって、用例作品に沿いながら、焦点の語を中心に作品の読み取りを試みる。『歌壇』連載を単行本化。

2017:1./ 298p

978-4-7768-1290-6

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2017/12/24



崇高の修辞学(古典転生 12)

星野 太 著

月曜社

ロンギノス「崇高論」からボワローらによる変奏を経て、ドゥギー、ラクー＝ラバルト、ド・マンらによるこんにちの議論までを渉猟。美学的崇高の背後にある修辞学的崇高の系譜を炙り出す。

2017:2./ 287p

978-4-86503-041-9

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2017/12/24



アジアびとの風姿～環地方学の試み～(近現代アジアをめぐる思想連鎖)

山室 信一 著

人文書院

司馬遼太郎、関妃殺害事件、新聞発行、日本語教育…。日清・日露から、台湾統治、韓国併合、満洲国建国まで、深く歴史にかかわりながらも歴史の陰に埋もれた「アジアびと」の姿を描き出す。

2017:4./ 390p

978-4-409-52066-6

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2017/12/24



哲学の誕生～ソクラテスとは何者か～(ちくま学芸文庫 ノ7-2)

納富 信留 著

筑摩書房

何ひとつ書き残さなかったソクラテスが、なぜ哲学史の原点になったのか。圧倒的な量の文献を丹念に読み解き、哲学誕生のプロセスを描く。「ソクラテス対ソフィスト」はプラトンの創作か」を加えて文庫化。

2017:4./ 356p,10p

978-4-480-09794-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/12/24



勉強の哲学～来たるべきバカのために～

千葉 雅也 著

文藝春秋

勉強を深めることで、これまでのノリでできた「バカなこと」が、いったんできなくなる。だが、その先には「来たるべきバカ」に変身する可能性が開けている。思想界をリードする気鋭の哲学者による本格的勉強論。

2017:4./ 237p

978-4-16-390536-5

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/12/24



誓います～結婚できない僕と彼氏が学んだ結婚の意味～

ダン・サヴェージ 著

みすず書房

現代の結婚に意味はない? 人生の墓場? 同性カップル・ダンとテリーが、現代に結婚する理由を純粋に考えるノンフィクション。「キッド 僕と彼氏はいかにして赤ちゃんを授かったか」の続編。

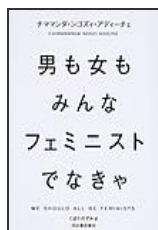
2017:4./ 333p

978-4-622-08596-6

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/12/24



男も女もみんなフェミニストでなきゃ

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ、くぼた のぞみ 著

河出書房新社

アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ大陸を?ぐ英語圏の作家チママンダ・ンゴズィ・アディーチェが、自分の体験談などをもとに、フェミニズムについて語る。2012 年 12 月に行われた TED トークを書籍化。

2017:4./ 100p

978-4-309-20727-8

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/12/24



役者なんかおやめなさい～84 歳、日本を代表する名優が語る、60 年余の舞台人生～(THE INTERVIEWS 6)

仲代 達矢 著

コスモの本

テレビを観て、こんなものかと思っていたら大間違い。役者っていうのは本当に厳しい商売ですよ。稀代の名優、仲代達矢が 60 年以上に及ぶ役者人生と戦争体験者としての思いを語ったインタビューを収録。

2017:3./ 158p

978-4-86485-032-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



地藏千年、花百年

柴田 翔 著

鳥影社

どんな人生であれ、生きていれば、いつか折り合える。大学紛争、大阪万博。数年の異国暮らしから不本意に帰ってきた直行は、日々変転する世の姿を漠然と眺め、時々の成り行きに任せて生きていたが…。半世紀の時空を描く。

2017:4./ 378p

978-4-86265-606-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



あの頃～単行本未収録エッセイ集～

武田 百合子、武田 花 編

武田 百合子 著

中央公論新社

没後 25 年を前に明らかになる、たぐいまれなる文章家・武田百合子の全貌。中央公論社刊「武田百合子全作品」全 7 巻に未収録の 100 余りのエッセイを収めた作品集。略年譜、作品リストも収録。

2017:3./ 533p

978-4-12-004968-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/12/24



劇場

又吉 直樹 著

新潮社

一番会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろな。かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。『新潮』掲載を単行本化。

読売新聞 2017/12/24

2017:5./ 207p

978-4-10-350951-6

本体 ¥1,300+税



大航海時代の日本人奴隷〜アジア・新大陸・ヨーロッパ〜(中公叢書)

ルシオ・デ・ソウザ 著

中央公論新社

歴史のダークサイドとして、ほとんど顧みられることのなかった日本人奴隷。世界の海に展開したヨーロッパ勢力の動きを背景に、名もなき人々が送った人生から、大航海時代のもう一つの相貌を浮かび上がらせる。

読売新聞 2017/12/24

2017:4./ 201p

978-4-12-004978-1

本体 ¥1,400+税



教養としての社会保障

香取 照幸 著

東洋経済新報社

年金を改革し、介護保険をつくった異能の元厚労官僚が、社会保障の全体像、社会保障と経済や政治との関わりを「市民目線」で解き明かし、社会保障を「一般教養」として理解できるよう、わかりやすく解説する。

読売新聞 2017/12/24

2017:5./ 336p

978-4-492-70144-7

本体 ¥1,600+税



葛藤を組織する授業〜アナログな知性へのこだわり〜

服部 進治 著

同時代社

社会科の授業はドラマである。「正解」を瞬時に得るのではなく、生徒たちが、このテーマはこれからも考えてみる、と感じ取ってくれる授業を目指すのだ。社会科教師が「問いかける」教育実践について綴る。

読売新聞 2017/12/24

2017:4./ 205p

978-4-88683-815-5

本体 ¥1,500+税



男尊女子

酒井 順子 著

集英社

日本社会の男尊女卑感は、男性側だけによるものなのか。女性側にも「男が上、女が下」という意識があるのでは？ 女性に潜む男女差別意識をあぶり出す。集英社文芸 WEB『レンザブロー』連載を単行本化。

読売新聞 2017/12/24

2017:5./ 243p

978-4-08-781628-0

本体 ¥1,400+税



宗教の世界史<5> 儒教の歴史

小島 毅 著

山川出版社

人びとの生活のなかに息づく信仰に踏み込み、宗教が人間の歴史にどうかかわってきたのか、聖と俗の両面から「歴史のなかの宗教」を考える。5 は、東アジアの王権を支える役割を果たした儒教の歴史を紹介。見返しに地図あり。

読売新聞 2017/12/24

2017:5./ 284p,58p

978-4-634-43135-5

本体 ¥3,500+税





ハッチとマーロウ

青山 七恵 著

小学館

ハッチとマーロウは双子の女の子。11歳の誕生日、ママが突然「大人を卒業する」と宣言した。料理洗濯掃除に勉強。ふたりに突如シビアな現実が降りかかり…。『きらら』連載を書籍化。ジャケットそでに切り取れるしおり付き。

2017:5./ 349p

978-4-09-386468-8

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/24



泣き虫弱虫諸葛孔明<第5部>

酒見 賢一 著

文藝春秋

盟友たちを亡くし失意の孔明は、魏を倒すため、北伐を決意する。蜀と魏が五丈原で対陣する時、孔明最後の奇策が炸裂する! 酒見版「三国志」完結。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

2017:6./ 608p

978-4-16-390661-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/12/24



日本の夜の公共圏～スナック研究序説～

谷口 功一、スナック研究会 著

白水社

10万軒近くの店舗数を誇る一大産業であるスナック。「夜の公共圏」「やわらかい公共圏」であるスナックについて、その制度や歴史、立地や機能などを考察する。都築響一×荻部直×谷口功一の座談会も収録。

2017:6./ 216p,4p

978-4-560-09547-8

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/12/24



私の名前はルーシー・バートン

エリザベス・ストラウト、小川 高義 著

早川書房

予想外の長期入院をすることになった30代の作家。夫や幼い娘たちと離れ、孤独に苦む彼女のもとを、疎遠だった母が訪れる。そして2人はぼつぼつと言葉を交わしはじめ…。日常にひそむ様々な感情を繊細に描く。

2017:5./ 198p

978-4-15-209681-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



歌うカタツムリ～進化とらせんの物語～(岩波科学ライブラリー 262)

千葉 聡 著

岩波書店

地味でパツとしないカタツムリも、生物進化の研究においては欠くべからざる華だった。木村資生やグールドらによる論争の歴史を辿りつつ、じりじりと前進していく研究の営みと、カタツムリの進化を重ねて描いた壮大な歴史絵巻。

2017:6./ 4p,202p

978-4-00-029662-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



ピアニストだって冒険する

中村 絃子 著

新潮社

何も知らず母に連れられて行った幼い日のレッスン、自身の半生、国際コンクールの舞台裏、かけがえのない友人や恩師、そして音楽への想いを卓越したユーモアを交えて綴る。『新潮45』『音楽の友』掲載をまとめて単行本化。

2017:6./ 300p

978-4-10-351051-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



さあ、文学で戦争を止めよう〜猫キッチン荒神〜

笠野 頼子 著

講談社

千葉の片隅の台所。作家と猫のささやかな生活を脅かす「人喰い」が、そこまで来ている。TPP 来襲、右傾化する政権、もはや戦前-。作者のおうちの台所で、猫神様が危機の迫る日本の現状を語り出す。『群像』掲載を書籍化。

2017:7./ 284p

978-4-06-220661-7

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/12/24



今日はヒョウ柄を着る日

星野 博美 著

岩波書店

おばあちゃん達がまとう「ヒョウ柄」の存在に気づいた著者は、人間界と動物界の相似性に敏感になる。そして若い世代-高齢者、現世-あの世といった境界を行き来しはじめ…。エッセイ集。岩波書店のウェブ連載に加筆し書籍化。

2017:7./ 166p

978-4-00-061210-4

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/12/24



往復書簡 初恋と不倫

坂元 裕二 著

リトル・モア

返事くださいと書いてあったので返事書きます。迷惑です。僕と君はただ同じクラスだというだけです。話したこともないし、君のことをなんにも知りません-。往復書簡形式の舞台脚本を2編収録。

2017:6./ 187p

978-4-89815-461-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



リラとわたし(ナポリの物語 1)

エレナ・フェッランテ、飯田 亮介 著

早川書房

本好きで真面目なエレナと、天才的な頭脳を持つ反逆児リラ。10歳で出会ったふたりは、たよりあい、反発しあいながらも、変わりゆく1950年代のナポリで成長してゆく…。ナポリが生んだ個性豊かな2人の少女の物語。

2017:7./ 427p

978-4-15-209698-2

本体 ¥2,100+税



読売新聞 2017/12/24



政党政治の制度分析～マルチレベルの政治競争における政党組織～

建林 正彦 著

千倉書房

1994年に行われた衆議院の選挙制度改革を中心とする政治制度改革によって、何が変化し、変化しなかったのか。政治制度改革以降の日本の政党政治の様相を描き出す。

2017:10./ 261p

978-4-8051-1119-2

本体 ¥4,600+税



読売新聞 2017/12/24



滑らかな虹<上>(ミステリ・フロンティア 93)

十市 社 著

東京創元社

柿崎先生に、手紙を書こうと思う。中学3年になる百音は、かつて通っていた小学校の元教員・田児あやめに伝えた。そして百音は、3年半前に起きたできごとについて、5年3組の担任だった柿崎に向けて思い出を綴ってゆく…。

2017:8./ 222p

978-4-488-01797-2

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



滑らかな虹<下>(ミステリ・フロンティア 94)

十市 社 著
東京創元社

5 年 3 組の担任教師・柿崎の提案した「ニンテイ」ゲームはクラスの子どもたちの心を捉え、学校生活にかかせないレクリエーションとして機能した。この穏やかな日々が続くと、みな思っていた。ただ、「彼ら」を除いては...

2017:8./ 313p
978-4-488-01798-9
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



中国はなぜ軍拡を続けるのか(新潮選書)

阿南 友亮 著
新潮社

中国共産党が陥った「軍拡の底なし沼」とは? 人民解放軍の分析を長年にわたり続けてきた気鋭の中国研究者が、一党独裁体制における政軍関係のパラドックスを構造的に解き明かし、日本の対中政策の転換を迫る。

2017:8./ 348p
978-4-10-603815-0
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



夜空に泳ぐチョコレートグラミー

町田 そのこ 著
新潮社

抜けてしまった歯が思い起こさせるのは、一生に一度の恋。もう共には生きられない、あの人のこと。どんな場所でも必死に泳いでいこうとする“魚たち”を、鮮やかな仕掛けで描いた全 5 編。

2017:8./ 253p
978-4-10-351081-9
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



火の書

ステファン・グラビンスキ、芝田 文乃 著
国書刊行会

目眩めく紅蓮色の怪夢、病み憑きの陶酔と惑乱。生誕 130 年を迎えた、ポーランド随一の狂氣的恐怖小説作家グラビンスキによる怪奇幻想作品集。<火>をテーマとする短篇小説と、自伝的エッセイ、インタビューを収録。

2017:8./ 299p
978-4-336-06175-1
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2017/12/24



日本思想史への道案内

荻部 直 著
NTT出版

日本の思想は本当に面白いのか。現代に対してもつ意味は何か。和辻哲郎と丸山眞男を導き手に、古代から近代に至る流れの中で鍵となる古典を丹念に読み解く。2014 年に朝日カルチャーセンターで行った講義をもとに書籍化。

2017:9./ 4p,241p
978-4-7571-4350-0
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/12/24



死の舞踏～恐怖についての 10 章～(ちくま文庫 き 39-1)

スティーヴン・キング 著
筑摩書房

モダン・ホラー界の帝王キングが、本や映画などあらゆるメディアのホラー作品を縦横無尽に渡り歩き、同時代アメリカへの鋭い批評や自分史も交えながら、饒舌に語りつくす。エッセイを増補した決定版。

2017:9./ 732p,27p
978-4-480-43332-9
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



リスクと生きる、死者と生きる

石戸 諭 著

亜紀書房

東日本大震災、原発事故をテーマに取材を続けてきた若き記者が、震災や原発事故を自分のこととして捉え、考えている人たちの声に近づき、彼らの揺らぎに接近する。『BuzzFeed News』掲載を大幅に加筆。

2017:8./ 279p

978-4-7505-1520-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/24



トラクターの世界史～人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち～(中公新書 2451)

藤原 辰史 著

中央公論新社

19 世紀末にアメリカで発明されたトラクターは、20 世紀以降、人類に何をもたらしたか。アメリカ、ナチス・ドイツ、ソ連、中国、日本など、国家・民度・文化が絡んだ発展の軌跡を描く。

2017:9./ 7p,270p

978-4-12-102451-0

本体 ¥860+税



読売新聞 2017/12/24



?の木

フランシス・ハーディング、児玉 敦子 著

東京創元社

不正を疑われ、スキャンダルから逃れるために島に移り住んだ高名な博物学者が謎の死を遂げた。学者の娘は、?を養分に育ち、食べた者に真実を見せる実のなる木を利用して、父の死の真相を暴く決心をする…。

2017:10./ 414p

978-4-488-01073-7

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/12/24



屍人荘の殺人

今村 昌弘 著

東京創元社

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、日くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の1人が密室で死体となって発見され…。

2017:10./ 316p

978-4-488-02555-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/12/24



踊る星座

青山 七恵 著

中央公論新社

やっかいな顧客、すがってくる家族…ダンス用品会社のセールスレディが、疲労とアクシデントにまみれて疾駆する! 勤労の喜びとうっふんがあふれだす“笑劇”的な小説。『アンデル 小さな文芸誌』連載に加筆し単行本化。

2017:10./ 260p

978-4-12-005010-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/12/24



室町幕府將軍列伝

清水 克行 編

戎光祥出版

頻発する將軍の暗殺、更迭、京都からの追放。波瀾万丈な將軍たちの生涯とは裏腹に、なぜ室町幕府は 200 年以上もつづいたのか? 数々のエピソードから各將軍の人間性に迫り、新たな時代像を切りひらく。

2017:10./ 423p

978-4-86403-247-6

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/12/24



ペガサスの解は虚栄か?(講談社タイガ モ A-07)

森 博嗣 著

講談社

逃走中のウォーカロンには、クローンを産む擬似受胎機能が搭載されていたのではないかという情報を得た研究者のハギリ。彼らを探してインドに赴いたハギリは、自分の3人めの子どもについて不審を抱く資産家と出会い…。

2017:10./ 285p

978-4-06-294090-0

本体 ¥720+税



読売新聞 2017/12/24



東芝の悲劇

大鹿 靖明 著

幻冬舎

東芝は、経済環境の激変や技術革新の進化の速度に対応できず、競争から落伍したわけではない。ただただ、歴代トップに人材を得なっただけであった。20年にわたる徹底取材から東芝・失敗の本質を明らかにする。

2017:9./ 367p

978-4-344-03175-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



新ゴジラ論～初代ゴジラから『シン・ゴジラ』へ～

小野 俊太郎 著

彩流社

「出発点にして到達目標」である初代「ゴジラ」に呪縛されつつも、製作者たちはどのように続編を作り続けてきたのか。ゴジラ史を一挙概観し、「シン・ゴジラ」がどのように初代「ゴジラ」へ返答したのか、その構造を読み解く。

2017:11./ 334p

978-4-7791-2407-5

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2017/12/24



子どもが生まれても夫を憎まずにすむ方法

ジャンシー・ダン、村井 理子 著

太田出版

崖っぷちにある結婚生活を、出産前の状態に戻すことはできないか? セックス・セラピスト、カップル・セラピスト、友人、子を持つ親、FBI の人質解放交渉人に教えるを請い、夫婦再生プロジェクトに取り組んだ記録。

2017:9./ 415p

978-4-7783-1596-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



BLACK TIGER 1(ヤングジャンプコミックス)

秋本 治 著

集英社

19世紀、南北戦争直後のアメリカ。無法者を駆逐するために合衆国政府は賞金稼ぎ達に「殺しの許可証」を与えた…。謎の凶悪兵器を備えた闇の敵に立ち向かう、空前のガンアクションが開幕ー!!

2017:11./ 228p

978-4-08-890802-1

本体 ¥600+税



読売新聞 2017/12/24



ワルプルギスの夜～マイリンク幻想小説集～

グスタフ・マイリンク、垂野 創一郎 著

国書刊行会

ドイツ幻想小説派の最高峰グスタフ・マイリンクの作品集。長篇小説「ワルプルギスの夜」「白いドミニコ僧」のほか、初期短篇5作、後期短篇3作、エッセイ5作を収録。

2017:10./ 438p

978-4-336-06207-9

本体 ¥4,600+税



読売新聞 2017/12/24



マッドジャーマンズ〜ドイツ移民物語〜

ビルギット・ヴァイエ、山口 侑紀 著

花伝社

モザンビークからやってきた若者たちは欧州で何を見、何を感じたのか? 3 人のストーリーを通して移民問題の本質に迫る社会派コミック。2016 年マックス&モーリッツ賞最優秀ドイツ語コミック賞受賞。

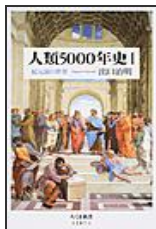
2017:10./ 243p

978-4-7634-0833-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/12/24



人類 5000 年史<1> 紀元前の世界(ちくま新書 1287-1)

出口 治明 著

筑摩書房

文明の誕生から現代まで、5000 年の人類の歩みをまとめた著者のライフワーク。1 は、文字の誕生と最初の文明(BC3000-BC2001)から知の爆発の時代(BC500-BC1)までを収録。

2017:11./ 245p,6p

978-4-480-06991-7

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/12/24



焼肉大学(ちくま文庫 ち 16-1)

鄭 大聲 著

筑摩書房

今や、世代を越えて人気となっている「焼肉」だが、その歴史的側面は全く知られていない。カルビやユッケなどの食文化が朝鮮半島でどのように根付き、定着してきたのかを解説。蓄積され育まれてきた食文化の知恵を紹介する。

2017:11./ 293p

978-4-480-43480-7

本体 ¥780+税



読売新聞 2017/12/24



随想春夏秋冬(新潮文庫 み-25-40)

宮城谷 昌光 著

新潮社

蒲郡で育った少年の頃、運命のお見合い結婚、雑誌記者時代の奮闘、音楽・競馬・旅行など造詣が深い多彩な趣味…。歴史小説の大家・宮城谷昌光が、半生を回想する自伝的エッセイ集。

2017:11./ 166p

978-4-10-144460-4

本体 ¥430+税



読売新聞 2017/12/24



日高理恵子作品集〜1979-2017〜

日高 理恵子 著

NOHARA

35 年にわたって樹に向き合い、感じ、描いてきた画家・日高理恵子。絵画の探求に向けられた表現の本質を、約 100 点の作品図版と作家の言葉、多彩な論考でたどる初作品集。

2017:10./ 231p

978-4-904257-42-5

本体 ¥4,200+税



読売新聞 2017/12/24



太陽と乙女

森見 登美彦 著

新潮社

見よ、登美彦氏は、かくもぐるぐるし続けてきた! デビュー以来、約 14 年間にわたって新聞や雑誌等さまざまな媒体に発表してきた文章を集約。特別書き下ろし「森見登美彦日記」を読む、本邦初公開「空転小説家」も収録。

2017:11./ 408p

978-4-10-464505-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/12/24



犬物語(SWITCH LIBRARY)

ジャック・ロンドン、柴田 元幸 著

スイッチ・パブリッシング

わずか 40 年の生涯で 200 近い短篇を残した、ジャック・ロンドン。代表作「野生の呼び声」を含め、柴田元幸が精選・翻訳した珠玉の作品集。犬を主人公とする短篇を 3 本、中篇を 1 本、そして犬の出でこない短篇を 1 本収録。

2017:10./ 229p

978-4-88418-456-8

本体 ¥2,100+税



読売新聞 2017/12/24



夢裡庵先生捕物帳<上>(徳間文庫 あ 19-4)

泡坂 妻夫 著

徳間書店

砂を金に変える秘術をおらんだ人から教わったという者が持ち込んできた話とは…。空中楼夢裡庵こと八丁堀定町廻り同心の富士宇衛門が、江戸の風物詩を巡る不可思議で魅惑的な事件と対峙する連作ミステリ 10 編。

2017:12./ 407p

978-4-19-894281-6

本体 ¥750+税



読売新聞 2017/12/24



夢裡庵先生捕物帳<下>(徳間文庫 あ 19-5)

泡坂 妻夫 著

徳間書店

「相性を見てほしい」真剣な顔をした娘が本当に占ってもらいたかったものとは…。空中楼夢裡庵こと八丁堀定町廻り同心の富士宇衛門が、江戸の風物詩を巡る不可思議で魅惑的な事件と対峙する連作ミステリ 11 編。

2017:12./ 429p

978-4-19-894282-3

本体 ¥770+税



読売新聞 2017/12/24



探偵ガリレオ(文春文庫)

東野 圭吾 著

文芸春秋

日本経済新聞 2017/12/02

2002:2./ 330p

978-4-16-711007-9

本体 ¥560+税



予知夢(文春文庫)

東野 圭吾 著

文芸春秋

日本経済新聞 2017/12/02

2003:8./ 270p

978-4-16-711008-6

本体 ¥620+税



回転木馬のデッド・ヒート(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

日本経済新聞 2017/12/02

2004:10./ 214p

978-4-06-274906-0

本体 ¥500+税



深夜特急<1> 香港・マカオ(新潮文庫)

沢木 耕太郎 著

新潮社

日本経済新聞 2017/12/02

1994:3./ 238p

978-4-10-123505-9

本体 ¥490+税





火車(新潮文庫)
宮部 みゆき 著
新潮社
日本経済新聞 2017/12/02

1998:2./ 590p
978-4-10-136918-1
本体 ¥990+税



蔵<上>(角川文庫)
宮尾 登美子 著
角川書店
日本経済新聞 2017/12/02

1998:1./ 410p
978-4-04-171803-2
本体 ¥640+税



蔵<下>(角川文庫)
宮尾 登美子 著
角川書店
日本経済新聞 2017/12/02

1998:1./ 395p
978-4-04-171804-9
本体 ¥640+税



竜馬がゆく<1>(文春文庫)
司馬 遼太郎 著
文芸春秋
日本経済新聞 2017/12/02

1998:9./ 446p
978-4-16-710567-9
本体 ¥700+税



金子みすゞ名詩集
金子 みすゞ、彩図社文芸部 著
彩図社
日本経済新聞 2017/12/02

2011:7./ 191p
978-4-88392-802-6
本体 ¥571+税



山本周五郎長篇小説全集<第3巻> さぶ
山本 周五郎 著
新潮社
山本周五郎の長篇・中篇小説を網羅。第3巻は、厳しい試練に必死で立ち向かう若い男女の友情と愛を描いた「さぶ」を、脚注付きで収録する。作者の言葉、葉室麟のエッセイ、奥野政元の解説なども掲載。

2013:7./ 417p
978-4-10-644043-4
本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2017/12/02



少年の日の思い出～ヘッセ青春小説集～(草思社文庫 へ1-5)
ヘルマン・ヘッセ、岡田 朝雄 著
草思社
甘美な少年時代への追憶。悔恨やときめき。表題作をはじめ、「ラテン語学校生」「大旋風」「美しきかな青春」といったヘッセの初期作品全4編を新訳で贈る。

2016:2./ 218p
978-4-7942-2183-4
本体 ¥700+税

日本経済新聞 2017/12/02



えんとつ町のプペル

にしの あきひろ 著

幻冬舎

信じめくんだ。たとえひとりになっても。えんとつだらけの町。そこに住むひとは、黒い煙にとじこめられて、青い空を知りません。えんとつそうじ屋の少年ルビッチは、ハロウィンの日にあらわれたゴミ人間のプペルと出会い…。

2016:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-344-03016-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/12/02



マフィア国家〜メキシコ麻薬戦争を生き抜く人々〜

工藤 律子 著

岩波書店

国際的な巨大犯罪組織と化した麻薬カルテル間の抗争、それを殲滅しようとする政府軍や警察も交えた戦闘…。10 年間に 15 万人以上の犠牲者を出すなど、戦争状態に陥るメキシコの現実を、そこに生きる人々の姿を通して伝える。

2017:7./ 12p,246p

978-4-00-024824-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2017/12/02



ヒトは「いじめ」をやめられない(小学館新書 308)

中野 信子 著

小学館

「子どものいじめ撲滅」に向けて、大人たちが尽力している一方で、大人社会でもいじめによる事件が後を絶たない。いじめが起こるメカニズムについて脳科学的観点から解説し、子ども、大人の「いじめ」の回避策を考える。

2017:10./ 190p

978-4-09-825308-1

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/12/02



カテゴリーキング〜Airbnb、Google、Uber は、なぜ世界のトップに立てたのか〜

アル・ラマダン、デイブ・ピーターソン、クリストファー・ロックヘッド、ケビン・メイニー、長谷川 圭 著

集英社

画期的なイノベーションを実現して大成功を収める会社は何が違うのか。シリコンバレー気鋭のコンサルタント集団が、製品やサービスの新たなカテゴリーを創造し、発展させ、支配する成功戦略を提唱する。

2017:9./ 397p

978-4-08-786085-6

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/12/02



秋田實笑いの変遷

藤田 富美恵 著

中央公論新社

左翼活動や小説家からの転進…。新資料により戦前・戦中・戦後の活動が明らかに。「萬歳」から「漫才」に昇華させた上方漫才の父・秋田實の生涯を、長女が回想・活写する決定版評伝。

2017:9./ 285p

978-4-12-005001-5

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2017/12/02



貧困と自己責任の近世日本史

木下 光生 著

人文書院

21 世紀日本は、なぜ、生活困窮者の公的救済に冷たく、異常なまでに「自己責任」を追及する社会となってしまったのか。奈良田原村に残る近世農村の家計を詳細にしるした「片岡家文書」を精緻に分析し、歴史的に考察する。

2017:10./ 324p

978-4-409-52067-3

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2017/12/02



CRISPR 究極の遺伝子編集技術の発見

ジェニファー・ダウドナ、サミュエル・スターンバーグ、櫻井 祐子 著

文藝春秋

ヒトラーが押し進めた優生学の復権か？ 遺伝病に苦しむ人たちへの福音か？ ヒトゲノムを構成する 32 億文字のなかから、たった一文字の誤りを探し出し修正するという技術を生んだ女性科学者の手記。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:10./ 333p

978-4-16-390738-3

本体 ¥1,600+税



崖の上のポニョ(文春ジブリ文庫 G-1-15)

文春文庫 編

文藝春秋

宮崎駿が原作・脚本・監督の全てを担当した映画「崖の上のポニョ」。海を舞台に、波の表現などの高い技術が求められた作品を、吉本ばなな、横尾忠則、のんなどの多彩な顔ぶれが読み解く。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:11./ 203p

978-4-16-812013-8

本体 ¥1,200+税



鉄腕アトムのような医師～AI とスマホが変える日本の医療～

高尾 洋之 著

日経BP社

日本の医療が目指すのは、「鉄腕アトムのような医師」。脳卒中や認知症などの予防・治療に活用できる ICT の研究を続ける脳神経外科医が、AI・スマホ・ロボットを使う未来医療を紹介する。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:10./ 231p

978-4-8222-5953-2

本体 ¥1,200+税



革命のファンファーレ～現代のお金と広告～

西野 亮廣 著

幻冬舎

クラウドファンディングで 1 億円を調達し、絵本「えんとつ町のプペル」を 32 万部売った男の頭の中とは？ 芸人・西野亮廣が、自身が体験した成功と失敗、そして理由と原因を振り返りながら、大変革の時代の生き方を示す。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:10./ 310p

978-4-344-03155-5

本体 ¥1,389+税



俳人風狂列伝(中公文庫 い126-1)

石川 桂郎 著

中央公論新社

種田山頭火、尾崎放哉、高橋鏡太郎、西東三鬼…。破滅型、漂泊型など強烈な個性を持った 11 人の俳人たち。人生と世間と格闘しつつ、俳句に懸けた彼らの壮絶な生きざまと文学世界を、端正な筆致で彫琢する。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:11./ 280p

978-4-12-206478-2

本体 ¥1,000+税



不死身の特攻兵～軍神はなぜ上官に反抗したか～(講談社現代新書 2451)

鴻上 尚史 著

講談社

上官の命令に背き、体当たりではなく爆弾を落として戦果を挙げようと心に決めた特攻兵、佐々木友次。彼は何と戦い、何に苦しみ、何を選んだのか。生き延びて何を思ったのか。9 回の生還を果たした男が、命の尊厳を語る。

日本経済新聞 2017/12/02

2017:11./ 292p

978-4-06-288451-8

本体 ¥880+税





柳家の卵煮ても焼いても～落語キッチンへようこそ!～

柳家 さん喬 著

筑摩書房

落語も料理も、調理人の腕次第。人間国宝・五代目柳家小さん入門して 50 年、洋食屋の倅が当代きっての古典落語の料理人になるまで、そして弟子 11 人を育て上げるまでをたっぷり語ります。

2017:11./ 222p

978-4-480-81540-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/12/02



シンプルな政府～“規制”をいかにデザインするか～

キャス・サンスティーン、田総 恵子 著

NTT出版

積極的に経済活動に介入する「大きな政府」か、個人や企業の自由な競争に任せる「小さな政府」か。アメリカの憲法学者がナッジ(行動経済学)的アプローチで第三の道を探る。社会学者・西田亮介の解説付き。

2017:10./ 378p

978-4-7571-2366-3

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/12/02、朝日新聞 2017/12/10



日銀と政治～暗闘の 20 年史～

鯨岡 仁 著

朝日新聞出版

先進国で初めて遭遇するデフレに、中央銀行と政治はどう立ち向かったか? 1998 年日銀法改正から、世界金融危機、財政再建問題、アベノミクスまで、「日銀と政治」のせめぎ合いを現場の記者が克明に描き出す。

2017:10./ 445p

978-4-02-331628-7

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/12/02、朝日新聞 2017/12/10



登録有形文化財～保存と活用からみえる新たな地域のすがた～

佐滝 剛弘 著

勁草書房

各地の歴史や文化と深く結びついた、1 万件を超える登録有形文化財。まちづくりの拠点としての役割も担う多彩な物件をジャンルごとに紹介。ユニークで奥深い世界へいざない、その魅力を伝える。データ:2017 年 7 月現在。

2017:10./ 14p,329p,7p

978-4-326-24846-9

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2017/12/02、読売新聞 2017/12/10



カラヴァッジョの秘密

コスタンティーノ・ドラッツィオ、上野 真弓 著

河出書房新社

17 世紀以降の西洋絵画に絶大な影響を与えた、カラヴァッジョ。常軌を逸した人格と、成功への執着が生み出した彼の傑作は、今なお永遠に生きる。犯罪者にして、天才画家・カラヴァッジョの波乱に満ちた生涯を丹念に描く。

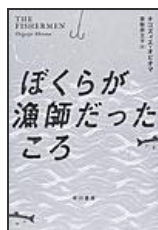
2017:10./ 221p 図版 16p

978-4-309-25584-2

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/12/02、読売新聞 2017/12/10



ぼくらが漁師だったころ

チゴズィエ・オビオマ、栗飯原 文子 著

早川書房

アグウ家の四人兄弟が川のほとりで出会った狂人は、おそろしい予言を口にした。予言をきっかけに瓦解していく家族、そして起こった事件。1990 年代のナイジェリアを舞台に、9 歳の少年の視点から語られる壮絶な物語。

2017:9./ 378p

978-4-15-209714-9

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/12/02、読売新聞 2017/12/17



ロシア近現代と国際関係～歴史を学び、政治を読み解く～

小田 健 著

ミネルヴァ書房

長年にわたりロシアを見続けてきた元日経新聞モスクワ支局長が、「近くて遠い国」ロシアのこれまでの歩みを解説。ロシアの逸話や文化を紹介しながら近現代史をたどり、米国・中国・日本との国際関係を分析する。

2017:9./ 14p,406p,22p

978-4-623-08087-8

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2017/12/02、日本経済新聞 2017/12/09



ロミオとジュリエット 改版(新潮文庫)

シェイクスピア 著

新潮社

日本経済新聞 2017/12/09

1994:1./ 267p

978-4-10-202001-2

本体 ¥440+税



【DVD-ROM】広辞苑 第6版

新村 出 著

岩波書店

日本経済新聞 2017/12/09

2008:1.

978-4-00-130161-8

本体 ¥10,000+税



出口なお・王仁三郎～世界を水晶の世に致すぞよ～(ミネルヴァ日本評伝選)

川村 邦光 著

ミネルヴァ書房

激動の近代日本に直面する中で「大本」を創唱し発展させた、開祖なおと聖師王仁三郎。2人が開祖・聖師となる過程を、近代日本と民俗社会の相剋の中から辿るとともに、その思想の創造性を考察する。

2017:9./ 31p,473p,9p

978-4-623-08120-2

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2017/12/09



欧州医療制度改革から何を学ぶか～超高齢社会日本への示唆～

松田 晋哉 著

勁草書房

少子高齢化と経済の低迷による医療制度の持続可能性不安。日本に先んじてこの状況を経験した欧州4か国(英仏蘭独)が実施してきた制度改革の概要を俯瞰し、そのエッセンスから日本の医療制度の課題を論考する。

2017:10./ 5p,318p

978-4-326-70100-1

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/12/09



抗生物質と人間～マイクロバイオームの危機～(岩波新書 新赤版 1679)

山本 太郎 著

岩波書店

拡大する薬剤耐性菌、増加する生活習慣病。その背後には抗生物質の過剰使用がある。万能の薬はいまや効力を失うだけでなく、私たちを「ポスト抗生物質時代」に陥れつつある。科学的知見をもとに、その逆説の意味を問う。

2017:9./ 4p,170p,7p

978-4-00-431679-4

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/12/09



ロシア革命 100 年の謎

亀山 郁夫、沼野 充義 著

河出書房新社

100 年前に起きた歴史上比類のない革命“ロシア革命”。文学・芸術が先導して築いた理想社会(ユートピア)はなぜ矛盾に引き裂かれたのか。亀山郁夫と沼野充義が語り合い、知られざるロシア革命の真実に迫る。

2017:10./ 364p

978-4-309-24828-8

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2017/12/09



折口信夫～日本の保守主義者～(中公新書 2458)

植村 和秀 著

中央公論新社

民俗学者、国文学者で歌人、小説家でもある折口信夫。関東大震災から敗戦へと至る日本社会の危機が生んだ「知の巨人」の生涯を辿る。さらに、折口思想をナショナリズムとの関係性から読み解き、真の保守主義とは何かを問う。

2017:10./ 11p,233p

978-4-12-102458-9

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/12/09



踊る裸体生活～ドイツ健康身体論とナチスの文化史～

森 貴史 著

勉誠出版

19 世紀末、ドイツを中心に広がった裸体文化は、新しい生活様式として受容されていった一方で、ナチズムとも密接にかかわっていく。裸体文化の思想と歴史、実践を追い、人類における<裸>の意味を探る。裸体写真多数あり。

2017:9./ 10p,303p,6p

978-4-585-22190-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/12/09



うしろめたさの人類学

松村 圭一郎 著

ミシマ社

市場、国家、社会…。断絶した世界が「つながり」を取り戻す可能性を構築人類学の手法で追求。他者への共感や「うしろめたさ」の中に世界を再構築するヒントを見出す。ウェブ雑誌『みんなのミシマガジン』連載をもとに書籍化。

2017:10./ 189p

978-4-903908-98-4

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/12/09



永六輔～時代を旅した言葉の職人～(平凡社新書 857)

隈元 信一 著

平凡社

放送作家、作詞家、ラジオタレントなど、多彩な活躍ぶりで歴史に名を残す永六輔。その生涯に貫かれた一筋の道とは、いかなるものだったのか。新聞記者として最も身近にいた著者が、その実像を多面的に描く。

2017:11./ 295p

978-4-582-85857-0

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/12/09



日本の15歳はなぜ学力が高いのか?～5つの教育大国に学ぶ成功の秘密～

ルーシー・クレハン、橋川 史 著

早川書房

国際学力テスト「PISA」で高得点をあげる国々では、どんな教育が行なわれているのか? 日本、フィンランド、シンガポール、上海、カナダを実地調査し、優れた学びを実現する「5つの原則」を紹介する。

2017:10./ 348p

978-4-15-209715-6

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/12/09



ガバナンス改革 先を行く経営先を行く投資家

『山を動かす』研究会 編

日本経済新聞出版社

矢継ぎ早のガバナンス改革にどう対応するか。ガバナンス改革に関わる最新の議論、長期投資の実践、世界と日本の年金ファンドの事例、財政・高齢化とガバナンス改革のつながりなどを解説する。

日本経済新聞 2017/12/09

2017:10./ 297p

978-4-532-32174-1

本体 ¥2,000+税



角川新字源 改訂新版 特装版

木津 祐子 編

KADOKAWA

親字及びその旧字・異体字を合わせて 1 万 3500 字、熟語約 6 万 5000 語を収録。JIS 第 1 水準・第 4 水準の全漢字と文字コードを掲載し、甲骨・金文・篆文など豊富な古代文字でなりたちを詳説。通常版も同時刊行。

日本経済新聞 2017/12/09

2017:10./ 192p,1,774p

978-4-04-400333-3

本体 ¥3,000+税



ドレス

藤野 可織 著

河出書房新社

さよなら？ 私とあなたはひとつになるのに？ 愛しかつたはずの誰かや確かな記憶を失い、見知らぬ場所にやって来た彼女たちの物語。文学と奇想の垣根を軽やかに超える全 8 編を収録。『文藝』ほか掲載をまとめて単行本化。

日本経済新聞 2017/12/09

2017:11./ 216p

978-4-309-02624-4

本体 ¥1,500+税



仁義なき幕末維新～われら賊軍の子孫～(文春文庫 は 8-34)

菅原 文太、半藤 一利 著

文藝春秋

「幻の対談」がここに！ 明治維新と西南戦争の「賊軍」、人斬り、博徒…。「歴史の片隅に追いやられた敗者に惹かれる」という菅原文太と、昭和史家の半藤一利が歴史のアウトローについて語り合う、仁義なき幕末史。

日本経済新聞 2017/12/09

2017:12./ 243p

978-4-16-790987-1

本体 ¥800+税



ラム&コーク(光文社文庫 ひ 16-4)

東山 彰良 著

光文社

墓石ビジネス新納ファミリー、蛇頭の VIP&元中国公安局員の密輸入コンビ、過激なマドンナ、クリスチャンの殺し屋 3 兄弟…。ひとクセもふたクセもある輩が、地下銀行の闇金をめぐって大暴れ。大金を手にするのは一体誰だ!?

日本経済新聞 2017/12/09

2017:11./ 389p

978-4-334-77554-4

本体 ¥740+税



100 年のジャズを聴く

後藤 雅洋、村井 康司、柳楽 光隆 著

シンコーミュージック

ジャズは、時代とともに生きてきた。30 代・50 代・70 代の異なる世代を代表するジャズ評論家 3 人が、ジャズの過去と現在を往還し、未来を照射するジャズ鼎談。

日本経済新聞 2017/12/09

2017:11./ 271p

978-4-401-64501-5

本体 ¥2,000+税





最後のソ連世代～ブレジネフからペレストロイカまで～

アレクセイ・ユルチャク、半谷 史郎 著

みすず書房

その鍵はブレジネフ時代にあった。強大で揺るぎないはずのソ連が、突然ガタガタになり、あっという間に消えてしまった。ソ連崩壊とは一体何だったのか。ソ連社会をはじめて内側から照らし出し、崩壊の謎に迫る。

2017:10./ 457p,73p

978-4-622-08642-0

本体 ¥6,200+税



日本経済新聞 2017/12/09、朝日新聞 2017/12/17



アフター・ビットコイン～仮想通貨とブロックチェーンの次なる覇者～

中島 真志 著

新潮社

ビットコインは「終わった」。ブロックチェーンは「これからが本番」。日銀出身の決済システムの第一人者が、ゴールドマン・サックスや三菱東京 UFJ 銀行、そして各国の中央銀行が繰り広げる次なる覇権争いを鮮やかに描く。

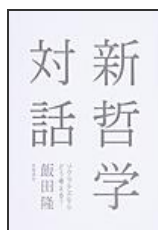
2017:10./ 285p

978-4-10-351281-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/12/09、朝日新聞 2017/12/17



新哲学対話～ソクラテスならどう考える?～

飯田 隆 著

筑摩書房

「よい/悪い」に客観的な基準はあるのか? 人工知能と人間は本当に違うのか? 「意味」を理解するとはどういうことか? ソクラテスと古代の賢人たちが、現代の哲学的難問を大激論する。

2017:11./ 318p

978-4-480-84314-2

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/12/09、朝日新聞 2017/12/17、読売新聞 2017/12/17



ギリシャ語の時間(韓国文学のオクリモノ)

ハン ガン、斎藤 真理子 著

晶文社

ある日突然言葉を失った女。すこしずつ視力を失っていく男。女は失われた言葉を取り戻すため古典ギリシャ語を習い始める。ギリシャ語講師の男は彼女の“沈黙”に関心をよせていく…。人間が失った本質とは何かを問う物語。

2017:10./ 237p

978-4-7949-6977-4

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/12/09、読売新聞 2017/12/17



男子の本懐

城山 三郎 著

新潮社

金解禁を断行した浜口雄幸と井上準之助を軸に、人間の生きがいと静かに問いかける。1980 年刊「城山三郎全集」第 1 巻に収載され、83 年に新潮文庫版として刊行された作品を単行本にした新装版。

2002:1./ 341p

978-4-10-310813-9

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2017/12/16



万葉の旅<上> 改訂新版 大和(平凡社ライブラリー)

犬養 孝 著

平凡社

万葉の自然は様変わりしてしまったが、万葉人の歌心はしっかりと生き続けている。全国各地にある万葉の地を訪ね歩き、万葉の心を今の時代に説く「犬養万葉」の集大成。上巻は「大和」。社会思想社 1964 年刊の改訂新版。

2003:11./ 366p

978-4-582-76483-3

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2017/12/16



万葉の旅<中> 改訂新版 近畿・東海・東国(平凡社ライブラリー)

犬養 孝 著
平凡社

万葉の自然は様変わりしてしまったが、万葉人の歌心はしっかりと生き続けている。全国の万葉の地を訪ね歩き、万葉の心を今の時代に説く「犬養万葉」の集大成。中巻は「近畿・東海・東国」。社会思想社 1964 年刊の改訂新版。

日本経済新聞 2017/12/16

2004:1./ 361p
978-4-582-76489-5
本体 ¥1,200+税



万葉の旅<下> 改訂新版 山陽・四国・九州・山陰・北陸(平凡社ライブラリー)

犬養 孝 著
平凡社

全国各地に残る万葉の地を訪ね歩き、今の時代に息づいている万葉人の歌心を説く「犬養万葉」の集大成。下巻は山陽・四国・九州・山陰・北陸。解説総索引付き。1964 年社会思想社刊の改訂新版。

日本経済新聞 2017/12/16

2004:4./ 379p
978-4-582-76494-9
本体 ¥1,200+税



聞き書宮沢喜一回顧録

宮沢 喜一、御厨 貴、中村 隆英 著
岩波書店

保守本流の政治家として経済企画庁長官、外務大臣、官房長官などの要職を歴任、戦後政治の重要局面に幾度も立ち会ってきた元総理の回顧録。自らの人生と戦後史を存分に語る。戦後 60 年に届ける、貴重な証言。

日本経済新聞 2017/12/16

2005:3./ 361p
978-4-00-002209-5
本体 ¥2,200+税



城山三郎昭和の戦争文学<第 5 巻> 落日燃ゆ

城山 三郎 著
角川書店

開戦に反対の立場を貫きながら、東京裁判で絞首刑を宣告された唯一の文官・広田弘毅。「自ら計らわぬ」を信条に一切の自己弁護を放棄し、苛酷な運命に従ったその生涯を描いて、戦争責任の意味を深く問う。

日本経済新聞 2017/12/16

2005:10./ 445p
978-4-04-574534-8
本体 ¥1,900+税



痴人の愛 改版(中公文庫)

谷崎 潤一郎 著
中央公論新社

日本経済新聞 2017/12/16

2006:10./ 359p
978-4-12-204767-9
本体 ¥800+税



邪馬台国の滅亡～大和王権の征服戦争～(歴史文化ライブラリー)

若井 敏明 著
吉川弘文館

邪馬台国論争を解決する鍵は何か。「記紀」を丹念に読み解き、邪馬台国の位置が九州北部であったことを論証。大和政権が邪馬台国を滅ぼし、どのように全国を統一したのか、その真実に迫り、新たな古代史像を描きだす。

日本経済新聞 2017/12/16

2010:3./ 196p
978-4-642-05694-6
本体 ¥1,700+税





米内光政 改版(新潮文庫)

阿川 弘之 著

新潮社

日本経済新聞 2017/12/16

2002:12./ 630p

978-4-10-111006-6

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 1 0 0 6 6 *



火宅の人<上巻> 改版(新潮文庫)

檀 一雄 著

新潮社

日本経済新聞 2017/12/16

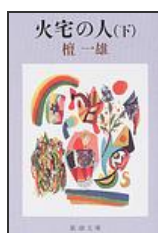
2003:3./ 478p

978-4-10-106403-1

本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 6 4 0 3 1 *



火宅の人<下巻> 改版(新潮文庫)

檀 一雄 著

新潮社

日本経済新聞 2017/12/16

2003:3./ 476p

978-4-10-106404-8

本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 6 4 0 4 8 *



通貨烈烈(朝日文庫)

船橋洋一 著

朝日新聞出版

日本経済新聞 2017/12/16

1993:1./ 504p

978-4-02-260746-1

本体 ¥718+税



* 9 7 8 4 0 2 2 6 0 7 4 6 1 *



日本古墳文化論～ゴーランド考古論集～

ウィリアム・ガウランド 著

創元社

日本経済新聞 2017/12/16

1981:7./ 360p

978-4-422-20107-8

本体 ¥4,300+税



* 9 7 8 4 4 2 2 2 0 1 0 7 8 *



ころろ/坊ちゃん(文春文庫)

夏目漱石 著

文藝春秋

日本経済新聞 2017/12/16

1996:3./ 478p

978-4-16-715802-6

本体 ¥580+税



* 9 7 8 4 1 6 7 1 5 8 0 2 6 *



東京国税局査察部(岩波新書 新赤版)

立石 勝規 著

岩波書店

日本経済新聞 2017/12/16

1999:2./ 217p,8p

978-4-00-430602-3

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 0 6 0 2 3 *



歴史街道殺人事件(徳間文庫)

芦辺 拓 著

徳間書店

日本経済新聞 2017/12/16

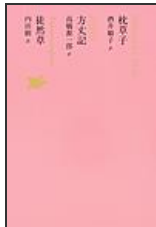
1999:6./ 318p

978-4-19-891113-3

本体 ¥533+税



* 9 7 8 4 1 9 8 9 1 1 1 3 3 *



日本文学全集<07> 枕草子/方丈記/徒然草

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。07 は、自然や人間の本来を鋭い感性で綴った、現代に通じる三大随筆「枕草子」「方丈記」「徒然草」を、酒井順子、高橋源一郎、内田樹による斬新な新訳で全訳収録。解説つき。

日本経済新聞 2017/12/16

2016:11./ 531p

978-4-309-72877-3

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 3 0 9 7 2 8 7 7 3 *



好色一代男/雨月物語/通言総籙/春色梅児誉美(池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集 第11巻)

山東 京伝、為永 春水、井原 西鶴、上田 秋成 著

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。11 は、色好みの男・世之介の一代記を描いた「好色一代男」など、江戸期の文学を代表する、西鶴・秋成・京伝・春水の、粋で美しく艶やかな4作を収録する。解題・解説つき。

日本経済新聞 2017/12/16

2015:11./ 533p

978-4-309-72881-0

本体 ¥3,000+税



* 9 7 8 4 3 0 9 7 2 8 8 1 0 *



商都大阪をつくった男五代友厚

宮本 又郎 著

NHK出版

幕末維新时期沈滞していた大阪にニュー・ビジネスモデルを持ち込み、見事に近代経済都市として蘇生させた五代友厚を、新しい観点からとらえ直す。NHK 連続テレビ小説「あさが来た」の時代考証者が、当時の社会経済を描く。

日本経済新聞 2017/12/16

2015:12./ 221p

978-4-14-081690-5

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 6 9 0 5 *



眠る盃(講談社文庫 む 5-3)

向田 邦子 著

講談社

「荒城の月」の「めぐる盃かげさして」の一節を「眠る盃」と覚えてしまった少女時代の回想の表題作をはじめ、なにげない日常から鮮やかな人生を切りとる珠玉の随筆集。

日本経済新聞 2017/12/16

2016:1./ 308p

978-4-06-293295-0

本体 ¥640+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 2 9 5 0 *



憲法と世論～戦後日本人は憲法とどう向き合ってきたのか～(筑摩選書 0150)

境家 史郎 著

筑摩書房

過去 70 年にわたる世論調査のデータを徹底分析。敗戦から今日までの日本人の憲法観の変遷を明らかにし、各時期の「改憲派」の特徴を浮かび上がらせる。戦後政治の虚像を刷新し、憲法観の変化のしくみを探究する書。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:10./ 318p

978-4-480-01656-0

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 5 6 0 *



謹訳源氏物語<1> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-1)

紫式部、林 望 著

祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。1 は、桐壺・帚木・空?・夕顔・若紫を収録。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:9./ 410p

978-4-396-31716-4

本体 ¥720+税



* 9 7 8 4 3 9 6 3 1 7 1 6 4 *



転げ落ちない社会～困窮と孤立をふせぐ制度戦略～

宮本 太郎 著

勁草書房

今日の日本に広がり続ける困窮と孤立。打開の道をいかに切り開くか？ 誰も転げ落ちることがない社会に向けて、生活保障の新しいアプローチを提起する。財団法人全労済協会における「格差・貧困研究会」の成果。

2017:10./ 13p,362p

978-4-326-65412-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2017/12/16



セロニアス・モンク～独創のジャズ物語～

ロビン・ケリー、小田中 裕次 著

シンコーミュージック

ビル・エヴァンス、キース・ジャレットと並ぶ人気ジャズ・ピアニストでありながら、その生涯は謎と伝説の多いセロニアス・モンク。彼の生涯と実像に迫ったノンフィクション。

2017:10./ 673p,30p

978-4-401-64473-5

本体 ¥3,700+税



日本経済新聞 2017/12/16



はやく老人になりたいと彼女はいう

伊藤 たかみ 著

文藝春秋

夏祭りのきもだめし会場から、少年と少女がいなくなった。親たちは森で迷う。痴呆の老婆は墓を掘る…。愛に不器用な人たちを描く、おとぎ話のような大人のためのモダンホラー小説。小幡彩貴のイラスト 21 点も掲載。

2017:11./ 191p

978-4-16-390752-9

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/12/16



謹訳源氏物語<2> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-2)

紫式部、林 望 著

祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。2 は、末摘花・紅葉賀・花宴・葵・賢木・花散里を収録。

2017:10./ 404p

978-4-396-31720-1

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2017/12/16



縄文の思想(講談社現代新書 2454)

瀬川 拓郎 著

講談社

弥生時代以降の日本列島周縁の海民、アイヌ、南島の人びとが、縄文の習俗や世界観・他界観をとどめてきたことを明らかにし、かれらの共通する生き方のなかに、縄文の思想を探る。

2017:11./ 266p

978-4-06-288454-9

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/12/16



?の歴史～ラーメンはどこから来たか～(角川ソフィア文庫 N226-1)

奥村 彪生、安藤 百福 著

KADOKAWA

カップヌードルの生みの親と伝承料理研究家が、?を切り口に食文化の森羅万象を説く。古代中国の水引餅からカップヌードルまで、文献調査とフィールドワークによって明らかにする、“?食文化史”の集大成。

2017:11./ 313p

978-4-04-400292-3

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2017/12/16



深読み日本文学(インターナショナル新書 016)

島田 雅彦 著

集英社インターナショナル

「色好みの伝統」「サブカルルーツは江戸文化」「一葉の作品はフリーター小説」など、古典から AI 小説までを、独自の切り口で分析。作家ならではのオリジナリティあふれる解釈で、日本文学の深奥に誘う。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:12./ 237p

978-4-7976-8016-4

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 7 9 7 6 8 0 1 6 4 *



サルは大西洋を渡った～奇跡的な航海が生んだ進化史～

アラン・デケイロス、柴田 裕之、林 美佐子 著

みすず書房

「ありそうもない、稀有な」ルーツこそが本物だった。植物や翅のない昆虫、塩水に弱い両生類やサルなど“海越えができない”はずの生きものたちが、大海原を渡って分布を広げた歴史を、事例を挙げて解き明かす。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:11./ 412p,56p

978-4-622-08649-9

本体 ¥3,800+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 4 9 9 *



三美スーパースターズ～最後のファンクラブ～(韓国文学のオクリモノ)

パク ミンギュ、斎藤 真理子 著

晶文社

韓国プロ野球の創成期、圧倒的な最下位チームとして人々の記憶に残った三美スーパースターズ。そのファンクラブ会員だった 2 人の少年は大人になり、様々な危機を乗り越えて、生きていくうえで最も大切なものは何かを知る。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:11./ 361p

978-4-7949-6980-4

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 7 9 4 9 6 9 8 0 4 *



宝石～欲望と錯覚の世界史～

エイジャー・レイデン、和田 佐規子 著

築地書館

人はなぜ、輝く宝石や腕時計に惹きつけられるのか。宝石の価値とは一体何なのか。マリー・アントワネット、エリザベス女王、御木本幸吉、デビアス。人々を虜にし、国をも動かしてきた宝石の魅力を、社会史、文化史として綴る。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:12./ 375p

978-4-8067-1548-1

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 8 0 6 7 1 5 4 8 1 *



謹訳源氏物語<3> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-3)

紫式部、林 望 著

祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。3 は、須磨・明石・湊標・蓬生・関屋・絵合・松風を収録。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:11./ 453p

978-4-396-31723-2

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 3 9 6 3 1 7 2 3 2 *



動物園ではたらく(イースト新書 Q Q035)

小宮 輝之 著

イースト・プレス

シカ脱走、野犬襲来、クジャクが電車を止める!? 進化し続ける動物園で 40 年間はたらき、飼育係から園長までを務めた著者が、動物と触れ合う喜びと驚きに満ちた日々を語る。

日本経済新聞 2017/12/16

2017:11./ 269p

978-4-7816-8035-4

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 7 8 1 6 8 0 3 5 4 *



花籠(光文社文庫 た 47-1)

檀 一雄 著

光文社

10 代の男女の愛と友情が交錯し、燃焼する青春の饗宴を描いた表題作ほか、「元帥」「誕生」など、“浪漫的放浪者”檀一雄の特質を伝える全 6 編を収録した短編集。表題作を映画化した大林宣彦による解説付き。

2017:12./ 328p

978-4-334-77575-9

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2017/12/16



謹訳源氏物語<4> 改訂新修(祥伝社文庫 は 18-4)

紫式部、林 望 著

祥伝社

原典の持つ深く豊かな文学世界を、正確な解釈と自然な口語訳で、現代小説のようにすらすら読める源氏物語。4 は、薄雲・朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶を収録。

2017:12./ 436p

978-4-396-31726-3

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/12/16



「マルサの女」日記

伊丹 十三 著

文藝春秋

日本経済新聞 2017/12/16

1987:8./ 439p

978-4-16-341410-2

本体 ¥1,300+税



万葉集 現代語訳対照<上>(旺文社文庫)

旺文社

日本経済新聞 2017/12/16

1979:1./ 568p

978-4-01-064055-5

本体 ¥520+税



テトリス・エフェクト～世界を感わせたゲーム～

ダン・アッカーマン、小林 啓倫 著

白揚社

1989 年、任天堂は、ゲームボーイ版テトリスの発売権獲得のために一人の男をソ連に送り込んだ。日米英ライセンス争い、法廷闘争など、テトリスをめぐるさまざまな駆け引きを、綿密な取材に基づいて描く。

2017:10./ 358p

978-4-8269-0198-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/12/16、朝日新聞 2017/12/24



欧州統合は行きすぎたのか<上> <失敗>とその原因

G.マヨーネ、庄司 克宏 著

岩波書店

EU に関する理論研究の大家が、経済学、経営学、社会学等にわたる豊富な知見に基づき、各分野の研究成果を「統合」して全体像を示す。上は、これまでの欧州統合における<失敗>の本質を、歴史的経緯の分析の中で解明する。

2017:10./ 9p,271p,20p

978-4-00-061224-1

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/12/16、読売新聞 2017/12/17



欧州統合は行きすぎたのか<下> 国民国家との共生の条件

G.マヨーネ、庄司 克宏 著

岩波書店

EU に関する理論研究の大家が、経済学、経営学、社会学等にわたる豊富な知見に基づき、各分野の研究成果を「統合」して全体像を示す。下は、従来の「モノ方式」に代わる統合手法の可能性を多角的に論じる。

2017:10./ 9p,p274?492
26p

978-4-00-061225-8

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/12/16、読売新聞 2017/12/17



子どもの貧困対策と教育支援～より良い政策・連携・協働のために～

末富 芳 著

明石書店

子どもの貧困問題を減らすには、具体的にどうすればよいのか？ 最前線で挑戦を続ける実践者・研究者・当事者が、教育支援を中心として、課題別・年齢段階別に現状や取り組みを整理し、対策として有効なアプローチを提案する。

2017:9./ 379p

978-4-7503-4570-3

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2017/12/16、毎日新聞 2017/12/17



へたも絵のうち(平凡社ライブラリー)

熊谷 守一 著

平凡社

朝起きて奥さんと基を打ち、昼寝して絵を描いて寝る？。その絵が「天狗の落とし札」と呼ばれた超俗の画家・熊谷守一から紡ぎ出された思い出の数々。日本経済新聞社 1971 年刊の再刊。〈ソフトカバー〉

2000:2./ 228p

978-4-582-76325-6

本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2017/12/23



ギルガメシュ叙事詩(ちくま学芸文庫)

矢島 文夫 著

筑摩書房

日本経済新聞 2017/12/23

1998:2./ 266p

978-4-480-08409-5

本体 ¥900+税



国家は破綻する～金融危機の 800 年～

カーメン・M.ラインハート、ケネス・S.ログフ 著

日経BP社

債務が膨れ上がった国は、悲劇に向かっている！バブルとその崩壊、銀行危機、通貨危機、インフレ危機を経由して、対外債務・対内債務のデフォルトを引き起こす金融 800 年の世界史を描く。

2011:3./ 16p,588p

978-4-8222-4842-0

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2017/12/23



21 世紀の資本

トマ・ピケティ 著

みすず書房

民間財産に基づく市場経済は、放置するなら、強力な収斂の力を持っている。だが一方で、格差拡大の強力な力もそこにはある。18 世紀以来の富と所得の分配動学をめぐる歴史的知識の現状を明らかにし、今後の教訓を示す。

2014:12./

15p,608p,98p

978-4-622-07876-0

本体 ¥5,500+税



日本経済新聞 2017/12/23



岩波講座日本経済の歴史<1> 中世 11世紀から16世紀後半

深尾 京司、中村 尚史、中林 真幸 編

岩波書店

中世から現代にいたる約 1000 年の日本経済の歩みを、超長期の国内総生産 (GDP)の新推定をはじめとする各種データを軸に描く。1 は、本格的な市場経済社会が起こった、11 世紀から 16 世紀後半を取り上げる。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:7./ 10p,301p

978-4-00-011401-1

本体 ¥3,800+税



政治経済の生態学～スウェーデン・日本・米国の進化と適応～

スヴェン・スタインモ、山崎 由希子 著

岩波書店

国際経済競争、人口動態変化といった圧力に対し、スウェーデン、日本、米国はどう適応したのか。国家システムが抱える問題を、社会政治的・制度的進化から解き明かす。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:8./ 18p,278p,30p

978-4-00-024724-5

本体 ¥3,800+税



スクリプトドクターのプレゼンテーション術(DIALOGUE BOOKS)

三宅 隆太 著

スモール出版

マーケティングや資料作りの話はいっさいナシ。脚本家・映画監督・スクリプトドクター(脚本のお医者さん)である著者が、革新的で本質的なプレゼン術を指南する。著者が東京・下北沢の「本屋 B&B」で行った講義を書籍化。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:10./ 269p

978-4-905158-48-6

本体 ¥1,600+税



定本漱石全集<第 14 巻> 文学論

夏目 金之助 著

岩波書店

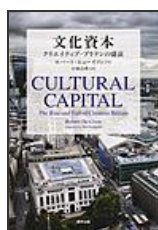
原稿等の自筆資料やもっとも早く発表された資料を底本に、できるだけ忠実に翻刻(活字化)した漱石全集。第 14 巻は、東京帝国大学文科大学で行った講義「英文学概説」をもとにした「文学論」を収録。注解も掲載。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 3p,733p,47p

978-4-00-092834-2

本体 ¥4,800+税



文化資本～クリエイティブ・ブリテンの盛衰～

ロバート・ヒューイソン、小林 真理 著

美学出版

1997 年、英国で「クリエイティブ・ブリテン」をスローガンに掲げた労働党が政権を執った。世界的に見て最も成功した政策の一つと評価される「クリエイティブ・ブリテン」がもたらした英国黄金時代の?末を記す。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 323p

978-4-902078-48-0

本体 ¥2,500+税



ECB 欧州中央銀行～組織、戦略から銀行監督まで～

唐鎌 大輔 著

東洋経済新報社

欧州経済の命運を握る「司令塔」のすべてがわかる解説書。日本 No.1 の ECB(欧州中央銀行)ウォッチャーが、組織、戦略から銀行監督まで、ECB に関するあらゆる論点を網羅し、客観的に正しい情報を記述する。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 7p,332p

978-4-492-65482-8

本体 ¥3,600+税





仙人と呼ばれた男～画家・熊谷守一の生涯～

田村 祥蔵 著

中央公論新社

常識や社会通念を超えて生き、仙人と呼ばれた画家・熊谷守一。売るための絵を描けず貧乏を続けたが、やがて草花などを題材に独自の画風を築き…。日本の洋画史に大きな足跡を残したその生涯を語る。『清春』連載を単行本化。

2017:11./ 269p

978-4-12-005027-5

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/12/23



大林宣彦の映画は歴史、映画はジャーナリズム。

大林 宣彦 著

七つ森書館

映画は実験的であって、映画の表現は発明なのです。CS チャンネル「衛星劇場」の映画番組「大林宣彦のいつか見た映画館」から生まれた対談&トークを収録する。原田知世との衛星劇場 20 周年記念のスペシャルトークも掲載。

2017:11./ 241p

978-4-8228-1788-6

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/12/23



たゆたえども沈まず

原田 マハ 著

幻冬舎

売れない画家のフィンセント・ファン・ゴッホは、パリにいる画商の弟テオドルスの家に転がり込んでいた。そんな二人の前に、浮世絵を売りさばく日本人、林忠正が現れ…。『パピルス』『小説幻冬』連載に加筆修正して単行本化。

2017:10./ 408p

978-4-344-03194-4

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/12/23



文学問題<F+f>+

山本 貴光 著

幻戯書房

夏目漱石の「文学論」を原文に即して読み解くとともに、重要箇所を抜粋して現代語訳を施す。また、漱石の文学論を通じて古今東西の作品を検討し、来たるべき「文学論」の姿を浮かび上がらせる。ブックガイドなども収録。

2017:11./ 539p,50p

978-4-86488-135-7

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2017/12/23



シナリオ分析-異次元緩和と脱出~出口戦略のシミュレーション~

高田 創 著

日本経済新聞出版社

日銀の出口論は、日銀の財務、国の財政、金融機関収支の 3 分野を一体として総合的に考える必要がある。8 つのシナリオに分けた独自のシミュレーションに基づいて、出口戦略をどのように実現すべきかを解明する。

2017:10./ 254p

978-4-532-35749-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/12/23



破天荒弁護士クボリ伝

久保利 英明、磯山 友幸 著

日経BP社

かつて人気弁護士ランキングのトップを独走した久保利英明が、企業と国のガバナンスを問い続ける理由とは? 原発被害賠償請求で東電を相手にし、1 票の格差訴訟で国と戦う特異な弁護士の半自伝。寄稿「私のクボリ論」も収録。

2017:11./ 258p

978-4-8222-5548-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/12/23



幕末的思考

野口 良平 著

みすず書房

吉田松陰の「やむにやまれぬ大和魂」の射程、私情こそ公的なものの源泉であると見た福沢諭吉…。幕末的思考の系譜を、吉田松陰、坂本龍馬、福沢諭吉、夏目漱石らに辿り、その画期性を歴史の行間にあぶりだした精神史的試論。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 308p,4p

978-4-622-08652-9

本体 ¥3,600+税



古本で見る昭和の生活〜ご家庭にあった本〜(ちくま文庫 お34-8)

岡崎 武志 著

筑摩書房

どこの家庭にもあったような、古書店では二束三文の本にこそ、時代を映しだす面白さがある。宴会でのかくし芸に悩むお父さん、まだ珍しかった女性ドライバーの話…。古本ライターが雑本の山から昭和を切り取る。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:12./ 318p

978-4-480-43485-2

本体 ¥840+税



経済史から考える〜発展と停滞の論理〜

岡崎 哲二 著

日本経済新聞出版社

何が発展と停滞をもたらすのか? 日本の経済発展を研究してきた著者が、日本経済の発展を支えた要因、再び成長を実現するための条件、アベノミクスの限界を近現代の歴史的パースペクティブから明らかにする。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 280p

978-4-532-35757-3

本体 ¥2,200+税



火定

澤田 瞳子 著

PHP研究所

時は天平。藤原四兄弟をはじめ寧楽の人々を死に至らしめた天然痘の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち。生と死の狭間で繰り広げられる壮大な人間絵巻。『文蔵』連載を基に書籍化。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:11./ 414p

978-4-569-83658-4

本体 ¥1,800+税



お殿様、外交官になる〜明治政府のサプライズ人事〜(祥伝社新書 522)

熊田 忠雄 著

祥伝社

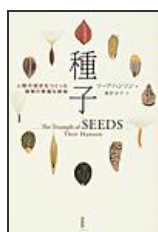
明治政府が欧米諸国へ派遣した初期の外交官のうち、旧大名をはじめ旧公家、旧幕臣など「外部からの飛び入り組」7人を取り上げ、その人物像、抜擢された経緯、任地での活動、外交官としての資質や外交的成果などを検証する。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:12./ 262p

978-4-396-11522-7

本体 ¥840+税



種子〜人類の歴史をつくった植物の華麗な戦略〜

ソーア・ハンソン、黒沢 令子 著

白揚社

人間の衣食と経済を支え、文明発祥からアラブの春まで歴史に影響を及ぼしてきた種子。種子毒を使った暗殺事件や、種子銀行など、人間との多彩な関わりを紹介しながら、種子の進化の謎に迫る。

日本経済新聞 2017/12/23

2017:12./ 349p

978-4-8269-0199-4

本体 ¥2,600+税





おにぎり日本人(新書 y 312)

増淵 敏之 著

洋泉社

日本史の背景には、常におにぎりがあった。同時におにぎりは、無限ともいえるバリエーションを持つに至った。関東、関西、東北では、おにぎりの形も、具も違う。知っているようで知らない、日本人のソウルフードの謎に迫る。

2017:12./ 191p

978-4-8003-1340-9

本体 ¥950+税



日本経済新聞 2017/12/23



日本の詩歌～その骨組みと素肌～(岩波文庫 31-202-3)

大岡 信 著

岩波書店

日本の叙景歌は偽装された恋歌であったのか。勅撰和歌集の編纂を貫く理念は何か。日本詩歌の流れ、特徴のみならず、日本文化のにおいや感触までも伝える日本文化芸術論。コレージュ・ド・フランスでの全5回の講義録。

2017:11./ 251p

978-4-00-312023-1

本体 ¥640+税



日本経済新聞 2017/12/23、毎日新聞 2017/12/24



ねこ町駅前商店街日々便り

柴田 よしき 著

祥伝社

離婚を機に、根古万知駅前のシャッター商店街に戻ったラーメン店の娘・愛美は、愛らしい拾い猫を飼うことになった。その猫が一日猫駅長を務めると、商店街にも観光客が訪れ…。『小説 NON』連載を大幅に訂正して単行本化。

2017:11./ 456p

978-4-396-63537-4

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2017/12/02



ポッコちゃん 改版(新潮文庫)

星 新一 著

新潮社

毎日新聞 2017/12/03

1988:1./ 315p

978-4-10-109801-2

本体 ¥590+税



悪の華(集英社文庫)

シャルレル・ボードレール 著

集英社

毎日新聞 2017/12/03

1991:4./ 413p

978-4-08-760197-8

本体 ¥790+税



日本芸能史六講(講談社学術文庫)

折口信夫 著

講談社

毎日新聞 2017/12/03

1991:11./ 181p

978-4-06-158994-0

本体 ¥720+税





椎葉神楽発掘

渡辺 伸夫 著

岩田書院

宮崎県椎葉村の重要無形民俗文化財「椎葉神楽」の研究書。唱教(唱え言)と神歌について考察するほか、宿借り曲を、嶽之枝尾神楽の「宿借り」を端緒として、九州・中国地方の諸神楽を視野に入れて解明する。

2012:6./ 482p 図版
16p

978-4-87294-755-7

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2017/12/03



草原の風<上>(中公文庫 み 36-7)

宮城谷 昌光 著

中央公論新社

鮮明な未来図を描けず、自我を押し通す志向も持たない若き劉秀。風に吹かれる草木のように運命を受け入れ、長安留学に旅立つが…。後漢王朝を打ち立てた光武帝・劉秀の若き日々を、中国歴史小説の巨匠が鮮やかに描き出す。

2013:9./ 339p

978-4-12-205839-2

本体 ¥590+税



毎日新聞 2017/12/03



草原の風<中>(中公文庫 み 36-8)

宮城谷 昌光 著

中央公論新社

官軍との熾烈な戦いを重ねる劉秀。その叡智に引き寄せられるように、劉秀のまわりには多くの武将が集まり始め…。後漢王朝を打ち立てた光武帝・劉秀の天下統一の戦いの日々を、中国歴史小説の巨匠が鮮やかに描き出す。

2013:10./ 341p

978-4-12-205852-1

本体 ¥590+税



毎日新聞 2017/12/03



草原の風<下>(中公文庫 み 36-9)

宮城谷 昌光 著

中央公論新社

いよいよ「天子」として立つ劉秀。その磁力に引き寄せられるように、多くの武将、知将が集結する。後漢王朝を打ち立てた光武帝・劉秀の颯爽たる事績を、中国歴史小説の巨匠が鮮やかに描き出す。完結編。

2013:11./ 413p

978-4-12-205860-6

本体 ¥590+税



毎日新聞 2017/12/03



日本の民俗 祭りと芸能(角川ソフィア文庫 J110-1)

KADOKAWA

神事である御幣の祭り、様々な鬼の祭りや獅子舞、能や風流…。時代の変化の中で刻々と失われゆく信仰の情景を、折口信夫に学び、宮本常一と旅した目で捉える。民俗写真の第一人者が半世紀にわたり撮り続けた記念碑的大作。

2014:11./ 311p

978-4-04-409474-4

本体 ¥1,280+税



毎日新聞 2017/12/03



レ・ミゼラブル～Level 5～(ラダーシリーズ)

ヴィクトル・ユーゴー、ニーナ・ウェグナー 著

IBCパブリッシング

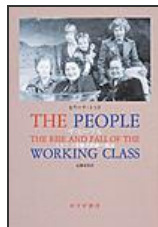
毎日新聞 2017/12/03

2015:4./ 133p

978-4-7946-0335-7

本体 ¥1,100+税





ザ・ピープル～イギリス労働者階級の盛衰～

セリーナ・トッド、近藤 康裕 著

みすず書房

「ゆりかごから墓場まで」の福祉先進国から新自由主義先進国へ。1910 年以來 1 世紀、ピケティの U 字曲線上を「人びと」はどう生きてきたか。等身大の名もなき労働者群像が織りなすイギリス現代史。

2016:8./ 492p,4p

978-4-622-08514-0

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/03



外国人をつくりだす～戦後日本における「密航」と入国管理制度の運用～

朴 沙羅 著

ナカニシヤ出版

戦後、連合軍が日本を占領していた時期、在日朝鮮人はいかにして「外国人」として登録され、入国管理の対象となったのか。日本への非正規な移住の現場を中心に、詳細な聞き取り調査と資料から明らかにする。

2017:7./ 5p,288p

978-4-7795-1185-1

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/12/03



イギリス現代史(岩波新書 新赤版 1677)

長谷川 貴彦 著

岩波書店

福祉国家体制の形成、「英国病」とサッチャリズム、そして現在へと続く、戦後イギリスのあゆみを描く通史。政治経済のみならず、国際関係、階級や文化をめぐる社会変容にも着目し、多角的で論争的な現代史像を提示する。

2017:9./ 3p,194p,20p

978-4-00-431677-0

本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/12/03



消費者庁・消費者委員会創設に込めた想い

原 早苗、木村 茂樹 著

商事法務

消費者庁および消費者委員会創設の背景、理念、経緯を紹介し、創設後の消費者庁等の歩みを振り返る。福田康夫元総理が消費者庁立ち上げについて語ったインタビューや資料も収録。

2017:10./ 5p,199p

978-4-7857-2564-8

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/12/03



杉山城の時代(角川選書 592)

西股 総生 著

KADOKAWA

緻密な縄張りを持つ杉山城は、北条氏の築城と考えられてきたが、発掘調査の結果は、山内上杉氏の築城である可能性を示した。判明した事実とは? 「杉山城問題」の論点を徹底検証し、縄張り研究の立場から杉山城の謎に挑む。

2017:10./ 282p

978-4-04-703614-7

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/12/03



労働者階級の反乱～地べたから見た英国 EU 離脱～(光文社新書 912)

ブレイディみかこ 著

光文社

トランプ現象とブレグジットは似て非なるものだった! 英国在住、労働者のど真ん中から発信を続ける保育士兼ライターが、常に一步先を行く国の労働者達の歴史と現状を伝える。

2017:10./ 284p

978-4-334-04318-6

本体 ¥820+税



毎日新聞 2017/12/03



呉漢<下>

宮城谷 昌光 著

中央公論新社

光武帝劉秀が行った、中国全土統一、後漢建国事業。天下の平定と、光武帝のために、すべてを捧げた武将・呉漢の生涯を描く。『中央公論』連載を単行本化。

毎日新聞 2017/12/03

2017:11./ 356p

978-4-12-005019-0

本体 ¥1,700+税



呉漢<上>

宮城谷 昌光 著

中央公論新社

貧家に生まれるが、運命の変転により、天下統一を目指す劉秀の将となった呉漢。時代が生んだ最高の知将・呉漢の生涯を描く。『中央公論』連載を単行本化。

毎日新聞 2017/12/03

2017:11./ 345p

978-4-12-005018-3

本体 ¥1,700+税



のこった〜もう、相撲ファンを引退しない〜

星野 智幸 著

ころから

かつて相撲ファンを引退した作家・星野智幸が再び国技館を訪ねると、そこには「モンゴルへ帰れ」といったヘイト野次が公然と飛び交っていた。大相撲を取り巻く社会と未来を綴った相撲エッセイ。対談、未発表小説も収録。

毎日新聞 2017/12/03

2017:11./ 213p

978-4-907239-27-5

本体 ¥1,600+税



千年後の百人一首

清川 あさみ、最果 タヒ 著

リトル・モア

表現・交信・ひとりごと・恋の告白…。コミュニケーションの原点が、清川あさみの絵と最果タヒの訳によって鮮やかによみがえる、この世限りの百人一首。それぞれの歌が詠まれた背景や詠み人についての情報も収録。

毎日新聞 2017/12/03

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89815-470-0

本体 ¥1,600+税



ロシア革命とソ連の世紀<1> 世界戦争から革命へ

岩波書店

ロシア革命によって生まれた史上初の社会主義国家ソ連。その誕生から崩壊、現在への影響までを多面的に捉え直す。1 は、帝政末期からソ連初期にいたる変動の全体像を、引き継がれた諸課題にも目配りしつつ明らかにする。

毎日新聞 2017/12/03、日本経済新聞 2017/12/09

2017:6./ 12p,316p,8p

978-4-00-028266-6

本体 ¥3,700+税



森へ行きましょう

川上 弘美 著

日本経済新聞出版社

1966 年の同じ日に生まれた、パラレルワールドに生きる留津とルツ。それぞれの人生には無数の岐路があり選択がなされる。そのとき、選んだ道のすぐそばを歩いているのは、誰なのか。『日本経済新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2017/12/03、毎日新聞 2017/12/10

2017:10./ 507p

978-4-532-17144-5

本体 ¥1,700+税





欲望論<第2巻>「価値」の原理論

竹田 青嗣 著

講談社

真善美の審級価値についての根本的な体系的哲学の書。新しい認識論から始
発して、その帰結としての新しい存在論(存在審級論)にいたるとともに、美的審級
の発生論を主題とした審級価値の原理論などを論じる。

2017:10./ 582p

978-4-06-220641-9

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/12/03、毎日新聞 2017/12/17



欲望論<第1巻>「意味」の原理論

竹田 青嗣 著

講談社

真善美の審級価値についての根本的な体系的哲学の書。新しい認識論から始
発して、その帰結としての新しい存在論(存在審級論)にいたるとともに、美的審級
の発生論を主題とした審級価値の原理論などを論じる。

2017:10./ 728p

978-4-06-220640-2

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2017/12/03、毎日新聞 2017/12/17



時代を「写した」男ナダール〜1820-1910〜

石井 洋二郎 著

藤原書店

肖像写真の先駆者として無数の著名人の写真を残したナダール。ジャーナリスト、
批評家・作家、カリカチュリスト、飛行実験家など、19 世紀の最先端のメディアや
テクノロジーの現場を渡り歩いた“異能の人”の全貌を描く。

2017:10./ 486p 図版
76p

978-4-86578-144-1

本体 ¥8,000+税



毎日新聞 2017/12/03、毎日新聞 2017/12/17



白石かずこ詩集成<1>

白石 かずこ 著

書肆山田

白石かずこの詩作群。1 は、1949 年?1975 年の「卵のふる街」「虎の遊戯」「もうそ
れ以上おそくやってきてはいけない」などのほか、1950 年?1967 年の単行詩集未
収録詩篇を収録。

2017:11./ 608p

978-4-87995-961-4

本体 ¥5,500+税



毎日新聞 2017/12/04



一外交官の見た明治維新〜A diplomat in Japan〜

アーネスト・サトウ 著

IBCパブリッシング

日本にあこがれ、日本語通訳官として来日したアーネスト・サトウ。歴史的人物の
素顔、激変する政治体制の裏側、当時の日本の風物など、若き外交官の眼に映
った、明治日本誕生期の激動の日々。本文は英語。〈ソフトカバー〉

2000:4./ 424p

978-4-925080-28-6

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/12/10



チベットの娘〜貴族婦人の生涯〜

リンチェン・ドルマ・タリン 著

中央公論新社

チベット女性として初めてダージリンに留学、西欧文化に接した著者の自伝。20
世紀前半のチベットの風俗習慣、信仰、政治など独特の旧チベット社会を記し
た、チベット理解のための最良の入門書。91 年刊の再刊。

2003:2./ 402p 図版
16p

978-4-12-003367-4

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2017/12/10



ザ・ヌード(ちくま学芸文庫)

ケネス・クラーク 著

筑摩書房

毎日新聞 2017/12/10

2004:6./ 655p,38p

978-4-480-08858-1

本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 8 8 5 8 1 *



中原中也全詩集(角川ソフィア文庫)

中原 中也 著

角川学芸出版

歌集『末黒野』、第一詩集『山羊の歌』、没後刊行の第二詩集『在りし日の歌』、生前発表詩篇、草稿・ノート類に残された未発表詩篇をすべて網羅した決定版。巻末に大岡昇平「中原中也伝―揺籃」を収録。

2007:10./ 797p

978-4-04-117104-2

本体 ¥1,360+税



* 9 7 8 4 0 4 1 1 7 1 0 4 2 *

毎日新聞 2017/12/10



永遠回帰の神話～祖型と反復～

ミルチャ・エリアーデ 著

未来社

毎日新聞 2017/12/10

1963:1./ 278p

978-4-624-10002-5

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 6 2 4 1 0 0 0 2 5 *



芸術と幻影～絵画的表現の心理学的研究～(美術名著選書)

アーンスト・H.J.ゴンプリッチ 著

岩崎美術社

毎日新聞 2017/12/10

1979:11./ 531p

978-4-7534-1022-4

本体 ¥10,000+税



* 9 7 8 4 7 5 3 4 1 0 2 2 4 *



チベット学問僧として生きた日本人～多田等観の生涯～

高本 康子 著

芙蓉書房出版

明治末?大正期に秘かにチベットに入り、ダライラマ 13 世のもとで 10 年間修行した多田等観。チベット大蔵経、医学・薬学の稀観本など、貴重な資料を持ち帰った僧侶の生涯を追う。

2012:2./ 173p

978-4-8295-0550-2

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 2 9 5 0 5 5 0 2 *

毎日新聞 2017/12/10



千の顔をもつ英雄<上> 新訳版(ハヤカワ文庫 NF 452)

ジョーゼフ・キャンベル 著

早川書房

世界最古の英雄譚といわれるギルガメシュの冒険からオデュッセウスの苦難の旅、イザナギとイザナミの物語まで、古今東西の神話や民話に登場する「英雄」たちの冒険を比較。その基本構造と共通性から人間の心の深層に迫る。

2015:12./ 315p

978-4-15-050452-6

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 5 2 6 *

毎日新聞 2017/12/10



千の顔をもつ英雄<下> 新訳版(ハヤカワ文庫 NF 453)

ジョーゼフ・キャンベル 著

早川書房

小説、映画、ゲーム他、物語の本質を読み解く鍵がここにある。フロイトやユングの精神分析論を用いながら、民族や時代を超えて人間の心に潜む普遍的欲求を明らかにしていく神話論の決定版。

2015:12./ 337p

978-4-15-050453-3

本体 ¥740+税



毎日新聞 2017/12/10



チベット聖地の路地裏～八年のラサ滞在記～

村上 大輔 著

法蔵館

聖と俗、慈悲と欲望、仏教の教えと政治的抑圧。聖地ラサに住む人々は何を考えた、どう生きているのか。チベット滞在 8 年、気鋭の人類学者が彼らの心の路地裏を歩き、その精神の風景を描く。

2016:8./ 231p

978-4-8318-6234-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/10



苦海浄土～全三部～

石牟礼 道子 著

藤原書店

「水俣病」患者とその家族の、そして海と土とともに生きてきた不知火の民衆の、魂の言葉を描ききる。「苦海浄土」「神々の村」「天の魚」全 3 部作を収録。赤坂真理、池澤夏樹、加藤登紀子らの解説も掲載。

2016:8./ 1,140p

978-4-86578-083-3

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2017/12/10



土の記<上>

高村 薫 著

新潮社

東京の大学を出て関西の大手メーカーに就職し、奈良県は大宇陀の旧家の婿養子となった伊佐夫。妻を交通事故で失い、古希を迎えた伊佐夫は、残された棚田で黙々と米をつくる…。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 248p

978-4-10-378409-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/10



土の記<下>

高村 薫 著

新潮社

雨の下でにわか農夫はじっと息を殺し、晴れば嬉々として田んぼへ飛び出す。男は土を耕し、鯰と遊ぶ。始まりも終わりもない、果てしない人間の物思いと、天と地と、生命のポリフォニー。『新潮』連載を加筆修正。

2016:11./ 251p

978-4-10-378410-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/10



男らしさの歴史<1> 男らしさの創出

G.ヴィガレロ 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。1 は、「男らしさ」がいかんして創出されたのか、古代ギリシアから 18 世紀の啓蒙時代までを扱う。カラー口絵も豊富に収録。

2016:11./ 788p 図版 48p

978-4-86578-097-0

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/12/10



鬼殺し<上>(エクス・リブリス)

甘 耀明 著
白水社

1941 年 12 月、日本統治下の台湾・客家の村に、日本兵を乗せた汽車がやってきた。村で祖父に育てられた怪力の少年は日本陸軍中佐の養子となり、日本人になることを夢見て志願兵として戦うが…。

2017:1./ 381p
978-4-560-09048-0
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/12/10



鬼殺し<下>(エクス・リブリス)

甘 耀明 著
白水社

1945 年、日本の敗戦とともに、国民党軍が村に乗り込んできた。祖父の劉金福は、その怪力で国民党軍の目に留まった孫を連れて決死の覚悟で台北へと逃れる。そこで遭遇したのは、二・二八事件だった。

2017:1./ 356p
978-4-560-09049-7
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/12/10



存在感のある人〜アーサー・ミラー短篇小説集〜

アーサー・ミラー、上岡 伸雄 著
早川書房

世界的に名高いピューリッツァー賞作家、アーサー・ミラーの短篇小説集。海岸で奇妙なカップルを目撃した男の脳裏に、若かりし日々が蘇る表題作をはじめ、「バーバー」「裸の原稿」など晩年に発表した 6 篇を収録。

2017:1./ 255p
978-4-15-209665-4
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/12/10



名探偵ホームズ全集<第 2 巻> 火の地獄船 鍵と地下鉄 夜光怪獣 王冠の謎 閃光暗号 獅子の爪 踊る人形

コナン・ドイル、山中 峯太郎、平山 雄一 著
作品社

昭和 30?50 年代の少年少女が胸を踊らせた、山中峯太郎訳著・名探偵ホームズ全集を復刻。第 2 巻は「踊る人形」など全 7 作を収録。訳著者による創意や原作の疑問・矛盾点解消のための加筆を明らかにする註付き。

2017:4./ 698p
978-4-86182-615-3
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/10



名探偵ホームズ全集<第 1 巻> 深夜の謎 恐怖の谷 怪盗の宝 まだらの紐 スパイ王者 銀星号事件 謎屋敷の怪

コナン・ドイル、山中 峯太郎、平山 雄一 著
作品社

昭和 30?50 年代の少年少女が胸を踊らせた、山中峯太郎訳著・名探偵ホームズ全集を復刻。第 1 巻は「深夜の謎」など全 7 作を収録。訳著者による創意や原作の疑問・矛盾点解消のための加筆を明らかにする註付き。

2017:1./ 707p
978-4-86182-614-6
本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/10



名探偵ホームズ全集<第 3 巻> 悪魔の足 黒蛇紳士 謎の手品師 土人の毒矢 消えた?面 黒い魔船

コナン・ドイル、山中 峯太郎、平山 雄一 著

作品社

昭和 30?50 年代の少年少女が胸を踊らせた、山中峯太郎訳著・名探偵ホームズ全集を復刻。第 3 巻は「悪魔の足」など全 6 作を収録。訳著者による創意や原作の疑問・矛盾点解消のための加筆を明らかにする註付き。

2017:7./ 649p
978-4-86182-616-0

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/10



人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか

玄田 有史 編

慶應義塾大学出版会

働き手にとって最重要な関心事である所得アップが実現しないのは、なぜ?22 名の気鋭が現代日本の労働市場の構造を驚きと納得の視点から明らかにする、経済学アンソロジー。

2017:4./ 21p,310p
978-4-7664-2407-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/10



男らしさの歴史<2> 男らしさの勝利

A.コルバン 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。2 は、「男らしさ」の美德が最大限に影響力をふるった、民主化と産業化と近代性の時代である 19 世紀を扱う。カラー口絵も豊富に収録。

2017:4./ 658p
978-4-86578-120-5

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/12/10



評伝石牟礼道子～渚に立つひと～

米本 浩二 著

新潮社

いかにして「苦海浄土」は書かれ得たか?作者・石牟礼道子の誕生から文学的彷徨、闘争の日々、創造の源泉と 90 年の豊饒を描き切る、初の本格的評伝。『毎日新聞』掲載に加筆し単行本化。

2017:3./ 357p,4p
978-4-10-350821-2

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/12/10



石川啄木論

中村 稔 著

青土社

石川啄木が悲痛な生涯の崖ふちに立って抱いた思想とその作品世界-。長年、鋭利な関心を持ち続けてきた詩人・中村稔が、斬新な視点から多くの通説を批判し、啄木の詩・短歌・評論・小説の現代的な意義を論じる。

2017:4./ 528p
978-4-7917-6977-3

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/12/10



マクソーリーの素敵な酒場(ジョゼフ・ミッチェル作品集 1)

ジョゼフ・ミッチェル 著

柏書房

稀代の名文家、ジョゼフ・ミッチェルが『ニューヨーカー』誌のスタップライターであった時代のすべての作品を集めたシリーズ。「故郷のなつかしき家」「メイジー」「カモメ教授」など全 10 編を収録する。

2017:3./ 222p
978-4-7601-4789-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/10



2050 年の技術～英『エコノミスト』誌は予測する～

英『エコノミスト』編集部 著

文藝春秋

人工知能(AI)、バイオ、農業、医療、エネルギー、軍事、仮想現実(VR)、拡張現実など 20 の分野を取り上げ、「2050 年のテクノロジー」とそれが経済・社会・人間の幸福に与える変化を予測する。

2017:4./ 380p

978-4-16-390640-9

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/12/10



知らなかった、ぼくらの戦争

アーサー・ビナード 著

小学館

「敵性語」を習い、「毒ガス島」で働き…。もと「敵国」の詩人が耳をすまし、つかみとった「生きつづける体験」。文化放送「アーサー・ビナード「探しています」」のうち、23 名の戦争体験談を採録し、加筆・修正して再構成。

2017:3./ 255p

978-4-09-388508-9

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/10



子どもたちの階級闘争～ブローケン・ブリテンの無料託児所から～

ブレイディミカコ 著

みすず書房

地べたのポリティクスとは生きることであり、暮らすことだ。在英 20 年余の保育士ライターが、移民問題をはじめ、英国と EU 圏が抱える重層的な課題を背景に、保育の現場から格差と分断の情景をミクロスコピックに描き出す。

2017:4./ 285p

978-4-622-08603-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/10



アーネスト・サトウの明治日本山岳記(講談社学術文庫 2382)

アーネスト・メイスン・サトウ 著

講談社

通訳官、公使として幕末維新时期と明治中期に来日したアーネスト・サトウは、登山家としても大きな足跡を残した。富士山、日本アルプス、高野山、日光など、数々の名峰・名所を踏破した彼の旅日記。登山ルートと地図も収録。

2017:4./ 285p

978-4-06-292382-8

本体 ¥980+税



毎日新聞 2017/12/10



データ分析の力 因果関係に迫る思考法(光文社新書 878)

伊藤 公一朗 著

光文社

因果関係を見極めることがビジネスや政策の成功の鍵を握る理由を、様々な実例を使いながら解説。さらに、因果関係に迫る最先端のデータ分析手法について、数式を使わず、具体例とビジュアルな描写を用いて詳説する。

2017:4./ 284p

978-4-334-03986-8

本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/12/10



憲法の尊厳～奥平憲法学の継承と展開～

長谷部 恭男 編

日本評論社

憲法学者・奥平康弘を偲び、師と仰ぐ研究者らが、彼の業績を再確認するとともに、奥平憲法学を受け継ぎ、展開させていくことを目標に、憲法学原論、基本権論、憲法と裁判について論じる。

2017:5./ 5p,562p

978-4-535-52269-5

本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2017/12/10



自壊の病理～日本陸軍の組織分析～

戸部 良一 著

日本経済新聞出版社

東条英機は独裁者だったのか。なぜ近衛声明を出してしまったのか。大正期に肩身が狭かったはずの軍人がなぜ変貌したのか。素朴な疑問に答え、日本を敗戦に導いたエリート集団の失敗のメカニズムを、史実に基づいて解明する。

2017:4./ 319p

978-4-532-17620-4

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/10



ペンタゴンの頭脳～世界を動かす軍事科学機関 DARPA～(ヒストリカル・スタディーズ 19)

アニー・ジェイコブセン 著

太田出版

謎に包まれたアメリカの軍事科学研究機関、DARPA。GPS、インターネット、ステルス機、ドローンほか多くの革新的な技術を生み出してきた DARPA の事実を開示し、殺人マシンやロボット義手など最新研究の真価を問う。

2017:4./ 589p

978-4-7783-1571-9

本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2017/12/10



鷹羽狩行俳句集成

鷹羽 狩行、片山 由美子 編

鷹羽 狩行 著

ふらんす堂

明晰な把握と独自の表現方法によって、有季定型俳句の新たな地平を開いた俳人鷹羽狩行の俳句集成。既刊 21 句集に「誕生(定本)抄」等の作品を加えた全 11672 句を収録。著書解題・年譜・初句索引・季題索引付き。

2017:5./ 1,138p

978-4-7814-0968-9

本体 ¥15,000+税



毎日新聞 2017/12/10



ハイファに戻って(河出文庫 カ3-1)

G.カナファーニー、G.カナファーニー、黒田 寿郎、奴田原 睦明 著

河出書房新社

パレスチナ抵抗運動の中心で闘い、自動車爆弾によって夭折した作家がのこした名作群。20 年ぶりに再会した親子の中にパレスチナとイスラエルの苦悩を凝縮させた「ハイファに戻って」など 7 篇を収録。

2017:6./ 292p

978-4-309-46446-6

本体 ¥880+税



毎日新聞 2017/12/10



現代歴史学の成果と課題<第4次 1> 新自由主義時代の歴史学

歴史学研究会 編

続文堂出版

2001 年?2015 年の歴史学の成果と課題を明らかにする。1 では、認識論的な問いと新自由主義の時代状況が重なる 15 年間を対象に、歴史学の方法に関する新しい論点と方向性を示し、歴史学の現在と課題を照射する。

2017:5./ 9p,303p

978-4-88116-131-9

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/12/10



現代歴史学の成果と課題<第4次2> 世界史像の再構成

歴史学研究会 編

続文堂出版

2001年?2015年の歴史学の成果と課題を明らかにする。2では、構築主義をめぐる議論の地平を越え、新たな動態的歴史像をめざして秩序形成・解体の過程を再考する、歴史研究の多様な試みに光をあてる。

2017:5./ 9p,303p

978-4-88116-132-6

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/12/10



現代歴史学の成果と課題<第4次3> 歴史実践の現在

歴史学研究会 編

続文堂出版

2001年?2015年の歴史学の成果と課題を明らかにする。3では、史料・方法・叙述から研究、教育、社会にかかわる一連の営為を歴史実践と呼び、総体的に検証する。

2017:5./ 9p,311p

978-4-88116-133-3

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/12/10



風から水へ～ある小出版社の三十五年～

鈴木 宏 著

論創社

<書肆風の薔薇>から<水声社>へ。編集者・経営者である著者が、35年間のさまざまな人と本との忘れがたい出会いと別れに触れつつ、出版の危機の時代を照射する。

2017:6./ 373p

978-4-8460-1597-8

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/12/10



神秘大通り<上>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著

新潮社

娼婦で掃除婦の母は育児放棄同然、少年はゴミ捨て場で拾った焼け焦げた本で独学で学ぶ。40年後、作家となった彼は、怪しく美しい謎の美人母娘を道連れに、古い約束を果たす旅に出る…。二重構造で展開する作家の一生の物語。

2017:7./ 406p

978-4-10-519117-7

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/12/10



神秘大通り<下>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著

新潮社

雪のニューヨークからフィリピンへ。作家に寄り添う謎の母娘。一方40年前、ゴミ捨て場の兄妹は運命のサーカス団に…。過去と現在が合流する、感傷旅行の行き着く先は? 二重構造で展開する作家の一生の物語。

2017:7./ 399p

978-4-10-519118-4

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/12/10



ウォークス～歩くことと精神史～

レベッカ・ソルニット、東辻 賢治郎 著

左右社

ブローニュの森を散歩して「人間不平等起源論」を書いたルソー、夜歩いだけで逮捕された19世紀の女性、刑務所の踏み車=ルームランナーの起源…。多岐にわたる領野を渉猟し、思考と文化と歩行の深い結びつきを解き明かす。

2017:7./ 517p

978-4-86528-138-5

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/12/10



私にはいなかった祖父母の歴史～ある調査～

イヴァン・ジャブロンカ、田所 光男 著

名古屋大学出版会

これは殺人捜査ではなく、生成の行為だ。歴史家の著者が、スターリン主義、第二次世界大戦、ヨーロッパ・ユダヤ世界の破壊という 20 世紀の悲劇によって葬り去られてしまった祖父母の足跡を辿る。

2017/7./ 4p,371p,39p

978-4-8158-0879-2

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/12/10



豚群(講談社文芸文庫 く J1)

黒島 伝治 著

講談社

プロレタリア文学運動の潮流の中で、写実的な文章と複眼的想像力によって農民、労働者の暮らしや戦争の現実を活写した黒島伝治の傑作集。官憲の横暴に対する農民の知恵がドラマを生む「豚群」など全 10 編を収録する。

2017/8./ 265p

978-4-06-290356-1

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/12/10



「大学改革」という病～学問の自由・財政基盤・競争主義から検証する～

山口 裕之 著

明石書店

大学改革における論点を整理し、改革を推進する側と批判する側がそれぞれ前提としている考え方について、その根拠や正当性を再考。「大学とは何か・今後どうあるべきか」を考えるための手がかりを探る。

2017/7./ 294p

978-4-7503-4546-8

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/12/10



男らしさの歴史<3> 男らしさの危機?

J-J.クルティエヌ 編

藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。3 は、「男らしさ」が粉碎され、分析され、脱神話化された 20 世紀から 21 世紀までを扱う。カラー口絵も豊富に収録。完結。

2017/9./ 748p 図版

16p

978-4-86578-131-1

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2017/12/10



ニュースクール～二〇世紀アメリカのしなやかな反骨者たち～

紀平 英作 著

岩波書店

学問の自由を求める知識人が立ち上げた「ニュースクール」。この小さな学校はやがて、独自の役割を果たしてゆく。デューイ、アーレントなど、学校に関わった人々の思想と行動を通して、20 世紀アメリカのリベラリズムを描く。

2017/8./ 8p,227p,11p

978-4-00-061214-2

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/10



戦争がつくった現代の食卓～軍と加工食品の知られざる関係～

アナスタシア・マークス・デ・サルセド、田沢 恭子 著

白揚社

スーパーマーケットでおなじみの「安くて長持ちする美味しい食品」のルーツは兵士のための糧食だった! 身近な食品がどのように開発され、軍と科学技術がどんな役割を果たしたのかを探る。

2017/7./ 380p

978-4-8269-0195-6

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2017/12/10



永田和宏作品集<1>(塔 21 世紀叢書 第 291 篇)

永田 和宏 著

青磁社

肩車にはじめて海を見し日よりなべてことばは逆光に顕つ あおむいて雲を眺める
動かない雲を飽きずに眺めていた昔 永田和宏の第 1 歌集「メビウスの地平」から
第 11 歌集「日和」までを完全収録。年譜・初句索引も付す。

2017:5./ 821p

978-4-86198-382-5

本体 ¥7,000+税



毎日新聞 2017/12/10



経済成長という呪い～欲望と進歩の人類史～

ダニエル・コーエン、林 昌宏 著

東洋経済新報社

私たちは無限の欲望という「呪い」から逃れられるのか。経済成長なき産業革命の
時代でも進歩はありうるのか。人類史という壮大なアプローチから、“閉じてゆく”21
世紀世界を読み解く。

2017:8./ 206p,16p

978-4-492-31502-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/10



望むのは

古谷田 奈月 著

新潮社

歳を取るのが怖い、15 歳の小春。同い年の歩くんは誇り高きバレエダンサーなの
に、私はまだ、何ものでもなくて…。風変わりな隣人や愛すべき友との日々を描い
た青春小説。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017:8./ 205p

978-4-10-334913-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/10



ニューロラカン～脳とフロイト的無意識のリアル～

久保田 泰考 著

誠信書房

真にフロイトへの回帰を志向するなら、その神経学的基盤にも回帰せざるを得な
い。精神分析と神経科学の交錯から明らかになるフロイト的無意識のリアルとは？
これまで暗黙のタブーだった脳を語るラカニアン登場。

2017:9./ 4p,232p

978-4-414-41630-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/12/10



砂上

桜木 紫乃 著

KADOKAWA

北海道で暮らす令央は、作家になる夢を持ちながら、数万円の月収と元夫からの
慰謝料で細々と暮らしていた。40 代に突入したある日、冷徹な編集者が現れ、令央
は母のある秘密を書く決意をする。『本の旅人』掲載を加筆し書籍化。

2017:9./ 220p

978-4-04-104600-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/10



日本のすごい味～おいしさは進化する～

平松 洋子 著

新潮社

食べれば消える味に「おいしさ」という価値を生み出そうとすると、そこには、人
智を超えた大きな力が働いている。アスパラガス、栃尾の油揚げ、鴨鍋、江戸前の
鰯…。北海道から東京まで厳選の 15 品を探訪。

2017:9./ 175p

978-4-10-306473-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/10



漫画君たちはどう生きるか

吉野 源三郎、羽賀 翔一 著

マガジンハウス

自分の生き方を決定できるのは、自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続ける、コペル君と叔父さん。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的名著を漫画化。テキスト版も同時刊行。

2017:8./ 334p

978-4-8387-2947-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/12/10



新しい小説のために

佐々木 敦 著

講談社

新しい「私」は、どこから来たのか? 新時代の小説家たちが切り開いてきた現代文学の新たな地平の持つ意味を、小林秀雄以来の文芸理論を徹底的に検証しつつ探る。「役割を終えた」近代文学を更新する、新しい小説論。

2017:10./ 525p

978-4-06-220805-5

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2017/12/10



ペストの記憶(英国十八世紀文学叢書 3)

ダニエル・デフォー 著

研究社

ロンドンで約 10 万人の死者を出した、17 世紀のペスト大流行の詳細を、当時の公的文書や個人の記録などを基に再現。伝染病の爆発的流行や都市型災害の勃発に関する貴重なドキュメント。

2017:9./ 5p,365p

978-4-327-18053-9

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/12/10



擬〜「世」あるいは別様の可能性〜

松岡 正剛 著

春秋社

蕪村からミトコンドリア、アーリア主義からヒッグス粒子まで。現代思想の雄、松岡正剛が超ジャンルの思索をベースに、現代の捉えがたい「世界」と「世間」をめぐる縦横無尽に論を展開、来たるべき「世」を見据え、展望する。

2017:9./ 280p

978-4-393-33354-9

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/12/10



坂口安吾論

柄谷 行人 著

インスクリプト

日本人の自己欺瞞を蹴倒す安吾的精神、自ら自由人たらしめた未来の作家・安吾。「坂口安吾全集」月報連載 170 枚に重要評論を精選併録。アクチュアルな安吾の全体像を描く、柄谷安吾論の決定版。

2017:10./ 273p

978-4-900997-67-7

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2017/12/10



レーニン権力と愛<上>

ヴィクター・セベスチェン、三浦 元博、横山 司 著

白水社

最新史料から見える「人間レーニン」とは? 妻や愛人、同志や敵、人物模様と逸話を通して、革命の舞台裏と意外な素顔に迫る評伝。上は、生誕から革命前夜までを収録。

2017:11./ 360p,21p

978-4-560-09585-0

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/12/10



レーニン権力と愛<下>

ヴィクター・セベスチェン、三浦 元博、横山 司 著

白水社

最新史料から見える「人間レーニン」とは？ 妻や愛人、同志や敵、人物模様と逸話を通して、革命の舞台裏と意外な素顔に迫る評伝。下は、10 月革命から志半ばの病死までを収録。

2017:11./ 355p,49p

978-4-560-09586-7

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/12/10



ボーリングゲン～過去を集める冒険～(高山宏セレクション<異貌の人文学>)

ウィリアム・マガイアー 著

白水社

脱領域の世界的知性を集めたエラノス会議と、ユングに傾倒したメロン夫妻が創設したボーリングゲン基金と出版活動。20 世紀を変えた<知>が生成される現場を写真した、人的交流の文化史。

2017:12./

346p,53p,24p 図 版

32p

978-4-560-08310-9

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/10



ふたつの人生(ウィリアム・トレヴァー・コレクション)

ウィリアム・トレヴァー 著

国書刊行会

夫がいながら生涯いとこの青年を愛し続ける女の物語「ソルゲーネフを読む声」。爆弾テロに遭い同じ被害者と共同生活を始めた小説家が知る戦慄の真実「ウンブリアのわたしの家」。ふたりの女の人生を緻密に描く中篇 2 作を収録。

2017:10./ 483p

978-4-336-05917-8

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2017/12/10



カンボジア PKO 日記～1991 年 12 月-1993 年 9 月～

明石 康 著

岩波書店

内戦後のカンボジアに平和をもたらす国連平和維持活動「カンボジア暫定統治機構(UNTAC)」を率いた明石康の、630 日にわたる日記を活字化。現地での PKO 活動やそれを取りまく政治・外交の内幕を臨場感豊かに伝える。

2017:11./ 20p,378p

978-4-00-061230-2

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2017/12/10



戦争調査会～幻の政府文書を読み解く～(講談社現代新書 2453)

井上 寿一 著

講談社

敗戦直後、幣原喜重郎内閣が設置した「戦争調査会」。多数の戦犯逮捕、公文書焼却という困難のなかおこなわれた 40 回超の会議の史料を通して、開戦・敗戦の実相に迫る。

2017:11./ 259p

978-4-06-288453-2

本体 ¥880+税



毎日新聞 2017/12/10



近代日本の偽史言説～歴史語りのインテリゲンチヤル・ヒストリー～

小澤 実 編

勉誠出版

「チングスハンは源義経である」「アトランティス大陸は実在する」…。近代日本において、荒唐無稽な言説の数々が流布していったのは何故か。オルタナティブな歴史叙述のあり方を照射し、歴史を描く行為の意味をあぶり出す。

2017:11./ 375p,9p

978-4-585-22192-0

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/12/10



人工知能は資本主義を終焉させるか～経済的特異点と社会的特異点～(PHP 新書 1120)

齊藤 元章、井上 智洋 著

PHP研究所

人工知能(AI)は急速な進歩を遂げている。「AI 社会」の到来において、どのような経済政策や社会制度が予測されるのか? 人間は働かなくなるのか? 気鋭のスパコン開発者と経済学者が、未来社会を語り合う。

2017:11./ 205p
978-4-569-83635-5
本体 ¥860+税



毎日新聞 2017/12/10



強硬外交を反省する中国(PHP 新書 1122)

宮本 雄二 著

PHP研究所

中国はなぜ対外強硬路線を選び、なぜ転換せざるを得なくなったのか。天安門事件以降の混迷、リーマンショック後の増長、左右の内部対立を踏まえ、著者だけが知り得た情報を基に中国外交の行方を分析する。

2017:11./ 274p
978-4-569-83618-8
本体 ¥880+税



毎日新聞 2017/12/10、産経新聞 2017/12/17



名譽と恍惚

松浦 寿輝 著

新潮社

日中戦争中に上海の工部局警察官の職を追われた芹沢は、潜伏生活を余儀なくされ…。彼に生き延びる術は残されているのか。祖国に捨てられた男の転変の生を卓絶したスケールで描く傑作長篇。『新潮』連載に加筆して単行本化。

2017:3./ 765p
978-4-10-471703-3
本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2017/12/10、読売新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24、読売新聞 2017/12/24



古都の占領～生活史からみる京都 1945-1952～

西川 祐子 著

平凡社

国全体が忘れたいと願った占領の事実から、戦争そのものの構造を問う。京都地区に範囲を限り、インタビュー調査や多様な文献調査、そこから作成した地図と年表をもとに、生活史研究の立場から占領期を考察する。

2017:8./ 507p
978-4-582-45451-2
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17



中原中也～沈黙の音楽～(岩波新書 新赤版 1673)

佐々木 幹郎 著

岩波書店

詩人であることの幸福と不幸。近代日本を代表する詩人・中原中也の、自らへの自負と揶揄、表現者としての存在の不安がみなぎる作品の数々は、どこからきたのか。詩人でもある著者が、新発見資料から作品誕生の瞬間を読み解く。

2017:8./ 5p,283p,6p
978-4-00-431673-2
本体 ¥900+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17



新約聖書～訳と註～<7> ヨハネの黙示録

作品社

現代の「日本語訳・新約聖書」の定本となる画期的訳業。ギリシャ語原文に密着し、古代の文献としてのありのままの姿を正直に再現。第 7 巻は「ヨハネの黙示録」を収録。

2017:8./ 874p
978-4-86182-419-7
本体 ¥6,600+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17



詩人なんて呼ばれて

谷川 俊太郎、尾崎 真理子 著

新潮社

18歳のデビュー以来、第一線であり続ける詩人・谷川俊太郎。女性たちとの出会い、創作の源泉など、「国民的詩人」の核心と日本戦後詩の潮流に、文芸ジャーナリスト・尾崎真理子が迫る。書き下ろしを含め、厳選した詩も収録。

2017:10./ 380p,63p,6p

978-4-10-401806-2

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17



カストロの尻

金井 美恵子 著

新潮社

無数の映像や小説、夢や記憶の断片と共に繊細に紡がれた、前代未聞の物語-。2つの批評的エッセイに縁取られ、6つのフォト・コラージュに彩られた小説群。『新潮』掲載等を単行本化。

2017:5./ 313p

978-4-10-305005-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24



中動態の世界〜意志と責任の考古学〜(シリーズケアをひらく)

國分 功一郎 著

医学書院

中動態とは何か。若き哲学者がバンヴェニスト、アレントに学び、デリダ、ハイデッガー、ドゥルーズを訪ね直し、アガンベンに教えられ、そして新たなスピノザと出会うことで中動態の世界に迫る。『精神看護』連載を書籍化。

2017:3./ 335p

978-4-260-03157-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24、読売新聞 2017/12/24



ゲンロン<0(2017April)> 観光客の哲学

東 浩紀 編

東 浩紀 著

ゲンロン

グローバリズムが世界を覆う時代、新しい政治思想の足がかりはどこにあるのか。ルソー、ローティ、ネグリ、ドストエフスキー、ネットワーク理論を自在に横断し、ヘーゲルのパラダイムを乗り越える。

2017:4./ 313p,10p

978-4-907188-20-7

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/12/10、毎日新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24、読売新聞 2017/12/24



ファーブル昆虫記〜完訳〜<第1巻上>

ジャン=アンリ・ファーブル 著

集英社

虫の生態から、南フランスの美しい風景、19世紀フランスの歴史と社会、思想と自伝風の想い出。楽しく懐かしく読める「昆虫記」。スカラベ・サクレ(糞虫)やコブシツチスガリ、キバネアナバチなどの生態を記述する。

2005:11./ 367p

978-4-08-131001-2

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/12/17



悪霊<1>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

毎日新聞 2017/12/17

2010:9./ 546p

978-4-334-75211-8

本体 ¥895+税



	魔の山<上> 改版(岩波文庫) トーマス・マン 著 岩波書店 毎日新聞 2017/12/17	1988:10./ 598p 978-4-00-324336-7 本体 ¥1,200+税 
	魔の山<下> 改版(岩波文庫) トーマス・マン 著 岩波書店 毎日新聞 2017/12/17	1988:10./ 690p 978-4-00-324337-4 本体 ¥1,100+税 
	新潮世界文学<35> トーマス・マン(3) 新潮社 毎日新聞 2017/12/17	1971:7./ 719p 978-4-10-660135-4 本体 ¥4,500+税 
	悪霊<2>(光文社古典新訳文庫 KAト1-12) ドストエフスキー 著 光文社 毎日新聞 2017/12/17	2011:4./ 747p 978-4-334-75227-9 本体 ¥1,143+税 
	医心方<巻 1A> 医学概論篇 丹波 康頼、榎 佐知子 著 筑摩書房 世界的文化財・国宝「医心方」安政版を底本とし、現存する引用文献と照合し全訳精解したシリーズ。巻 1A は、巫を信じて医師を信じないのを不治の条件に挙げる紀元前の名医扁鵲の説や、仏典の医療、診察上の諸注意などを説く。 毎日新聞 2017/12/17	2011:11./ 22p,422p 978-4-480-50511-8 本体 ¥30,000+税 
	悪霊<3>(光文社古典新訳文庫 KAト1-13) ドストエフスキー 著 光文社 毎日新聞 2017/12/17	2011:12./ 626p 978-4-334-75242-2 本体 ¥1,105+税 
	激動のなかを書きぬく〜二〇世紀前半のドイツの作家たち〜 山口 知三 著 鳥影社 80 歳の天寿を全うしたトーマス・マン、自殺したクラウス・マン、忘れ去られたヴォルフガング・ケッペン。20 世紀初頭から第 2 次世界大戦直後期にかけて、激動の時代を生きぬいたドイツの 3 人の作家とその作品を紹介する。 毎日新聞 2017/12/17	2013:4./ 534p 978-4-86265-398-7 本体 ¥2,900+税 



エネルギーから経済を考える

鈴木 悌介 著

合同出版

「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」の世話役代表が、自治体首長やエコノミスト、政治家、研究者、経済人たちと対話し、個性ゆたかで、持続可能な地域経済と地域の自立を導き出す。

2013:11./ 226p

978-4-7726-1109-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/17



秘密<上>

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

国民的女優ローレルは、死期の近づいた母の秘密をさぐりはじめる。50 年前、母はなぜあの男を殺してしまったのだろうか？ 彼と母のあいだに何があったのか？ 母の本に残された署名・ヴィヴィアンとは誰の名なのか？

2013:12./ 330p

978-4-488-01008-9

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/17



秘密<下>

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

裕福な老婦人の屋敷でメイドをしていた母は、向かいの屋敷に住む作家の妻に憧れていた。母には結婚を約束した男がいたが、運命は急転回し…。母の過去にはいったい何が隠されているのか。

2013:12./ 332p

978-4-488-01009-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/17



日本文学全集<09> 平家物語

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。09 は、無常観を基調に描かれた軍記物として琵琶法師により語り継がれ、後世日本の文学や演劇などに多大な影響を与えた「平家物語」を、古川日出男の完全訳で収録。解説つき。

2016:12./ 905p

978-4-309-72879-7

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/12/17



トーマス・マンの政治思想～失われた市民を求めて～

速水 淑子 著

創文社

マンの宇宙論と認識論に着目し、その政治思想を市民性との関わりを軸に解明。物語と政治という新たな息吹を吹き込む野心的業績。

2015:8./ 370p

978-4-423-71081-4

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2017/12/17



ヤナマール～セネガルの民衆が立ち上がるとき～

ヴュー・サヴァネ、バイ・マケベ・サル、真島 一郎、中尾 沙季子 著

勁草書房

セネガルのヒップホップグループ「クルギ」が率いた社会運動体「ヤナマール(もううんざりだ)」の概要を収録。ジャーナリストによる運動の記録の他、クルギのインタビュー、監訳者の解説付き。

2017:8./ 34p,167p

978-4-326-65401-7

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/12/17



リリース

古谷田 奈月 著

光文社

男女同権が実現し、同性愛者がマジョリティとなった世界。異性愛者のエリート男子大学生、タキナミ・ボナは精子バンクを占拠し、衝撃の演説を始める。理想郷をゆるがすテロリストたちの哀しき陰謀とは!?

2016:10./ 316p

978-4-334-91128-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/12/17



富国と強兵〜地政経済学序説〜

中野 剛志 著

東洋経済新報社

地政学だけでは、世界覇権のゆくえはわからない。経済力と政治力・軍事力との間の密接不可分な関係を解明しようとする社会科学の新たな一分野「地政経済学」を開拓し、一貫性のある理論体系として提示する。

2016:12./ 590p,48p

978-4-492-44438-2

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/12/17



欧州複合危機〜苦悶する EU、揺れる世界〜(中公新書 2405)

遠藤 乾 著

中央公論新社

ユーロ危機、難民流入、テロ事件、イギリスの離脱と試練が続く EU。なぜこのような危機に陥ったのか、EU は本当に崩壊するのか、その引き金は何か。日本や世界への影響も含め、欧州が直面する複合的な危機の本質を解明する。

2016:10./ 7p,294p

978-4-12-102405-3

本体 ¥860+税



毎日新聞 2017/12/17



生き返るマンション、死ぬマンション(文春新書 1109)

荻原 博子 著

文藝春秋

年々ローンはきつくなるのに、資産価値はどんどん落ちてゆく。マンション大崩壊の時代に、我々庶民に打つ手はないのか? そんな悩みに荻原博子が日本各地を徹底取材。中古マンションを「お宝」に変える方法を紹介する。

2016:12./ 254p

978-4-16-661109-6

本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/12/17



ロシア革命〜破局の8か月〜(岩波新書 新赤版 1637)

池田 嘉郎 著

岩波書店

ロシア革命から 100 年。これまで革命の障害のように見なされてきた立憲主義者・自由主義者らの奮闘に光をあて、新たな社会を模索した人びとが当時に賭けていた思いや挫折を臨場感ある筆致で描き出す。

2017:1./ 14p,232p,4p

978-4-00-431637-4

本体 ¥840+税



毎日新聞 2017/12/17



スウィングしなけりや意味がない

佐藤 亜紀 著

KADOKAWA

1939 年ナチス政権下のドイツ。15 歳のエディたちが熱狂しているのは類廃音楽と呼ばれるスウィングだ。だが音楽と恋に彩られた彼らの青春にも、徐々に戦争が影を落としはじめ…。『文芸カドカワ』連載に加筆し単行本化。

2017:3./ 337p

978-4-04-105076-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/17



宮沢賢治の真実～修羅を生きた詩人～

今野 勉 著

新潮社

妹を死の淵にまで追い込んだ事件とは何か。なぜ、賢治は自身を修羅と呼んだのか。「春と修羅」「永訣の朝」「銀河鉄道の夜」。数々の名作の奥底に潜む宮沢賢治の実人生の慟哭を解き明かす。

2017:2./ 399p

978-4-10-350681-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/17



ゴジラ幻論～日本産怪獣類の一般と個別の博物誌～

倉谷 滋 著

工作舎

2016 年、東京に上陸し、活動を停止した巨大不明生物「ゴジラ」。従来の生物学の知見では単純に説明することのできない生態、機能、起源と発生プロセス等における多くの謎に、進化発生学者が挑む。

2017:2./ 293p

978-4-87502-482-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/17



『医心方』事始～日本最古の医学全書～

榎 佐知子 著

藤原書店

宮廷医・丹波康頼が 984 年に朝廷に献上した「医心方」は、現存する我が国最古の医学全書である。現代医学を超える理論や処方があり、民俗学や考古学や宗教史などに新たな視座を提供する同書の魅力を余すところなく紹介する。

2017:5./ 16p,380p

978-4-86578-112-0

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2017/12/17



なかなか暮れない夏の夕暮れ

江國 香織 著

角川春樹事務所

本ばかり読んでいた稔、姉の雀、元恋人の渚、娘の波十、友だちの大竹と淳子…。切実で愛しい小さな冒険の日々と、頁をめくる官能を描く長篇小説。『ランティエ』連載に加筆・訂正して単行本化。

2017:2./ 334p

978-4-7584-1300-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/12/17



魂と弦 増補新版

イヴリー・ギトリス、今井田 博 著

春秋社

音楽へのあふれる情熱、子供たちへのまなざし、超然とした芸術家魂…。初めてヴァイオリンを手にした時のことから、パリ移住、戦争など、様々な事象を自ら綴る、偉大な音楽家イヴリー・ギトリスの半生記。

2017:3./ 7p,344p,7p

978-4-393-93595-8

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/12/17



中国政治からみた日中関係(岩波現代全書 101)

国分 良成 著

岩波書店

「反日」の源流は?日中関係はどうなる?その決め手は中国国内政治にあり!日中国交正常化から現在まで、中国政治体制のありようを踏まえたうえで、対日政策との関連を、さまざまな事案と資料に基づいて明らかにする。

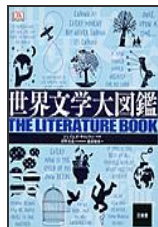
2017:4./ 14p,271p

978-4-00-029201-6

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/17



世界文学大図鑑

ジェイムズ・キャントン、沼野 充義、越前 敏弥 著
三省堂

古今東西の「世界文学」の主な潮流を、オールカラーの図版を用いてわかりやすく解説。100 冊余りを道しるべとして文学を年代順にたどり、200 を超える著作をさらなる読書のために紹介する。

2017:4./ 352p
978-4-385-16233-1
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2017/12/17



小説のしくみ～近代文学の「語り」と物語分析～

菅原 克也 著
東京大学出版会

より豊かに読むために。物語論と日本近代文学との出会い。芥川龍之介、安部公房、泉鏡花、太宰治、永井荷風、夏目漱石など、魅力的な日本近代文学の作品を例に、地に足ついた日本語で文学理論を語りなおす。

2017:4./ 8p,396p,24p
978-4-13-083070-6
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/12/17



時がつくる建築～リノベーションの西洋建築史～

加藤 耕一 著
東京大学出版会

建物を創造的に再利用する、豊かな建築文化とは？ 長い歴史における数々の既存建物の再利用事例を読み解きながら、スクラップ&ビルドの新築主義を脱却し、縮小時代の建築とのつきあいかたを示す。

2017:4./ 6p,339p,25p
978-4-13-061135-0
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/12/17



小林秀雄と河上徹太郎

坂本 忠雄 著
慶應義塾大学出版会

近代日本文学に創造的文芸批評を確立した小林秀雄と河上徹太郎。『新潮』編集長時代を含めて、2 人の最晩年まで身近にいた著者が、2 人の作品と生涯の友情に迫る。『三田文学』連載を単行本化。

2017:4./ 253p
978-4-7664-2422-5
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/12/17



マルセル・デュシャンとチェス

中尾 拓哉 著
平凡社

「つくらない」芸術家、チェス・プレイヤー、マルセル・デュシャン。気鋭の美術評論家が、チェスとデュシャンの失われた関係を解き明かし、制作論の精緻な読み解きから造形の根源へと至る。

2017:7./ 341p,49p
978-4-582-28448-5
本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2017/12/17



亀井俊介オーラル・ヒストリー～戦後日本における一文学研究者の軌跡～

亀井 俊介 著
研究社

岐阜生まれの軍国少年はいかにして戦後日本の代表的なアメリカ文学者・比較文学者となったのか。語りとインタビューという形式で、自らの学問史を自在に語る。平石貴樹による講演「亀井俊介研究序説」、著作目録・年譜も収録。

2017:4./ 7p,340p
978-4-327-48165-0
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/12/17



君の臍臓をたべたい(双葉文庫 す-12-01)

住野 よる 著
双葉社

偶然、僕が拾った 1 冊の文庫本。それはクラスメイトである山内桜良が綴った、秘密の日記帳だった。<名前のない僕>と<日常のない彼女>が織りなす物語。2017 年 7 月公開映画の原作。

2017:4./ 325p
978-4-575-51994-5
本体 ¥667+税



毎日新聞 2017/12/17



老いの荷風

川本 三郎 著
白水社

荷風研究の第一人者である著者が、「?東綺譚」以降の作品と生活を中心に、老いを生きる孤独な荷風の姿を描く。また、これまであまり論じられなかった「問はずがたり」「来訪者」「浮沈」や戦後の短編についても論じる。

2017:5./ 238p
978-4-560-09556-0
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/17



自民党〜「一強」の実像〜(中公新書 2428)

中北 浩爾 著
中央公論新社

2012 年に政権に復帰し、一強状態にある自民党。関係者へのインタビューや数量的なデータなどを駆使し、多様な視角から包括的に分析。政権復帰後の自民党の特異な強さと脆さを徹底的に明らかにする。

2017:4./ 4p,313p
978-4-12-102428-2
本体 ¥880+税



毎日新聞 2017/12/17



僕が殺した人と僕を殺した人

東山 彰良 著
文藝春秋

2015 年冬、アメリカで連続殺人鬼「サックマン」が逮捕された。「わたし」は台湾で過ごした少年時代を思い出していく。1984 年。13 歳だった。わたしはサックマンを知っていた…。『別冊文藝春秋』連載に加筆修正。

2017:5./ 335p
978-4-16-390643-0
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/12/17



忘れられた花園<下>(創元推理文庫 M モ 8-2)

ケイト・モートン、青木 純子 著
東京創元社

2005 年、オーストラリアのブリスベンで祖母ネルを看取ったカサンドラは、祖母からイギリス・コーンウォールの崖の上にあるコテージを相続した。イギリスに渡ったカサンドラが見出したものとは…。

2017:5./ 402p
978-4-488-20206-4
本体 ¥980+税



毎日新聞 2017/12/17



忘れられた花園<上>(創元推理文庫 M モ 8-1)

ケイト・モートン、青木 純子 著
東京創元社

1913 年、オーストラリアの港にたったひとり取り残されていた少女。名前もわからない少女をある夫婦がネルと名付けて育て上げた。21 歳の誕生日に事実を告げられたネルは、その日から過去の虜となり…。

2017:5./ 403p
978-4-488-20205-7
本体 ¥980+税



毎日新聞 2017/12/17



敗者の想像力(集英社新書 0882)

加藤 典洋 著

集英社

敗れ去った者しか持ち得ない、独特の感受性とは。大江健三郎から「シン・ゴジラ」まで、敗戦後の日本が育んだ様々な「想像力」を切り口に、将来への展望を開く論考。『kotoba』連載ほかを加筆し書籍化。

2017:5./ 270p

978-4-08-720882-5

本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/12/17



たべるのがおそい〜文学ムック〜<vol.3(2017Spring)> 特集 Retold 漱石・鏡花・白秋

小川 洋子 著

書肆侃侃房

小説と翻訳と短歌を中心にした文学ムック。vol.3(2017Spring)は、「Retold 漱石・鏡花・白秋」を特集。ほか、今村夏子「白いセーター」、星野智幸「乗り換え」などを収録する。

2017:4./ 171p

978-4-86385-257-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/12/17



ロシアの世紀末〜銀の時代〜への旅〜

海野 弘 著

新曜社

ドストエフスキーなどの<金の時代>と革命初期のロシア・アヴァンギャルドの谷間で失われていたロシアの世紀末が今、<銀の時代>として復活している。チェーホフ、ブロークなどが活躍した時代を、図版百点を交えて活写する。

2017:5./ 552p

978-4-7885-1523-9

本体 ¥6,200+税



毎日新聞 2017/12/17



芭蕉<上>

栗田 勇 著

祥伝社

芭蕉の句は、なぜここまで日本人の心に響くのか。その旅の生涯と精神性の深奥をたどり、創作者としての全人像に迫る。上は、伊賀時代から「野ざらし紀行」「笈の小文」までを収録。参考地図、略年譜なども掲載。

2017:5./ 749p

978-4-396-61591-8

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/12/17



写本の文化誌〜ヨーロッパ中世の文学とメディア〜

クラウディア・ブリンカー・フォン・デア・ハイデ、一條 麻美子 著

白水社

本が一点物だった時代、本の書写、テキストの制作、パトロンによる発注は、どのような意味をもっていたのか。各種職人が果たした役割、写本がもった政治的意味など、写本をめぐる文化活動をわかりやすく解説する。

2017:7./ 258p,37p

978-4-560-09559-1

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2017/12/17



塑る思考

佐藤 卓 著

新潮社

デザインの本質は、物や事をカッコよく飾る付加価値ではありません。ごく日常的な生活と接点を持つデザインを通して、物や事の真の価値と人間の営為との的確な?ぎ方を、可塑的な柔軟性で思考する。

2017:7./ 262p

978-4-10-351071-0

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2017/12/17



歌舞伎とはいかなる演劇か～かぶき者・当代性・断片性・好色性・饗宴性・女方・見立て 七つの視点から迫る歌舞伎の本質～

武井 協三 著

八木書店

50 年近くに及ぶ著者の歌舞伎研究の学問的成果を、平易な語り口で解き明かした書。110 余点の絵画資料から、初期歌舞伎の演技・演出の実態に肉薄する。資料「役者絵づくし」の解説・翻刻・影印も収録。

2017:6./ 307p,22p
978-4-8406-9762-0

本体 ¥8,800+税



* 9 7 8 4 8 4 0 6 9 7 6 2 0 *

毎日新聞 2017/12/17



原典ルネサンス自然学<上>

池上 俊一 著

名古屋大学出版会

万物をめぐる知の総体。15 世紀から 17 世紀までの代表的自然学者 30 人のテキストを集成したアンソロジー。それぞれ訳者による解題と注を付す。上は、自然誌、動物誌、植物誌、農学、料理術、温泉論などの作品を収録。

2017:7./ 7p,638p,2p
978-4-8158-0880-8

本体 ¥9,200+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 8 0 8 *

毎日新聞 2017/12/17



原典ルネサンス自然学<下>

池上 俊一 著

名古屋大学出版会

万物をめぐる知の総体。15 世紀から 17 世紀までの代表的自然学者 30 人のテキストを集成したアンソロジー。それぞれ訳者による解題と注を付す。下は、学問論、ユートピア論、地理学、占星術などの作品を収録。

2017:7./ 7p,p640?1,280
2p
978-4-8158-0881-5

本体 ¥9,200+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 8 8 1 5 *

毎日新聞 2017/12/17



湖畔荘<下>

ケイト・モートン、青木 純子 著

東京創元社

湖畔荘の謎を探るのはロンドン警視庁の女性刑事。消えた赤ん坊の姉・アリスは高名なミステリー作家となっていた。女性刑事はなんとしてもこの迷宮入りした事件を解きたくなり、アリスに連絡を取る。彼女は何を知っているのか?

2017:8./ 314p
978-4-488-01072-0

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 4 8 8 0 1 0 7 2 0 *

毎日新聞 2017/12/17



プレヴェール詩集(岩波文庫 赤 N 517-1)

プレヴェール 著

岩波書店

恋愛映画の名脚本家であり、シャンソン「枯葉」の作詞家でもある、フランスの国民的詩人ジャック・プレヴェール。恋人たちの歓喜と悲哀、戦争や日々の暮らしのありさまを、ユーモアと諷刺につつんでうたいあげた詩集。

2017:8./ 293p
978-4-00-375171-8

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 0 0 3 7 5 1 7 1 8 *

毎日新聞 2017/12/17



笑福亭鶴瓶論(新潮新書 728)

戸部田 誠 著

新潮社

老若男女に愛される最高の国民的芸人、笑福亭鶴瓶。その生い立ちから結婚、「BIG3」との交遊、NHK「家族に乾杯」秘話まで、その長く曲がりくねった芸人人生をたどり、運と縁を引き寄せるスケベで奥深い人生哲学に迫る。

2017:8./ 270p
978-4-10-610728-3

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 2 8 3 *

毎日新聞 2017/12/17



「なんとかする」子どもの貧困(角川新書 K-158)

湯浅 誠 著

KADOKAWA

貧困は減らせる、社会は根もとから変えられる! “子どもの貧困”に取り組む人々と課題解決の最前線取材し、その諸相を紹介する。『Yahoo!ニュース個人』掲載に加筆し書籍化。

2017:9./ 241p

978-4-04-082173-3

本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/12/17



アーダ<上> 新訳版

ウラジーミル・ナボコフ、若島 正 著

早川書房

美しい 11 歳の従姉妹アーダに会うやいなや、14 歳のヴァンは彼女の虜となった。博学なアーダと知的なヴァン。一族の田舎屋敷で、愛欲まみれの恋に溺れる 2 人だが…。多言語作家ウラジーミル・ナボコフの英語期の長篇小説。

2017:9./ 414p

978-4-15-209710-1

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/12/17



アーダ<下> 新訳版

ウラジーミル・ナボコフ、若島 正 著

早川書房

美しい 11 歳の従姉妹アーダに会うやいなや、14 歳のヴァンは彼女の虜となった。博学なアーダと知的なヴァン。一族の田舎屋敷で、愛欲まみれの恋に溺れる 2 人だが…。多言語作家ウラジーミル・ナボコフの英語期の長篇小説。

2017:9./ 347p

978-4-15-209711-8

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/12/17



ガレノス～西洋医学を支配したローマ帝国の医師～

スーザン・P.マターン、澤井 直 著

白水社

ローマ帝国で歴代の皇帝から庶民までの治療を手がけ、ヨーロッパとイスラーム世界において約 1500 年にわたり医学の最高権威であり続けたガレノス。その人物と生涯を追いながら、当時のローマ世界の医療や衛生状態を解説。

2017:10./ 311p,72p

978-4-560-09584-3

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2017/12/17



完訳天球回転論～コペルニクス天文学集成～

コペルニクス、高橋 憲一 著

みすず書房

コペルニクスはいかにして、そして<なぜ>地動説へと辿り着いたのか? コペルニクスの主著「天球回転論」と、彼が太陽中心説の構想を初めて著した未完の論考や書簡を精緻な訳注とともに収録。詳細な訳者解説も掲載。

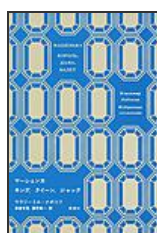
2017:10./ 5p,707p

978-4-622-08631-4

本体 ¥16,000+税



毎日新聞 2017/12/17



マーシェンカ(ナボコフ・コレクション)

ウラジーミル・ナボコフ、ウラジーミル・ナボコフ、奈倉 有里、諫早 勇一 著

新潮社

鮮やかな言葉の力で人々を魅了した「言葉の魔術師」ナボコフの作品集。初恋の記憶をめぐる処女作「マーシェンカ」、大都会に上京した青年の危険な密通を描く「キング、クイーン、ジャック」をロシア語原典訳で収録。

2017:10./ 457p,2p

978-4-10-505606-3

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2017/12/17



港の人

北村 太郎 著

港の人

暑い朝 たくさんの観念が 鼠いろになって目の前を通りすぎていく それらは とっても淋しい響きを残すわけでもないのに(「港の人」より) 表題作のほか、「少年の夢」「ある男の肖像」など単行本未収録詩も収めた詩集。

2017:9./ 135p

978-4-89629-331-9

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/12/17



芭蕉<下>

栗田 勇 著

祥伝社

芭蕉の句は、なぜここまで日本人の心に響くのか。その旅の生涯と精神性の深奥をたどり、創作者としての全人像に迫る。下は、江戸?平泉?大垣を収録。参考地図、略年譜等も掲載。『小説 NON』連載に補筆、再整理し単行本化。

2017:10./ 501p

978-4-396-61625-0

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/12/17



ごまかさない仏教〜仏・法・僧から問い直す〜(新潮選書)

佐々木 閑、宮崎 哲弥 著

新潮社

どのお経が「正典」なのか。善い行いをしても「業」は生じるのか。日本の仏教理解における数々の盲点を、2 人の仏教者が、ブッダの教えに立ち返り、根本から問い直す。基本原理から学び直せる仏教入門。

2017:11./ 301p

978-4-10-603818-1

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/12/17



たべるのがおそい〜文学ムック〜<vol.4(2017Autumn)> 特集わたしのガイドブック

木下 古栗 著

書肆侃侃房

小説と翻訳と短歌を中心にした文学ムック。vol.4(2017Autumn)は、「わたしのガイドブック」を特集。ほか、宮内悠介「ディレイ・エフェクト」、辻山良雄「本屋の蔵書」などを収録する。

2017:10./ 169p

978-4-86385-280-8

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/12/17



カシス川

萩野 アンナ 著

文藝春秋

彼と父を見送った私に癌が見つかった。ともに暮らす画家の母は要介護 4。老いる母、癌の私、ふたりが生きる彼岸の現実…。一卵性母子による愛と涙の闘病記。『文学界』掲載を書籍化。

2017:10./ 203p

978-4-16-390734-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/12/17、朝日新聞 2017/12/24



「維新革命」への道〜「文明」を求めた十九世紀日本〜(新潮選書)

苅部 直 著

新潮社

明治維新で文明開化が始まったのではない。江戸後期に日本近代はその萌芽を迎えていた。本居宣長、福澤諭吉ら、徳川?明治時代にいたる思想家たちを通観し、19 世紀の日本が自らの「文明」観を成熟させていく過程を描く。

2017:5./ 283p

978-4-10-603803-7

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/12/17、読売新聞 2017/12/24



騎士団長殺し<第 1 部> 顕れるアイデア編

村上 春樹 著

新潮社

私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた。それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長が顕れるまでは…。

2017:2./ 507p

978-4-10-353432-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/17、読売新聞 2017/12/24



騎士団長殺し<第 2 部> 遷ろうメタファー編

村上 春樹 著

新潮社

騎士団長がもう二週間近く私の前に姿を見せていないことも、とくに気にはしなかった。そしてやがて次の日曜日がやってきた。きれいに晴れ上がった、慌ただしい日曜日が…。

2017:2./ 541p

978-4-10-353433-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/17、毎日新聞 2017/12/17、読売新聞 2017/12/24



たそがれ清兵衛

藤沢 周平 著

新潮社

異色の剣客たちの、ここ一番。一読心が晴れる、再読心に沁みる。表題作等 8 編収録。大きな活字で読みやすい「藤沢周平名作シリーズ」第一弾。1988 年初刊の新装版。

2002:10./ 314p

978-4-10-329611-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/12/24



火の賜物～ヒトは料理で進化した～

リチャード・ランガム 著

NTT出版

「火」と「料理」こそが、ヒトの脳を大きくさせ、女性の役割を変えた!料理の始まり、脳による食物、料理と結婚などさまざまなテーマを通して、料理と人類進化の関係を論じる。

2010:3./ 266p

978-4-7571-6047-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/12/24



テングザル～河と生きるサル～(フィールドの生物学 7)

松田 一希 著

東海大学出版部

ボルネオのジャングルで、現地の文化・習慣に溶け込みながら、不思議な「テングザル」を追いかけた著者が、そこで感じた文化の違い・環境問題などを、独特の視点で描く。

2012:2./ 9p,146p

978-4-486-01846-9

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/24



樅ノ木は残った<上>(山本周五郎長篇小説全集 第 1 巻)

山本 周五郎 著

新潮社

山本周五郎の長篇・中篇小説を網羅。第 1 巻は、名を捨て、一身を賭して仙台藩を守った男の闘いを描いた「樅ノ木は残った」を、脚注付きで収録する。作者の言葉、系図・主要登場人物一覧・地図も掲載。

2013:6./ 549p

978-4-10-644041-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/12/24



樅ノ木は残った<下>(山本周五郎長篇小説全集 第2巻)

山本 周五郎 著

新潮社

山本周五郎の長篇・中篇小説を網羅。第2巻は、名を捨て、一身を賭して仙台藩を守った男の闘いを描いた「樅ノ木は残った」を、脚注付きで収録する。作者の言葉、山田太一のエッセイ、縄田一男の解説なども掲載。

2013:6./ 631p

978-4-10-644042-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/12/24



仲間とかかわる心の進化～チンパンジーの社会的知性～(岩波科学ライブラリー 214)

平田 聡 著

岩波書店

仲間と協力する。仲間をあざむく…。ヒトに最も近い生き物であり、高度な知性をもつチンパンジーは、仲間たちとどんなにかかわりをもって生きているのか。チンパンジーの社会的知性に関する研究を紹介する。

2013:10./ 8p,117p

978-4-00-029614-4

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/12/24



日本文学全集<04> 源氏物語(上)

紫式部 著

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。04 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「桐壺」から「少女」までを、角田光代による完全新訳で収録する。しおり付き。

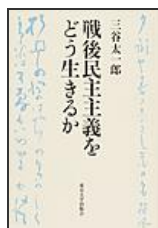
2017:9./ 689p

978-4-309-72874-2

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2017/12/24



戦後民主主義をどう生きるか

三谷 太一郎 著

東京大学出版会

歴史上の日本の民主主義は、すべて何らかの「戦後民主主義」であった。戦後70年を経てあらためて「戦後」の意味を問い、現代史の深みから日本の民主主義における個人の生き方について考える。

2016:9./ 5p,262p

978-4-13-003339-8

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/12/24



死民と日常～私の水俣病闘争～

渡辺 京二 著

弦書房

「水俣病闘争」の原点がここにある。怨の旗のもとに集結し、近代社会の論理では決して動かない患者たちの決意をうけて彼らと共闘した著者が、その行動の軌跡と「闘争」の本質的な意味を改めて語る。

2017:10./ 281p

978-4-86329-146-1

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/12/24



歴史と国家～19世紀日本のナショナル・アイデンティティと学問～

マーガレット・メール、千葉 功、松沢 裕作 著

東京大学出版会

国民国家形成における歴史学の役割とは。ボン大学で日本学を専攻したドイツ生まれの研究者が、明治政府が取り組んだ歴史編纂事業の全体像について、東京大学史料編纂所の歴史から語り起こす。史学史研究の基本文献。

2017:11./

10p,272p,11p

978-4-13-020156-8

本体 ¥5,800+税



毎日新聞 2017/12/24



渡部先生、日本人にとって天皇はどういう存在ですか？

渡部 昇一、フォルカー・シュタンツェル 著

幻冬舎

世界に例のない万世一系の存在、天皇とは。最晩年の渡部昇一と前駐日ドイツ大使フォルカー・シュタンツェルが、退位、国体、神話、憲法を語る。シュタンツェルがドイツ人向けに書いた「時を超えて 二十一世紀の天皇」も収録。

2017:10./ 229p

978-4-344-03200-2

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/12/24



日本人とリズム感～「拍」をめぐる日本文化論～

樋口 桂子 著

青土社

リズムの謎をめぐる冒険は、文学・絵画・歴史・文化・風土など、あらゆるジャンルを横断して、西洋とはまったく違う日本独自のリズムの正体を明らかにしていく。リズムをめぐる謎から描く、おどろきと発見の日本文化論。

2017:11./ 299p

978-4-7917-7028-1

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/12/24



「ポスト真実」にどう向き合うか(「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座 2017)

八巻 和彦 著

成文堂

付度、反知性主義、フェイクニュース…。理性より感情が優先される「ポスト真実」的状况への処方箋とは。南京事件、憲法改正などの現場から、病める現代日本を描き出す。早稲田ジャーナリズム大賞記念講座をもとに書籍化。

2017:12./ 8p,357p,17p

978-4-7923-3369-0

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2017/12/24



世界史のなかの産業革命～資源・人的資本・グローバル経済～

R.C.アレン、眞嶋 史叙 著

名古屋大学出版会

中国やインド、大陸ヨーロッパではなく、イギリスで産業革命が起こり得たのはなぜか。食事、健康などの生活水準をもとに世界史的な視野でその起源を捉え直し、自然環境が果たした役割も視野に、産業革命の新たな全体像を示す。

2017:12./ 11p,365p

978-4-8158-0894-5

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2017/12/24



源氏物語～A・ウェイリー版～<1>

紫式部、アーサー・ウェイリー、毬矢 まりえ、森山 恵 著

左右社

約 100 年前、イギリスのアーサー・ウェイリーが流麗で文学的に英訳した紫式部「源氏物語」を読みやすい日本語に再翻訳。登場人物の名前はカタカナで表記し、原著の和歌を挿入する。1 は、桐壺から明石までを収録。

2017:12./ 685p

978-4-86528-163-7

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/12/24



すくすくスケッチ

杉浦 さやか 著

祥伝社

おっぱいの日々、さんぽのおとも、2 歳のこだわり、困ったくせ…。人気イラストレーターが、自身の娘が生まれてから 4 歳になるまでの日々を綴った子育てエッセイ。『コフレ』連載等を加筆修正して単行本化。

2017:12./ 127p

978-4-396-61635-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/12/24



1967 中国文化大革命～荒牧万佐行写真集～

荒牧 万佐行 著

集広舎

毛沢東が待ったをかけた上海コミュン成立(1967年2月5日)、その1週間前という歴史的瞬間を目撃した日本人カメラマンがいた! 文化大革命初期の北京・上海等の街の様子と、人々のエネルギーを捉えた写真を収録する。

2017:11./ 215p

978-4-904213-54-4

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 9 0 4 2 1 3 5 4 4 *

毎日新聞 2017/12/24